

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	1 こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編	令和4年度 事業費決算額	事業名：（仮称）向山こども園整備事業 決算額：144,838,386円 事業名：（仮称）藤崎こども園整備事業 決算額：42,350,000円
事業の概要	◆子育て・子育ての拠点となる市立こども園を、子どもたちが育ち合える、地域に根差した園として、中学校区を基本としながら地域バランスを考慮し整備します。 ◆市立幼稚園および保育所は、こども園の整備に伴う統合・閉園、私立化を検討し、再編を推進します。 ◆再編対象施設の入所者・入所予定者の保護者に対し、再編にかかる事項について情報提供を行い、円滑な移行を推進します。		
令和4年度 事業目標	◆「こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第3期計画」に基づく事業を実施していきます。（こども政策課） ◆（仮称）向山こども園整備については、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討し、工事を竣工します。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園整備については、基本設計・実施設計の策定に取り組みます。また、近隣住民や保護者への説明等について検討します。（こども政策課） ◆私立認可園や小規模保育施設について、計画的に訪問指導を実施し安定した運営ができるように見守ります。（こども保育課） ◆新型コロナウイルス感染防止に関する情報提供を行い、引き続き感染防止に努めます。（こども保育課） ◆（仮称）向山こども園について運営準備委員会を立ち上げ、計画的に進められるように努めます。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆藤崎保育所の私立化について、移管先法人を決定しました。（こども政策課） ◆大久保第二保育所及び菊田第二保育所の私立化にあたり、三者協議会を設置し、新園における施設整備について協議を行いました。（こども政策課） ◆大久保第二保育所を私立化する際に建替えるため、代替施設（大久保東幼稚園、大久保こども園）で保育を行いました。（こども政策課） ◆（仮称）向山こども園について、小学校・幼稚園保護者、地域住民への説明会を実施し着工いたしました。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園整備設計業務委託について、近隣住民や保護者への説明を行い、実施設計が完了しました。（こども政策課） ◆私立認可園や小規模保育施設について訪問し、施設経営の状況について把握するとともに、適宜助言を行うことができました。（こども保育課） ◆新型コロナウイルス感染症防止に関する情報提供を適宜実施し、相談に対応することで安全な環境について共に考えることができました。（こども保育課）		
評価指標	◆3期計画の実施状況	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆新型コロナウイルス感染症に対する対応や特別支援に関することについて相談することができ、安心感につながりました。（こども保育課）
-----------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

令和5年度第1回 市民協働子ども発達支援推進協議会
(令和5年7月13日) 資料5

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆大久保第二保育所及び菊田第二保育所の私立化にあたり、三者協議会において、施設整備に係る合意形成が図られました。(こども政策課) ◆大久保第二保育所及び大久保こども園こどもセンターでの代替保育を実施するため、適切な改修を実施しました。(こども政策課) ◆(仮称)向山こども園について、整備工事の説明会を開催し、意見を工事に反映することができました。(こども政策課) ◆(仮称)藤崎こども園について、近隣説明会を複数回実施したことから、意見をもとに実施設計が完了しました。(こども政策課) ◆認可私立園について巡回支援を実施したことで、各施設の状況について把握し、必要に応じて助言することができました。(こども保育課) ◆新型コロナウイルス感染症感染拡大防止について、適宜情報提供をし、丁寧に質問に答えることで、相談しやすい関係ができました。(こども保育課)	◆市立幼稚園の児童数が減少しているため、今後も動向を注視する必要があります。(こども政策課) ◆(仮称)向山こども園開園後の通園動線の周知を行う必要があります。(こども政策課) ◆(仮称)藤崎こども園については、着工にあたり、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討します。(こども政策課) ◆巡回支援について、各施設の希望する時期に訪問ができるよう、また、必要に応じて臨機応変に実施ができるよう、日程の調整が課題です(こども保育課)。
令和4年度の事業達成度 (A:達成 B:達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C:達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D:未実施 E:休止・廃止)	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆「こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第3期計画」に基づく事業を実施していきます。 ◆大久保第二保育所及び菊田第二保育所の私立化にあたり、開園準備・共同保育を実施するとともに、三者協議会において運営面の協議を行い、合意形成を図ります。(こども政策課・こども保育課) ◆藤崎保育所の私立化にあたり、三者協議会を設置し、施設整備について協議を行い、合意形成を図ります。(こども政策課) ◆(仮称)向山こども園の開園に向け、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した通園動線等を周知します。(こども政策課) ◆(仮称)藤崎こども園について、着工にあたり近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討します。(こども政策課) ◆(仮称)向山こども園の開園に向け、運営準備委員会や保護者説明会を実施し、運営内容の検討及び開園準備に丁寧に取り組んでいきます。(こども保育課)
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	2 教育・保育施設、小規模保育事業所の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：民間認可保育所等施設整備事業 決算額：154,271,000円
事業の概要	◆地域の子どもが、地域の中で育ち合い、健やかに育成される環境を提供できるように、教育・保育ニーズに応じて、必要な施設整備を進めます。 ◆民間事業者の活用も含め、適切な教育・保育を提供します。 ◆新規施設事業者が円滑に事業を実施できるよう、相談・助言や小規模保育などの連携施設のあっせん等を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆特定教育・保育施設の適正な運営が行われるよう、確認実地指導を実施します。（こども政策課） ◆小規模保育事業所の適正な運営が行われるよう、施設監査及び確認実地指導を実施します。（こども政策課） ◆一時保育の利用状況をホームページで適宜更新することで、利用しやすい一時保育を目指します。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆認可外保育施設1園を認可保育園に移行し、令和4年10月1日に開園できるよう、助言・指導しました。（こども政策課） ◆特定教育・保育施設の適正な運営が図れるよう、7園に対して確認実地指導を実施しました。（こども政策課） ◆小規模保育事業所の適正な運営が図れるよう、12園に対して施設監査及び確認実地指導を実施しました。（こども政策課） ◆特定子育て支援施設の適正な運営が図れるよう、4園に対して確認実地指導を実施しました。（こども政策課） ◆一時保育の予約空き状況をホームページに掲載することで、より利用しやすいようにしました。（こども保育課） ◆一時預かり費用の支払いにキャッシュレス決済を導入し、利用者がより使いやすくなりました。（こども保育課）		
評価指標	◆通常保育定員数 ◆一時預かり利用児童 ◆一時保育アンケート結果	令和4年度数値	◆3,870人 ◆10,674人 ◆（満足している）73.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆帰ってくるといつも楽しそうに話をしてくれます。安心して預けさせていただいています。（こども保育課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆認可外保育施設「キッズ・ガーデン津田沼駅前園」が認可保育園「キッズガーデン津田沼園」に移行したことにより、認可保育定員が94名増加しました。（こども政策課） ◆特定教育・保育施設、小規模保育事業所、特定子育て支援施設に対する確認実地指導及び施設監査を実施することで、適正な運営と質の向上が図られました。（こども政策課） ◆一時保育担当者会議を適宜開催し、情報交換や共通理解に努めました。（こども保育課）	◆施設監査及び確認実地指導の事前提出書類に不備が多いことから、事前説明や様式お見直しについて、引き続き検討する必要があります。（こども政策課） ◆各施設のホームページの一時保育予約状況を適宜更新することで、利用しやすい体制作りに努めます。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆特定教育・保育施設の適正な運営が行われるよう、確認実地指導を実施します。（こども政策課） ◆小規模保育事業所の適正な運営が行われるよう、施設監査及び確認実地指導を実施します。（こども政策課） ◆特定子育て支援施設の適正な運営が図れるよう、確認実地指導を実施します。（こども政策課） ◆私的利用の方も予約が取りやすく、利用しやすい一時保育を目指します。（こども保育課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	児童育成課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	3 放課後児童会の運営	令和4年度 事業費決算額	事業名：放課後児童会運営費（施設整備事業含む） 決算額：334,525,208円
事業の概要	◆各児童会において、小学校1年生から6年生までの児童を受け入れます。 ◆児童の受け入れのため、小学校の余裕教室など、必要な施設整備を進めます。 ◆特別な支援を要する児童がいる放課後児童会には、職員を加配します。 ◆放課後児童支援員を確保し、安定的な児童会運営を図るため、計画的な民間業務委託を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童を優先した上で施設整備及び職員確保に努め、入会需要の増加への対応及び待機児童ゼロを目指してまいります。 ◆すべての児童の健やかな成長を支えるため及び働く保護者が安心して子どもを預けられる環境の整備を行い、安全・安心・安定の放課後児童会の運営を目指してまいります。 ◆放課後児童会職員との意見交換及び職員研修等を実施し、職場環境の改善及び職員のスキルアップを目指してまいります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆入会希望児童の増加に対応するため、谷津第五児童会の開設、屋敷第三児童会、つだぬま第三児童会にプレイルームの整備を行い待機児童の解消に努めました。 ◆入会希望児童の増加が著しい谷津小学校地区に谷津第六児童会及び谷津南小学校地区に谷津南第四児童会を令和5年4月1日開設するための準備を行いました。 ◆放課後子供教室との一体型事業を推進するため、屋敷小学校地区及び向山小学校地区放課後児童会を放課後子供教室と併せて民間委託を実施するため事業者選定を行いました。 ◆児童が安全で楽しく過ごせる児童会の運営を行えるよう、放課後児童会職員に対する研修の実施及び意見交換並びに保護者等関係各所との連携を図りました。		
評価指標	◆施設数 ◆定員数（最大登録人数） ◆児童数 ◆支援員数	令和4年度数値	◆34施設 ◆2,299名 ◆延べ18,415名 ◆61名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆長期休暇・土曜日の受入れ時間を早めて欲しい。日曜日・祝日もやってほしい。（保護者） ◆民間委託に変わっても現状と同じ状態、状況で子どもたちが安心して過ごせる環境づくりをしていただきたい。（保護者）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】	どのような成果があったかご記入ください。	【課題】	どのような課題が残ったかご記入ください。
◆谷津第五児童会の開設、屋敷第三児童会・つだぬま第三児童会にプレイルームの整備を行い、前年比113.2%（R4:18,415名、R3:16,274名、R2:15,515名、R1:15,862名、H30:14,127名）の児童を受け入れ、待機児童の解消に努めることができました。 ◆児童が安全で楽しく過ごせるよう放課後児童会職員のスキルアップに努め、また、保護者が安心して子どもを預けられる環境整備を行い、安全・安心・安定の児童会運営を行うことができました。		◆入会需要の増加への対応及び待機児童ゼロを目指し、計画的な施設整備及び職員の処遇改善並びに放課後児童会の民間委託化に取り組んで参りました。今後も最優先課題と認識し待機児童ゼロを継続できるよう努めてまいります。 ◆職員募集において、有資格者である支援員の確保が難しい。	
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）			A

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童を優先した上で施設整備及び職員確保に努め、入会需要の増加への対応及び待機児童ゼロを目指してまいります。 ◆働く保護者が安心して子どもを預けられる環境の整備を行い、安全・安心・安定の放課後児童会の運営を目指してまいります。 ◆児童が安全で楽しく過ごせるよう、放課後児童会職員との意見交換及び職員研修等を実施し、職場環境の改善及び職員のスキルアップを目指してまいります。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	こども保育課・幼稚園・保育所・こども園 あじさい療育支援センター
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	4 乳幼児教育の向上（保育一元カリキュラム）	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園の教諭・保育士などを対象とした、理論研修・実技研修を開催し、子どもの育ちと育ち合いを大切に乳幼児教育の向上に努めます。		
令和4年度 事業目標	◆保育一元カリキュラム（令和3年度改訂版）を基に教育・保育実践をし、保育の質の向上を目指していきます。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆各施設で期ごとに反省すると共に、内容の再確認と必要に応じた見直しの実施を行った。教頭会などでも表現の仕方の見直しを行った。（こども保育課） ◆教育、保育の質の向上に向け、乳幼児教育についての理論研修や保育に即生かせる実技研修などを実施した。（こども保育課）		
評価指標	◆研修開催回数 ◆参加人数	令和4年度数値	◆8回 ◆163名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆講話からの学びを保育に取り入れたり、日々の振り返りにつなげたりすることができた。（こども保育課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆研修での学びを実践することで、研修参加者だけでなく施設の職員も学びを共有することができた。（こども保育課）	◆研修会場が限られているため研修参加者の人数の上限が限られてしまう。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、各種研修を実施すると共に、保育一元カリキュラムを基本とした日々の教育・保育の展開を実施し質の向上を目指します。（こども保育課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高等学校
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	5 開かれた学校づくりの推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：特色ある学校づくり推進事業 決算額：182,500円
事業の概要	◆現在、学校評議員制度を市立小学校15校、市立中学校7校、市立高等学校1校に導入し、市立小学校1校に学校運営協議会を設置しています。 令和5年度より、すべての市立小・中・高等学校（全24校）で、学校評議員制度から学校運営協議会へ移行し、地域とともに開かれた学校づくりを推進します。		
令和4年度 事業目標	◆令和5年度に市内全小学校・中学校・高等学校で学校運営協議会を設置していくにあたり、各校の特色を生かした学校運営協議会設置となるよう準備を進め、社会に開かれた学校づくりを推進します。（指導課・小学校・中学校） ◆学校評価アンケートから生徒・保護者の声を聞くとともに、学校評議員協議会・学校関係者評価委員会等の地域からのご意見を参考にして、連携・協働して教育活動の改善を進めていきます。（習志野高校）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆令和4年度は、秋津小1校で学校運営協議会を実施した。学校運営等について地域の方々との連携を深めた。（小学校） ◆小学校15校、中学校7校、高等学校1校で学校評議員を実施した。今年度の取組や今後の方針について報告し、評議員から意見や質問を受け学校運営に活かすことができた。（指導課・小学校・中学校・習志野高等学校） ◆令和5年度市内小・中・高等学校24校において学校運営協議会の設置を行うため、委員選定の準備やガイドライン作成を進めた。設置にともなう委員の選定やガイドラインの内容の周知をはかるため担当者会議を開催し、学校運営協議会の役割や機能、地域との関わり方について情報共有を行った。（指導課） ◆学校評議員協議会、学校関係者評価委員会を開催し、委員の方々から御意見をいただきました。また、学校運営協議会へ移行することを踏まえ、委員の候補について検討を実施した。（習志野高等学校）		
評価指標	◆学校運営協議会設置校数	令和4年度数値	◆小学校 1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆全学校で学校評議員から学校運営協議会へと移行するにあたり、どんな点が変わるのか、どんな利点があるのか地域の方々へ理解を深める必要がある。（指導課・小学校・中学校・習志野高等学校） ◆登下校の際に習志野高校の生徒に対する苦情が商店街から出てこないことに努力を感じます。（習志野高等学校） ◆学校の課題については、一度に解決するのは無理があるため、少しずつ改善をしてほしいです。（習志野高等学校）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆学校評議員や学校運営協議会を開催し、地域の方々の意見をいただき、学校運営や学校教育活動の見直し及び改善を図るとともに社会に開かれた学校づくりを推進することができた。学校評議員から学校運営協議会に全校移行に向けて、準備を進めた。（指導課） ◆学校の教育目標について、保護者、地域の方々に理解していただくことができました。（習志野高等学校） ◆令和3年度の事業実施後の課題として、広報活動が挙げられました。課題を踏まえ、ホームページをリニューアルし広報活動の一層の充実を図りました。（習志野高等学校）	◆学校運営協議会の役割と機能について地域の方々に周知し、理解を進める。学校が地域の特色を生かし連携、協働し、より良い社会に開かれた学校づくりが進められるようにすること。（指導課） ◆コロナ対応のため、幅広く学校参観の機会をつくることができませんでした。（習志野高等学校）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆令和5年度市内全小学校・中学校・高等学校で学校運営協議会を年4回開催し、各校の特色を生かした学校運営協議会となるよう指導、助言を行い社会に開かれた学校づくりを推進する。（指導課・小学校・中学校・習志野高等学校） ◆学校評価アンケートや学校運営協議会等の地域からの意見を参考にして、教育活動や設備の整備を進めていきます。（習志野高等学校）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	6 個に応じた多様な指導の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：教育文化推進事業 決算額：876,000円
事業の概要	◆学校訪問などで授業研究を実施した際、個に応じた指導方法・学習形態の在り方に関して研究・協議を行い、わかる授業についてユニバーサルデザインの観点からと合理的配慮の観点から、きめ細かな指導をします。 ◆少人数指導による積極的な活動により、きめ細かな指導をします。 ◆日本語での学校生活に困難のある児童生徒に対し、在籍する学校（園）の要請に基づき、言語・文化指導者の派遣を行います。 ◆国・市学力調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業のあり方や、実践事例を各小中学校に提供していきます。 ◆ICTを活用した学習の周知、推進をしていきます。		
令和4年度 事業目標	◆日本語を母語としない児童生徒が言語及び学校生活に適応できるよう、言語・文化指導者の派遣を継続します。また、本市における日本語指導の体制・在り方を検討していきます。（指導課） ◆国学力調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業のあり方や指導資料を各小・中学校に提供するとともに、ICTを活用した学力向上を図っていきます。（総合教育センター） ◆タブレット端末の教科のねらいに沿った活用方法、安定した運用方法を周知します。（総合教育センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆日本語を母語としない児童生徒が在籍している学校からの要請に基づき、言語文化指導者の派遣を行った。（指導課） ◆日本語指導室の開設に向けて、検証校にて日本語指導を行った。（指導課） ◆市立各小・中学校で所有している多言語翻訳機を、学校ネットワークに接続した。（指導課） ◆全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題に応じた授業の在り方や指導資料を「ならしの学力向上プラン」として各小中学校に提供しました。また、ICT学習指導員が年間273回学校訪問を行い、授業研修、助言、指導を行いました。その中で効果的な活用について、「他校の実践から学ぶICT（タブレット）活用」を学期ごとに作成し、各小中学校に配付し、資料活用を図りました。（総合教育センター） ◆ICT活用教育研修を年5回実施し、情報モラル教育や著作権保護法など、運用時の留意点やデジタル教科書の活用について学びました。また、研修に参加した教員をICTマイスターに認定し、各小中学校で研修で受けた内容を広めていけるようにしました。（総合教育センター）		
評価指標	◆言語・文化指導者派遣校	令和4年度数値	◆小学校 11校 中学校 6校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆言語文化指導者からの指導・支援により、対象児童生徒がより学校生活に適応していけるようになった。指導回数については、実態に応じて増やしてほしい。（指導課） ◆タブレット端末を利用したオンライン授業があることで、感染症予防で登校できなくても学習に参加できてよかった。（総合教育センター）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆少しずつ生活に必要な日本語が身に付き、コミュニケーションをとることができるようになった。（指導課） ◆校内において通信費を必要とせず、多言語翻訳機を使うことができるようになった。（指導課） ◆日本語指導教室の開設につなげることができた。（指導課） ◆タブレット端末が学校生活の中で有効される場面が増えました。学習中のよりよい学びへの土台が築けています。（総合教育センター） ◆全国学力・学習状況調査の正答率が小学校、中学校とも全国平均を上回っており、学力の定着がうかがえる。（総合教育センター）	◆言語文化指導者による指導・支援の体系化。（指導課） ◆児童生徒の母語に対応した言語文化指導者の確保。（指導課） ◆安定した端末の運用方法の確立と情報モラル等への日常的な指導が必要でず。（総合教育センター） ◆校務支援システムが新しくなり有効な活用環境を整えていくことが必要でず。（総合教育センター） ◆昨年までの取り組みに加え、内容を理解して書く力の育成に引き続き努め、より効果的にICT機器を活用した学力向上に取り組んでまいります。（総合教育センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆日本語を母語としない児童生徒が言語及び学校生活に適応できるよう、言語・文化指導者の派遣を継続する。また、本市における日本語指導の体制・在り方を検討していく。（指導課） ◆日本語指導教室での指導及び対象児の学習状況を在籍校と共有し、各学校での指導・支援に生かす。（指導課） ◆全国学力・学習状況調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業の在り方や指導資料を「ならしの学力向上プラン」として、各小・中学校に提供するとともに、I C T機器をより効果的に活用した学力向上を図っていきます。（総合教育センター） ◆タブレット端末のより有効な活用方法の追究と安定した運用方法を周知していきます。（総合教育センター）
-----------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	幼稚園・保育所・こども園
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	7 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進	令和4年度事業費決算額	—
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して、保育・授業参観、合同研修会、相互職場交流研修、園児・児童の交流学習などを開催し、相互の連携に努めます。		
令和4年度事業目標	◆習志野市接続期カリキュラム（令和3年度策定）を活用しながら、より効果的な交流や連携をし、小学校との滑らかな接続に向けて理解を深めます。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に実施した事業内容	◆年間3回の幼保小関連研修の全体研修を実施した。 1回目 各16小学校区に分かれて年間計画を立案する 2回目 大学教授による講話研修 3回目 3小学校区による交流連携発表の実施 ◆ほとんどの地区で、児童と幼児が直接の交流を行った。ビデオレターでの交流方法を取り入れた地区もあった。職員間の交流では、児童、幼児の進級時や給食の様子、3学期の就学前など半数以上が参観した。		
評価指標	◆連携実践施設	令和4年度数値	◆45施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆児童・幼児同士の交流だけでなく、職員間が互いに参観したことで発達に応じた援助の方法がわかり育ちの理解につながった。接続期カリキュラムと照らし合わせて実際に参観できたことで学びにつながりやすかった。
-------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆接続期カリキュラムや互いの交流、職員間の情報交換などから幼児期の育ちがどのように就学後につながっていくのか確認することができた。	◆地区によりクラス数や園児の人数差が多く児童・幼児の直接交流の仕方が難しいため工夫が必要である。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆接続期カリキュラムの活用をしながら、互いの教育内容や指導方法の相互理解に努め、滑らかな接続を目指します。
-----------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・学校教育課・小学校・中学校
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	8 学校健康教育の推進（幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭など）	令和4年度事業費決算額	—
事業の概要	◆思春期の子どもの心身の健康教育、特に体力向上や健康安全教育（エイズ・自然災害・交通災害・喫煙・薬物乱用・食育など）について指導を行います。		
令和4年度事業目標	◆体力向上を各校の指導の重点項目に設定することとともに、児童生徒に目標をもたせて運動に取り組ませる工夫と、長期的かつ継続的に体力を高める取組を促す。（指導課） ◆保健の授業を活用した健康教育の充実を図る。（指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に実施した事業内容	◆新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じた体育授業における感染症対策を周知するとともに、コロナ禍での体育学習について各校で確認した。（指導課） ◆要請訪問等の指導案検討、授業研究を通して、体力向上につながる短時間継続的に取り組める活動について指導した。（指導課） ◆各学校において、健康教育（感染症予防、エイズ、自然災害、交通災害、喫煙、薬物乱用防止、食育など）を行いました。講師による講演形式での健康教育も、実施形式を工夫することにより、昨年度よりも多くの学校が実施することが出来ました。（学校教育課）		
評価指標	◆学校運動能力証交付率 ◆心肺蘇生法講習実施校数	令和4年度数値	◆運動能力証交付率（指導課） 小学校男子（19.8%） 小学校女子（21.7%） 中学校男子（14.8%） 中学校女子（34.4%） ◆24校中3校（学校教育課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆市内小中学校における児童生徒の体力・運動能力の現状と課題について明確になっているが、コロナ禍で体育や部活動の活動に制限があった時期については、課題に向けた取組に困難さがあった。（指導課・小学校・中学校） ◆コロナ禍で講演会形式での健康教育が難しい現状ではありますが、席の配置や換気の方法の工夫により実施する事ができました。（学校教育課） ◆オンラインを用いた研修会など、開催方法を工夫し実施する事ができました。（学校教育課）
-------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆感染症予防対策を施しながらの体育の学習内容に関して、様々な活動制限がある中でいかに体力向上を図るか模索しながら、学習を進めることができた。（指導課） ◆県の施策である「遊友ランキングちば」に全小中学校で継続的に取り組んだ。（指導課） ◆感染症予防指導により、手洗い、マスク着用の習慣が定着し、昨年度に引き続きインフルエンザ感染者が激減しています。（学校教育課） ◆オンラインによる講演会や研修を行い、自殺防止教育等の指導を行うことができました。（学校教育課）	◆新体力テストの結果から、運動時間の減少と児童生徒の体力の低下傾向が明らかになった。（小学校：走力 中学校：握力）今後は、子どもの自主性を育み、運動の習慣化へとつなげていく授業改善、指導力の向上を図っていく必要がある。（指導課） ◆新型コロナウイルス感染症により、縮小または中止した講演会や研修が今まで通りに再開できていない学校があります。（学校教育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆体力向上を各校の指導の重点項目に設定することとともに、児童生徒に目標をもたせて運動に取り組ませる工夫と、長期的かつ継続的に体力を高める取組を促す。（指導課） ◆保健の授業を活用した健康教育の充実を図る。（指導課） ◆各校の指導計画に基づき、児童生徒への健康安全教育（エイズ、自然災害、交通災害、喫煙、薬物乱用防止、食育など）について指導を行います。（学校教育課）
-----------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	9 青少年・家庭教育相談活動の充実	令和5年度 事業費決算額	事業名：教育相談事業 決算額：2,770,197円
事業の概要	◆教育相談・特別支援教育相談・青少年テレホン相談において、個々の相談内容に応じて対応・支援します。 ◆幅広い市民の皆様を対象に、来所相談・電話相談・訪問相談などに取り組みます。		
令和4年度 事業目標	◆各学校、各機関との連携を図り、相談者の不安や悩みが軽減するようにします。 ◆相談者にとって安心できる教育相談となるよう、現代的な課題にも対応できるようにしていきます。 ◆教育相談パンフレットを活用し、市民や学校に教育相談についての周知を進めていきます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆教育相談・特別支援教育相談（電話相談・来所相談・訪問相談）、青少年テレホン相談、いじめメール相談を行い、個々の相談に対応した。相談内容によっては各学校、及び関係機関と連携し、子どもや家庭に対して支援を行いました。 ◆本年度より小学校5年生から中学校3年生までを対象に、一人一台タブレット端末を用いた、「いじめ」匿名メール相談WEBアプリを導入し、導入のための授業を各校で行うことで、より相談しやすい環境づくりを行いました。 ◆教育相談パンフレットを手渡しで活用方法の説明を行いながら配付しました。 ◆特別支援教育相談の一環として、就学前施設の訪問を行いました。		
評価指標	◆青少年テレホン相談 ◆教育相談件数（来所・電話相談） ◆訪問相談 ◆いじめメール相談	令和4年度数値	◆49件 ◆来所相談延べ1,731件 電話相談 1,004件（適応、特別支援含む） ◆408件（学校、家庭） ◆延べ681件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆子どもが自分の携帯電話などで個々に行っていたいじめメール相談を、一人一台タブレット端末に「いじめ」匿名メール相談WEBアプリ『STANDBY』を導入したことで、相談窓口が身近になりました。 ◆電話で悩みを聞いてもらえて、不安な気持ちが少し解消しました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。	
◆一人一台タブレット端末に「いじめ」匿名メール相談WEBアプリを導入したことで、相談窓口が身近になり、いじめメール相談には昨年度の1.3倍の相談が寄せられた。 ◆特別支援教育相談の一環として各施設を訪問したことで、就学に不安を持つ保護者からの相談が増加し、特別支援教育相談の相談件数が倍になった。	◆急激に増加した相談に対し、専門の知識を持った相談員の増員が必要不可欠になっています。 ◆訪問相談や就学前施設の訪問を行う際に、相談員の数に対し外に出ていくための車両が足りておらず、こまめな訪問が行えない状況がある。 ◆総合教育センターで希望すれば発達検査を実施できると学校や関係機関から言われて申し込みを行う保護者が多いが、検査のみの実施はしていないため、誤情報を正していく必要がある。	
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）		A

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆各小・中学校・関係機関と連携し、相談者の悩みや不安が少しでも解消するように連携を図っていく。 ◆相談者の幅広い悩みに対応できるように、現代的な課題にも対応できるよう所内研修の充実を図っていく。 ◆教育相談パンフレットの配付範囲を広げ、学校や市民に対して、教育相談窓口の周知を進めていく。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	学校教育課・こども保育課 公民館・幼稚園・保育所・こども園 あじさい療育支援センター・小学校・中学校
施策内容	1 保育・学校教育環境などの整備		
事業名	10 「食育」の推進（幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭など）	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：38,000円（中央・菊田）
事業の概要	◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習などを開催し、家庭における「食育」を推進します。 ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。 ◆中学校区地域保健連絡会などを通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。		
令和3年度 事業目標	◆食生活全般に関して、興味関心の低い保護者に対する食育指導を進めていきます。（学校教育課） ◆望ましい食習慣と生活リズムの形成を図るために、引き続き食育年間計画に基づいた食育に取り組んでいきます。（こども保育課） ◆幼稚園に対し、栄養士を派遣して子どもたちへの食育指導を進めていきます。また、保育所・こども園で実施している食生活アンケートを実施します。（こども保育課） ◆引き続き幼児家庭教育学級・PTA家庭教育学級・育児講座において、各家庭で実践できるよう子どもの年齢に応じた「食の大切さ」を伝えるプログラムを取り入れます。（公民館）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆朝食の大切さを理解はしているが、毎日食べるということにつながらない児童生徒がいるのが実態です。この結果をもとに各校の実態に合わせ、各栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら実施いたしました。（学校教育課） ◆こども園、保育所における食育年間計画に基づき、日々の教育保育の中で、体験活動や教育媒体を活用し食育を実施しました。（こども保育課） ◆家庭との連携を図るため、食生活アンケートを実施し、配布物等にて保護者対象の啓発活動に反映させました。（こども保育課） ◆市ホームページにて、保育施設における給食レシピの掲載数を増やしました。（こども保育課） ◆幼児家庭教育学級・育児講座・親と子のふれあい講座において、「幼児期の食生活について」・「食育の基本について」などの講座を通じ、食べることの大切さを学んだ。（公民館）		
評価指標	◆朝食摂食率 ◆食育関連講座の実施回数	令和4年度数値	◆小学校 95.1%（学校教育課） 中学校 87.3%（学校教育課） 97%（こども保育課） ◆11回（公民館）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆赤ちゃんに与える簡単な離乳食や楽しく食事ができるポイントを聞くことができ、実践していきたい。（公民館） ◆子どもが食に興味を持つように工夫することや食のバランスなども知ることができた。（公民館）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、給食だより等を活用し、朝食の大切さを伝えていくとともに、食に関する指導の全体計画等の見直しをいたしました。その結果、令和4年度は令和3年度に比べ、朝食の摂取率は小中学校ともに2%程度上がりました。（学校教育課） ◆食生活アンケートの結果から家庭における食に関する課題等を明確にし、保育所・こども園・幼稚園における食育活動に活かすことができました。（こども保育課） ◆家庭に向けた「たべものだより」の配布や、ホームページの内容を充実させたことで、保護者の食育への関心を高めることができました。（こども保育課） ◆育児講座では栄養士から離乳食について、食べることの大切さを学び、幼児家庭教育学級では栄養士の指導のもと調理を学ぶことができた。（公民館） ◆手の込んだ料理でなくても、いろいろな調理方法で、減塩に気を付けながら、笑顔で食事をする事の大切さを学んだ。（公民館） ◆食事以外に野菜をおやつに使うことで、子どもの成長に必要な栄養をとれることを学んだ。（公民館）	◆各校で食に関する指導に取り組んでいるところですが、依然として朝食を食べてこない児童生徒がいます。その中には、家庭環境等に配慮しなければならない児童生徒もいるため、個別の指導が難しい状況です。（学校教育課） ◆食育は、子どもが健康的な生活を営む力を育むことが目的であり、家庭及び施設において継続的に実施することが必要であることから、引き続き、食生活アンケートを実施し、食に関する課題について家庭と共有することが課題となります。（こども保育課） ◆コロナ過で、実際の調理や試食を伴う講座の実施が難しかった。（公民館）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆食生活全般に関して興味関心を高めるため、保護者に対する食育指導を進めていきます。（学校教育課） ◆望ましい食習慣と生活リズムの形成を図るために、引き続き食育年間計画に基づいた食育に取り組んでいきます。（こども保育課） ◆幼稚園に対し、栄養士を派遣して子どもたちへの食育指導を進めていきます。また、保育所・こども園で実施している食生活アンケートを実施します。（こども保育課） ◆引き続き幼児家庭教育学級・育児講座・親と子のふれあい講座において、各家庭で実践できるよう子どもの年齢に応じた「食の大切さ」を伝えるプログラムを取り入れ、受講者が調理や試食等も再開できるよう取り組む。（公民館）
-----------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高等学校
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	1 1 キャリア教育の推進（小学生・中学生・高校生）	令和4年度事業費決算額	—
事業の概要	◆小学生・中学生を対象にした現在ある職業についての学習や職場体験を充実させます。 ◆高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させます。 ◆特別活動の学級活動の中核としながら、学校教育全体を通したキャリア教育を推進します。		
令和4年度事業目標	◆学校訪問時には、学習指導要領に則り特別活動を要としたキャリア教育の充実について引き続き指導を図ります。（指導課） ◆一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成を図るため、研修を通して「キャリア・パスポート」の活用推進に努めます。（指導課） ◆校内の進路指導体制を更に強化し、生徒一人ひとりの多様な進路選択に対応していきます。（習志野高校） ◆生徒の進路選択をサポートできるように、学校と家庭がより一層連携できるように体制作りを行います。（習志野高校）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に実施した事業内容	◆学校訪問時には、学習指導要領に則りキャリア教育の支店を生かした計画や授業展開について指導・助言を行いました。また、目標設定や振り返りで「キャリア・パスポート」の活用や、教科等と関連させた活用についての周知を図りました。（指導課） ◆主体的な進路選択については、小グループでの学習、ゲストを招いての職業講話、映像資料やICT機器の活用等で、様々な職業や上級学校についての理解を深めることができました。（指導課） ◆各科、学年の枠を超えて、発展的な学習を目指し、新教育課程に対応した「自己発展学習」を選択できるようにしました。大学受験に特化した講座、英語検定や漢字検定、商業や情報の資格取得のための講座を開講しました。（習志野高等学校） ◆進路指導部が中心となり、3年間の指導計画を立て、各学年において指導を行いました。（習志野高等学校） ◆「進路のしおり」を作成し、学校と家庭が連携して、生徒の進路決定のサポートができるようにしました。（習志野高等学校）		
評価指標	◆職場体験実施	令和4年度数値	◆中学校 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆職業体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施困難であったが、オンデマンド等ICT機器を活用したり、ゲストを招いたりするなど、工夫した取り組みを進めることができました。（指導課） ◆自己発展学習を非常に楽しみにしていました。効果が出てきつつあります。（習志野高等学校） ◆早い内から学び、自分の進路をつかめるよう先生方に考えていただきたいです。（習志野高等学校）
-------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆ICT機器を活用し、キャリア教育の視点を生かした取り組み実践が進みました。（小学校・中学校） ◆職業選択に関するガイダンスや上級学校に関する講演会を計画的に実施し、生徒たちの進路決定に対する意欲を高めることを継続して実施できました。（習志野高等学校） ◆自己発展学習を活用し、生徒自身のキャリアを積むことで将来の選択肢を具体的にイメージすることができました。（習志野高等学校）	◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験学習や職場体験を実施することは困難でした。（小学校・中学校） ◆大学入試制度が複雑化しており、生徒および保護者へ丁寧に説明を行う必要があります。（習志野高等学校） ◆社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力の育成を計画的に行う必要があります。（習志野高等学校）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆学校訪問時には、学習指導要領に則り特別活動を要としたキャリア教育の充実について引き続き指導を図ります。（指導課） ◆一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成を図るため、「キャリア・パスポート」の活用推進に努めます。（指導課） ◆校内の進路指導体制を更に強化し、年度の早い時期に、進路先見学会を計画することで、多様な進路に対応していきます。（習志野高等学校） ◆ポートフォリオに進路や総合探求学習の履歴を記録することで、進路選択の一助となるようにします。（習志野高等学校）
-----------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	1 2 福祉教育の推進	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆社会福祉協議会と連携を図り、福祉教育やボランティア活動に取り組んでいきます。 ◆勤労精神やボランティア精神を養う体験的な活動を経験するため、中学生の地域美化活動、地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会への参加などを推進します。		
令和4年度 事業目標	◆各学校でコロナ禍にあっても取り組める福祉教育やボランティア活動を検討し実践していきます。社会福祉協議会等の他機関とも連携することなどを通して、福祉教育への理解を深め、子どもたちが将来主体的に社会に貢献できるようになることを目指します。（小学校・中学校・指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆車いすや白杖、目が見えない人の体験や支援をする活動を行った。（小学校・中学校） ◆認知症の方や肢体不自由の方を招いて、講演を行った。（小学校・中学校） ◆公民館の花植え、高齢者施設への手紙ボランティア、地域の清掃など活動を精選して行った。（小学校・中学校）		
評価指標	◆ボランティア活動実施校数	令和4年度数値	◆7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆実際に体験することや講演を聴くことで、高齢者や障がいを持つ方についてより身近に感じることができた。（小学校・中学校） ◆ボランティア活動については、その活動の意義をしっかりと踏まえた上で取り組み、社会に貢献する意識を育むことにつながった。（小学校・中学校）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆体験活動や講演を通して、福祉に対する理解を深め、より自分事として感じることができ、今後の生活につなげていこうとする姿勢が見られた。（小学校・中学校）	◆それぞれの学校で福祉に関する学習を行っているが、各校の実践をまとめ市内に共有し、より多くの活動や地域の人材を活用していく必要がある。（小学校・中学校・指導課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆社会福祉協議会の地域ボランティアセンターなどと連携し、ボランティア活動の周知や福祉教育の外部講師の招聘などを行っていく。（指導課） ◆それぞれの学校で行った福祉教育に関する実践を市内で情報共有していき市内での福祉教育の推進を図る。（指導課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	クリーンセンター クリーン推進課 谷津干潟自然観察センター・環境政策課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	13 環境教育の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：3R推進事業 決算額：1,045,295円(消耗品、修繕、保険料等) ※リサイクルプラザ事務費はR4より廃止し上記事業に合併しました。
事業の概要	◆小学生の環境教育を推進するための一環として、クリーンセンター（リサイクルプラザ・清掃工場）、谷津干潟自然観察センターの施設見学を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルス感染対策を取りながら、施設見学が円滑に行えるよう、引き続き各小学校の担当者への事前説明会を開催します。（クリーン推進課） ◆環境学習プログラムを充実させることで、子どもたちに自然保護や環境保全について、興味・関心を深められるよう努めます。（環境政策課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆限られた時間内で児童がスムーズに各施設や展示物の見学を行えるよう、小学校担当者向けの事前説明会を開催しました。（クリーン推進課） ◆小学生が見学時に使用するパンフレットを作成し配布しました。（クリーン推進課） ◆市内16校の小学4年生を対象にした施設見学を実施。その中で、谷津干潟周囲のフィールドを活用した、谷津干潟ビンゴを実施。谷津干潟ビンゴに関しては以下の3つを目的として実施した。（環境政策課） 【目的】 1、谷津干潟の生物観察を楽しむ。 2、干潟やその周辺の観察を通じて谷津干潟がどんなところか知る。 3、谷津干潟がラムサール条約に登録されている大切な干潟であることを知る。		
評価指標	◆クリーンセンター見学児童数	令和4年度数値	◆小学4年生見学者数：1,496人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆谷津干潟(谷津干潟自然観察センター)の見学と、授業で行う自然や郷土の単元、また、SDGSと結びつけて展開を考えている学校が多く、事前に展開する授業の内容やスタッフが行う解説ポイントの希望を聞いて進めたことで、学校側の望むことと施設見学の目的は達成されたであろう。（環境政策課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】	どのような成果があったかご記入ください。	【課題】	どのような課題が残ったかご記入ください。
◆事前に学校で学習してきたことを実際に自分の目で見てもらうことで、自分たちが出したごみがどのように処理されているのかを知ってもらうことができました。（クリーン推進課） ◆ビンゴというゲーム性のある観察を行うことで、児童の観察する意欲が高まった。その中で、カニや貝やゴカイや魚、野鳥など干潟の生きものを見つけ、多くの生物が生息する場所であること、干潟の生態系が食物連鎖で成り立っていることを学習した。また、海岸線の埋め立て経過の写真や、護岸に囲まれた干潟を見ることで、谷津干潟が埋め立てを免れた貴重な自然財産であることを知ってもらえた。（環境政策課）	◆生徒数の多い学校に限られた時間内で見学を円滑に行うには、引率の先生の協力が不可欠であると感じました。（クリーン推進課） ◆干潟をより身近な(心に残る)場所であることを体感できるよう、学習プログラムを精査していくことが課題であると考え。（環境政策課）		
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）			A

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き各小学校の担当者への事前説明会を開催します。（クリーン推進課） ◆令和5年度は、干潟をより身近な(心に残る)場所として感じてもらえるように、施設見学プログラムの中に干潟体験を盛り込む予定である。観察体験と五感を使った実体験から、これまで以上に、干潟の価値を多方面から感じてもらい、干潟に興味や関心を持ってもらいたいと考えている。（環境政策課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	こども保育課・指導課・学校教育課（指導課）
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	14 鹿野山宿泊保育・学習、富士吉田青年の家学習の充実	令和4年度事業費決算額	—
事業の概要	◆鹿野山少年自然の家で、自然体験のため宿泊保育・学習を実施します。 ◆富士吉田青年の家で、自然体験などのため宿泊学習を行います。		
令和4年度事業目標	◆日帰り活動においても五感を通して自然と触れ合い、興味や関心を高める充実した自然体験活動を実施します。（こども保育課） ◆新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、自然体験学習を通して、現実の世界や生活などへの興味・関心を高めるとともに、社会性や共に生きる力の育成を図ります。（指導課・学校教育課） ◆新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた活動内容を考え、自然体験学習を通じた心身の育成を図っていくとともに、宿泊を伴う自然体験学習のあり方について考えていきます。（指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に実施した事業内容	◆鹿野山少年自然の家で、日帰りにて自然体験活動を実施しました。大尽山ハイキングやソリ・ロープ遊び、竹切り等の活動を行いました。（こども保育課） ◆鹿野山セカンドスクールは、感染症対策を踏まえた日帰りでの活動を実施した。（指導課） ◆富士吉田青年の家は、第七中学校、第三中学校の2校で宿泊学習を実施した。（指導課）		
評価指標	◆自然体験活動を実施した5歳児クラスの割合	令和4年度数値	◆100%（幼稚園・こども園）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆鹿野山で植物や生き物を見たり触れたりしたことで、自然への興味・関心が高まりました。また保護者からは、参加後子どもが精神的な成長をしたことを実感したという感想が聞かれました。（こども保育課） ◆日帰りだったが、とても充実した内容で自然に親しみながら活動することができた。（指導課） ◆グループ活動では、友達を思いやる行動がみられた。（指導課） ◆雨天プログラムの内容も充実しており、室内の活動でも充実した1日を過ごすことができた。（指導課）
-------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆日帰り活動のため、事前に自然の家職員の紹介や生き物についての説明、注意事項等、動画を見ていたことで、期待を高めると共に、当日の活動時間を長くとることができ、様々な自然体験をすることができました。（こども保育課） ◆コロナ禍においても、感染症対策をとりながら、豊かな自然環境のもと体験活動を実施することができた。（指導課）	◆日帰り活動の短時間でも、充実した自然体験活動が行えるよう、活動内容や計画の見直しが必要です。（こども保育課） ◆鹿野山少年自然の家は、日帰りでの実施となったため、体験できる活動に限りがある。宿泊を伴う体験活動のあり方について検討していく必要がある。（指導課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆3年ぶりに再開した鹿野山少年自然の家での自然体験学習を通し、心身の育成を図っていく。（指導課） ◆鹿野山少年自然の家での宿泊学習実施の方向性を見据え、宿泊を伴う自然体験学習のあり方について考えていく。（指導課）
-----------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	防犯安全課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	15 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成	令和4年度事業費決算額	事業名：犯罪のない安全で安心なまちづくり事業 決算額：3,214,159円
事業の概要	◆自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成を目的に、小学生と中学生で組織される青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成を図ります。		
令和4年度事業目標	◆令和4年度もキラットジュニア防犯隊を実施し、小中学生の防犯意識向上を図るとともに、青少年健全育成の推進につなげる。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に実施した事業内容	◆自転車防犯診断（京成津田沼駅、京成実籾駅、京成大久保駅、JR津田沼駅）の実施 ◆市内7駅における街頭啓発キャンペーンの実施 ◆防犯マップ（谷津地区）を作製		
評価指標	◆キラット・ジュニア防犯隊隊員数	令和4年度数値	◆156名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆防犯マップを作製したことにより、児童・生徒の危険回避能力を養うことができた。	◆参加人数の減少（R3：181人→R4：156人）があることから、魅力ある内容等について検討する。 ◆犯罪発生件数は減少傾向にあるが、電話de詐欺の被害は続いている。市民が詐欺被害にあわないようにより一層の注意喚起が課題である。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆犯罪発生件数は、減少したものの、依然電話de詐欺の被害や不審者情報の報告が多いことから、より一層の注意喚起を行う。 ◆R5年度も本事業を実施するとともに、魅力のある内容について検討する。
-----------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	学校教育課・こども保育課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	16 子ども向け防犯教育の徹底	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆子どもたちが自分の身を守るためにどうしたらよいかを考え、行動できるように、防犯教育の徹底を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆緊急一斉点検を受け、通学路の安全確保について、対策を順次行えるように、習志野警察、街路整備課、防犯安全課と連携を図っていきます。（学校教育課） ◆計画的な訓練を関係機関と連携して実施します。市内外で起きた事案等を自施設と照らし合わせ、職員は危機管理に対する意識を高めるとともに子ども達が自ら安全な行動がとれ、危機認知や危険回避の意識が高まるように指導していきます。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆各校の実態に応じてコロナ感染症対策を講じながら訓練を実施しました。個別の振り返りの時間を確保することで安全な行動が身につくよう指導しました。（学校教育課） ◆年3回の通学路安全対策協議会を開催しました。第2回に、習志野警察交通課・生活安全課、市役所街路整備課・防犯安全課・教育委員会（学校教育課・青少年センター）、学校（教頭、PTA代表）が交通安全面、防犯安全面の両面から実施調査を行い、学区の危険箇所について情報共有を行いました。（学校教育課） ◆学校によっては、地域や外部関係機関と連携した訓練を実施しました。各施設において計画に基づいた訓練を実施しました。実施結果をこども保育課へ報告することで訓練の成果と課題の情報共有を図りました。（学校教育課） ◆各施設において、計画的な訓練及び警察署等関係機関と連携した訓練を実施しました。（こども保育課）		
評価指標	◆日常的な安全指導の実施率 ◆幼稚園・保育所・こども園での防犯教育実施率	令和4年度数値	◆100%（学校教育課） ◆100%（幼・保・こ）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆警察署の方から歩行訓練、自転車の乗り方等指導していただくことができました。（学校教育課） ◆警察署と連携した訓練において、不審者への対応について職員が知識を得ると共に、子どもへの安全教育につなげることができました。（こども保育課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆令和3年度に実施した緊急一斉点検を受け、危険箇所の対策を実施しました。（学校教育課） ◆子供たちが安全に過ごすための話の聞き方や落ち着いて避難することの大切さを繰り返し知らせることにより定着が図られました。（学校教育課） ◆通学路の安全の観点で課題箇所の情報共有ができました。街路整備課、警察により修理等の改善が行われました。（学校教育課） ◆警察署との連携や各施設における様々な事態を想定した訓練を計画的に実施したことで、職員や子どもが安全な行動をとる大切さや自分の身を守る意識を高めることができました。（こども保育課）	◆危険箇所については、教職員、児童生徒、保護者で共通理解し、児童生徒については危険予知・危険回避能力の向上を図るよう普段から指導していく必要があります。（学校教育課） ◆緊急一斉点検を受け、通学路の安全確保について、対策を順次行えるように、習志野警察、街路整備課、防犯安全課と連携を図っていきます。（学校教育課） ◆非常時に備え、様々な事態をさらに想定した訓練を行い、職員全員が臨機応変な対応がとれるように、危機管理への意識を高めていくことが必要です。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆通学路の安全確保について、対策を順次行えるように、習志野警察、道路管理課、防犯安全課と連携を図っていきます。（学校教育課） ◆計画的な訓練を関係機関と連携して実施します。職員は危機管理に対する意識を高め、子どもが自ら安全な行動を取り、危機認知や危険回避の意識が高まるように指導していきます。（こども保育課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見+353:358つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	17 スポーツ教室の開催	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆スポーツ施設などで児童を対象としたスポーツ教室を定期的に開催します。		
令和4年度 事業目標	◆習志野市の子どもたちの体力向上のため、誰でも参加しやすい、親しみやすい、魅力ある事業を展開し、運動機会の向上を目指します。 ◆オリパラ種目を取り入れることで、様々なスポーツに触れる機会を引き続き提供し、興味関心の拡充から「みるスポーツ」への誘導と子どもたちが将来取り組むスポーツ「するスポーツ」の種目の選択肢の拡充を行います。 ◆ジュニア期の体力・運動能力を強化し、将来習志野市を代表するスポーツ選手の育成に取り組んでいきます。 ◆親子対象の事業を拡充し、子どものスポーツへの興味関心・運動能力の向上とともに、幼児期から小・中学生まで継続した運動環境の提供に力を入れていきます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆小学生以上を対象とした運動能力向上を目的としたスクールやかけっこ等の短期教室、当日参加型の多項目教室やイベント（①キッズスポーツ：テニス・体操・ボルダリング・なわとび等②スポ振スポーツ広場：各種アトラクションスタンプラリー）、パークゴルフ教室などを実施いたしました。 ◆親子や三世代で参加できる親子体操教室の拡充をはじめ、運動会やマラソン大会、パークゴルフ大会等のスポーツ大会を実施し、親子間のみならず三世代でのコミュニケーションを育む機会の提供をしました。 ◆学ぶスポーツとして、キッズクッキング、スポーツクライミング初回者講習会など、様々なスポーツ機会を提供しました。		
評価指標	◆開催事業参加人数	令和4年度数値	◆5,368名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	参加者アンケートより ◆子供が早く走りたいと思う良いきっかけになった。また練習リレーは、走ってる子供も見ている保護者も盛り上がり楽しかった。練習を定着させたり、子供の意識や走り方の成果を4回で出すのは1、2年生には難しいように感じた。回数が増えると良いのではないかなと思う ◆必死に走り回る姿を見て、もっと一緒に遊べる体力を付けるため、日々の運動を始める！と話していました。参加できて本当に良かったです！ ◆子供のペースに合わせて指導してもらいとても楽しんでいる様子でした。色んな動きを体験することができて、家でも取り入れて遊びたいと感じ、親子共々とてもいい刺激をもらいました。次回も参加できたらいいです。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆子どもの体力低下が問題視される中で、普段スポーツを行う機会や場所が限られている子どもたちに、気軽に誰でも参加できる教室を実施することでスポーツの楽しさを味わったり、運動能力の向上への手助けや運動不足の解消など、スポーツに取り組むきっかけや仲間作りの場を提供できたと思います。 ◆比較的運動が苦手、運動機会が少ない子どもたちが多く参加していると感じるが、運動会対策や体育の授業で実施する種目も取り入れていることから、保護者からは感謝の声が上がっている。	◆人気事業への申し込みが多く、抽選漏れの方も多く出た。可能な限り多くの方が参加できるよう、初参加優先や事業内容の見直しをし対応したい。 ◆当日参加型事業では種目により参加者数に偏りがある。継続参加の工夫や種目の検討を引き続き実施する。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆習志野市の子どもたちの体力向上のため、誰でも参加しやすい、親しみやすい、魅力ある事業を展開し、運動機会の向上を目指します。 ◆ジュニア期の体力・運動能力を強化し、将来習志野市を代表するスポーツ選手の育成に取り組んでいきます。 ◆親子対象の事業を拡充し、子どものスポーツへの興味関心・運動能力の向上とともに、幼児期から小・中学生まで継続した運動環境の提供に力を入れていきます。 ◆市内で、このような教室や事業を実施していることがまだまだ周知しきれていないので、新規参加者の拡充に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	社会教育課・公民館・図書館・指導課 こども保育課・子育て支援課 他関係各課、各施設
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	18 子どもの読書活動の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：36,000円（中央・菊田） 事業名：読書活動推進事業 決算額：1,067,691円 事業名：ブックスタート事業 決算額：573,100円
事業の概要	◆全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるよう、「習志野市子どもの読書活動推進計画（令和元年度～令和7年度）」に基づき、行政や教育・福祉・保健関係者、地域住民やNPO、ボランティア、事業者などが連携・協力し、それぞれの役割の中で様々な事業に取り組みます。		
令和4年度 事業目標	◆計画中間年にあたることから、小中学校・保育所等（保護者対象）へのアンケートの実施・分析や、図書館・学校（指導課）・こども部等関係部署との連携を図り、計画の見直しを行います。（社会教育課） ◆引き続き、育児講座、幼児家庭教育学級において、親子で学べる本選びについてのプログラムを取り入れます。また、常設されている図書コーナーを利用してもらうように努めます。（公民館） ◆電子図書館の運用が始まるため、5月下旬の運用開始前に新1年生に図書館カードを配付します。（図書館） ◆学校図書主任や学校司書と連携し、各学校の学校図書館利用や読書活動が円滑に行っているかの確認と改善を図り、読書活動を推進します。（指導課） ◆公共図書館と連携を図りながら、学校が公共図書館を利用しやすくなるように働きかけを行います。（指導課） ◆絵本環境を整え、乳幼児の興味関心を高めるとともに、読み聞かせの大切さ等の保護者への啓発に努めます。（こども保育課） ◆新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、健康支援課母子保健担当や図書館との連携を図り、親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。（子育て支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆習志野市子どもの読書活動推進計画（計画期間R1-R7）の令和3年度の実施状況の調査を実施した。また、計画の進捗状況及び課題の把握のため、保護者や児童生徒を対象としたアンケートを実施し、その結果を踏まえ、庁内の推進委員会において、計画に掲げた事業について取り組み内容の見直しを行った。（社会教育課） ◆育児講座、幼児家庭教育学級、親と子のふれあい講座、図書館と公民館の共催事業において、絵本の選び方、手遊び、読み聞かせについて学んだ。（公民館） ◆①ブックリスト「よんでみて！」（市内小中学生）、②「読書手帳」（新1年生対象）を配付。（図書館） ◆③朝の読書セットの貸出を実施。（図書館） ◆④移動図書館巡回先以外の小学校の新1年生に対しても、市立図書館の利用登録の案内を実施。（図書館） ◆季節や子どもの発達などに即した絵本の精選やじっくり読めるスペースの確保など環境作りに努めた。また、園（所）で読み聞かせした絵本のタイトルを保護者に知らせることで絵本に興味関心を寄せてもらったり、家庭でも読んでみようとするに少しずつつながってきた。（こども保育課） ◆健康支援課による4か月児健康相談において、健康支援課職員から絵本とコットンバックを贈呈しました。（子育て支援課）		
評価指標	◆3期計画の実施状況	令和4年度数値	◆13回（公民館） ◆①14,912部 ②1,768部 ③20セット ◆④254人登録（図書館） ◆18施設（こども保育課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆アンケート結果自由記述より（社会教育課） ・イベントやキャンペーンがあればよい ・目的の本を探しやすい ・読み聞かせに使った本を保護者に情報共有してほしい ・返却場所や借りる場所を増やしてほしい ◆各家庭の思い入れのある絵本を知ることができ、興味深かった。たくさんの絵本を見たり聞いたり、私が幸せな気持ちになった。図書館のリストもとても参考になった。（公民館） ◆絵本の選び方や向き合い方を初めて教えてもらえて、勉強になった。（公民館） ◆読んでもらう体験ができて嬉しかった。（公民館） ◆テレビ（メディア）と絵本の違いも分かった。（公民館） ◆絵本の入れ替えや興味関心がもてるような環境作りを意識してきたことで、絵本に携わる子どもが増えた。アプリで園（所）で読み聞かせした絵本のタイトル等を知らせることで保護者が絵本に興味関心をもつことに少しずつつながってきた。（こども保育課） ◆絵本がもらえて嬉しいです。（子育て支援課）
-----------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆新たに小中学校の児童生徒に貸与されたタブレット端末の活用をはじめ、計画策定から数年が経過した中で生じた状況の変化に応じ、取り組み内容の見直しを行った。（社会教育課） ◆2歳児、3歳児各講座では、子どもの年代別に推奨される絵本の紹介や、本が子どもに与える影響等を学び好評であった。（公民館） ◆受講者は、読み聞かせが親子のコミュニケーションに役立ち、また想像力を育む大切な時間であることを再認識したようである。（公民館） ◆新1年生の保護者に対して利用登録の案内を配付することで、図書館利用の促進ができた。（図書館） ◆絵本の読み聞かせを通して物語に興味関心が高まり、表現遊びに発展した施設も見られた。そのような園（所）での子どもの姿と絵本のタイトル等を併せて配信したり、送迎時に見られるように玄関に絵本を掲示したりしてきたことで手に取ったり、子どもとの会話の糸口につながった。（こども保育課） ◆4か月健康相談の場を活用し、乳児期の早い時期に絵本等の配布を行うことで、絵本の大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションのきっかけづくりを支援しました。（子育て支援課）	◆講座で紹介された絵本を、公民館の図書コーナーでも実際に手に取れるよう蔵書の充実を図りたい。（公民館） ◆乳幼児のいる保護者に向けて講座を実施しているが、継続して本を楽しんでもらえるように幼稚園児や小学生向けの講座も実施をしたい。 ◆申込書回収から図書館カードの配布まで1カ月弱かかってしまい、その間に図書館利用を希望する方にご不便をかけてしまうと思う。（図書館） ◆読み聞かせを園（所）で継続すると共に、読み聞かせの良さを各家庭でも取り入れてもらえるような働きかけを工夫していく。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆国において、令和5年度からを計画期間とする第5次計画が策定されたことから、市の次期計画（令和8年度～）の策定に向けた準備を開始する。（社会教育課） ◆引き続き、育児講座、幼児家庭教育学級において、親子で学べる本選びについてのプログラムを取り入れます。また、公民館内の図書コーナーを利用してもらうように努めるとともに、図書館と連携し、講座での絵本の展示や移動図書館の紹介を行います。（公民館） ◆令和5年度は新1年生のほかに小学4～6年生も対象にすることで、希望する児童全てに図書館カードを配付。（図書館） ◆保護者配信アプリを使用して園（所）で読み聞かせした絵本を配信したり、図書館の絵本のおすすめページや予約の仕方などの配信を再度行い保護者への啓発に努めます。（こども保育課） ◆健康支援課母子保健担当や図書館との連携を図り、親子のふれあいの支援や読書活動の充実にも努めます。（子育て支援課）
-----------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	19 科学教育振興	令和4年度 事業費決算額	事業名：科学教室振興事業 決算額：395,497円
事業の概要	◆本市児童・生徒の旺盛な学ぶ意欲に応じるための場の一環として、総合教育センター（ドーム館）などを活用し、科学的分野を中心に、様々な学習体験ができる「わくわく学びランド」を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆市内にある大学および県立佐倉高等学校教諭と連携した科学教室を計画しています。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、人数制限をするなど感染症対策を徹底して実施する予定です。併せて動画を撮影し、総合教育センターホームページに掲載し、学習の様子を広く市民へ伝えていくことを考えています。（総合教育センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆わくわく学びランド「映像教室」4回実施（6/21, 9/20, 10/14, 1/24） ◆わくわく学びランド「科学教室」3回実施（7/26, 7/28, 8/18） ◆わくわく学びランド「学習教室」6回実施（8/22, 8/23, 8/25, 8/26, 8/29, 12/26）		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆夏休みの予定を立てられた。本もたくさん読めた。いつもの自分の午前の生活より、たくさんの宿題を終わらせることができた。 ◆学校で教えてもらっていないことも分かりやすく教えてもらえた。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆映像教室では、ドーム館のプラネタリウムを利用し、子供たちにとって普段見ることのできない貴重な星空学習ができた。 ◆科学教室では、大学と高校との連携事業で、参加した子供たちは科学をより身近に感じることができ、指導した学生にとっては、貴重な指導技術を体験することができる場となった。 ◆学習教室では、夏休みの課題への取り組み意欲の向上と、学習の苦手克服につながった。また、書き初め教室で、自身の力の伸びを感じる児童が多数いて、技能向上につながった。	◆総合教育センターの施設はエアコンが全館にきかないところがあり、夏場気温の高い中、科学教室の実施は、熱中症の心配があった。 ◆新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めたが、多くの児童生徒が参加するイベントのため、感染リスクが低いとはいえない。しかし、今後の状況を鑑みて、募集人員の増加は可能である。実施方法については研究を進めていく。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆市内にある大学および県立佐倉高等学校教諭と連携した科学教室を計画している。募集人員を45名とし、より多くの子供たちに科学体験の場を提供できるように計画していく。併せて、動画撮影を行い、総合教育センターホームページより閲覧できるようにして、学習や体験活動の様子を広く市民へ伝えていくことを予定している。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	男女共同参画センター
施策内容	3 次世代の意識づくり		
事業名	20 男女共同参画を推進する意識づくり	令和4年度 事業費決算額	事業名：男女共同参画啓発事業 決算額：350,300円
事業の概要	◆「習志野市第3次男女共同参画基本計画」に基づき、講座の開催やパンフレットの配布などで、男女平等推進のための意識づくりを進めます。		
令和4年度 事業目標	◆新しい生活様式にあわせた講演会の開催方法の検討を行い、男女共同参画の意識づくりの推進を行います。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆男女共同参画週間事業「無意識の思い込みを知る、気づく、変えていこう！」を開催。若い世代や子どもたちへの男女共同参画意識の醸成が大切であるという考えのもと、子どもに関わる親や祖父母、地域の人々を対象として、無意識の思い込みへの気づきやジェンダー平等のきっかけとなる講演会を開催した。 ◆男女共同参画啓発講座「安藤パパ直伝！パパと子どものキズナ大作戦」を開催。子育てに関わる男性を対象に、積極的な育児参加の促進と、家庭と仕事との両立を図ることを目的とした。 ◆男女共同参画社会づくり広報紙「きらきら」第55号では、若年層の性暴力予防月間の周知を目的として、性暴力被害に遭ったときの相談窓口の周知を行った。		
評価指標	◆講演会の実施回数	令和4年度数値	◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	(講演会の感想) ◆無意識に持っているバイアスによって、身近にいる大切な人を傷つけないよう、気付くことや対処の方法を学ぶことができた。 ◆「良い父親ではなく笑っている父親になる」という言葉にはっとした。もっと自分や家族の未来のことを考えようと思った。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆自分自身の考え方や家庭でのかかわり方について、参加者一人ひとりが見直し、性別役割分担意識にとらわれない、男女共同参画の意識づくりの機会となった。	◆特に若い世代への意識啓発は継続して実施していく必要がある。引き続き、若い世代が参加しやすい企画及び周知方法を検討していく必要がある。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆若い世代が参加しやすい企画や周知方法を検討し、男女共同参画の意識啓発につながる講演会を実施する。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	健康支援課・公民館・幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・指導課・学校教育課 あじさい療育支援センター
施策内容	3 次世代の意識づくり		
事業名	2 1 「生命と性」への理解の向上	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円 事業名：公民館講座費 決算額：37,000円（中央・菊田）
事業の概要	◆自分だけではなく、他人も思いやり、互いのいのちを大切にするための支援の一環として、子ども・保護者に向けて、「生命と性」の大切さを啓発する活動や学習の機会の充実を図り、自分自身が愛されて育てられたということを理解し、自分自身を肯定的に受け止められるように支援します。 ◆幼稚園・こども園・学校・PTA・公民館・健康支援課などの関係機関が連携し、「乳幼児健康相談事業」、「幼稚園健康教育」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」など、それぞれの年代に応じて、一貫した「生命と性」の健康教育を行います。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、継続的な機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、「生命と性」への理解の向上に努めます。（健康支援課） ◆引き続き、育児講座・幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級において、各家庭で実践できるよう「いのちの大切さ」を伝えるプログラムを取り入れます。（公民館） ◆命あるものとの触れ合う機会を指導計画に位置付け、各園（所）が実施できるように促します。（こども保育課） ◆発達段階に合わせた性教育の実施について周知徹底を図るとともに、今後も小・中学校の連携を図り、発達段階に応じた更なる教育充実にも努めます。（指導課） ◆学習指導要領に示された性に関する指導の内容を、各校の計画で実施するように促します。（学校教育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度 に実施した 事業内容	◆新型コロナウイルス感染症対策のため中止や縮小となった事業もありましたが、学校との連携による健康教育（就学時健診）などの中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わり方や「いのち・性」についての内容を取り入れて健康教育や資料配布を行いました。4か月児健康相談では、基本的信頼関係の確立や性器のケアなどの内容を保護者に伝えていきます。（健康支援課） ◆育児講座、2歳児親子サロン、PTA家庭教育学級において「いのちの大切さ」「いのちと性について」をテーマに講座を行った。（公民館） ◆日々の保育の中で、飼育物の世話を通して命あるものとの触れ合いを行った。また、友達との関わりを通して相手の気持ちを考えることや優しさをもつ等、折に触れて伝えたり考えたりしてきた。教育・保育計画でも生命の大切さに気付いたり思いやりの気持ちを育む指導計画を立案し意識することができた。（こども保育課） ◆幼稚園では園内で赤ちゃん人形を借用し、命について考える機会を設けた。（こども保育課） ◆小中学校ともに体育・保健体育の保健分野で性教育について扱い、発達段階に応じた心の発達も含めて指導した。（指導課） ◆学習指導要領に示された性に関する指導の内容を各校の計画で実施するように促しました。（学校教育課）		
評価指標	◆「いのち・性」に関する健康教育実施回数 ◆「生命と性」に関する講座の実施回数 ◆外部講師による「いのち・性」に関する健康教育実施率	令和4年度数値	◆134回（健康支援課） ◆7回（公民館） ◆95.7%（学校教育課） 5施設（こども保育課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者 からの意見・ 感想等の内容	◆赤ちゃんの性器の洗い方などについて知らなかったという声が聞かれました。（健康支援課） ◆体について、沢山勉強する事が出来て知識を増やせて良かったです。（公民館） ◆普段なかなか聞きづらいことを聞くことが出来たので良かった。（公民館） ◆身近な命あるものに対して優しく触れたり関わろうとする気持ちが育った。年下の友達に優しくしようとする気持ちも育ってきている。（こども保育課） ◆いのち・性に関わる指導については、保健だけでなく、各教科等のなかで適切に実施していきたい。（指導課） ◆命の大切さがわかりました。（学校教育課） ◆思春期の心の変化について学べて良かったです。（学校教育課）
---------------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆コロナ禍の中で昨年に引き続き、実施できなかった事業もありましたが、限られた実施の中で、乳幼児と保護者に対して健康教育を行い、「生命と性」の大切さを啓発しました。（健康支援課） ◆受講者は、成長段階における身体や心の発達と男女の性の違いを助産師から学び、「いのちと性」への理解を深めた。グループでの会話では、共感出来ることが多く話をした時も共感出来る事が多く気持ちが楽になり、また自分の子育てを肯定してもらうことにより、子育てに自信を持つきっかけづくりとなった。（公民館） ◆赤ちゃん人形を借用した施設では、大きくなったことの喜びや周りのたくさんの人たちから愛されて大きくなったことを感じられるよい機会となった。（こども保育課） ◆保健の授業等を通して、児童生徒の心身の発達段階に応じた指導を実施することができた。（指導課） ◆助産師による健康教育を行った学校では、専門的な立場から、いのち・体について話をしてもらうことにより、より児童生徒の心に残る指導ができました。（学校教育課） ◆昨年度よりも多くの学校で、助産師を招いて健康教育を行うことができました。（学校教育課）	◆今後もあらゆる機会を利用し、繰り返し「いのち・性」に関する情報提供を行っていく必要があります。（健康支援課） ◆子育てに悩んだり、困っている保護者が多く、「いのちと性」の健康教育は大切な内容なので、母親だけでなく父親にも聞いてもらいたい。たくさんの人に参加してもらえるような場作りが課題である。（公民館） ◆命あるものを大切にする気持ちや友達との関わり方など一人一人が意識できるように工夫をしていく。（こども保育課） ◆発達段階に応じた生命・性に関わる指導をさらに充実させていく必要がある。（指導課） ◆新型コロナウイルス感染拡大のため、計画を縮小したり、延期したりした学校がありました。（学校教育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度事業目標	◆引き続き、継続的な機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、「生命と性」への理解の向上に努めます。（健康支援課） ◆引き続き、育児講座、2歳児親子サロン、PTA家庭教育学級に加え、幼児家庭教育学級でも、各家庭で実践できるよう「いのちの大切さ」を伝えるプログラムを取り入れる。（公民館） ◆自己肯定感を高められるような教育保育の実施と、命あるものとの触れ合いや世話を通して命について考えられるような実体験の場を設けていきます。（こども保育課） ◆発達段階に合わせた性教育の実施について周知徹底を図るとともに、今後も小中学校の連携を図り、発達段階に応じた更なる教育充実を努める。（指導課） ◆学習指導要領に示された性に関する指導の内容を、各校の計画で実施するように促します。（学校教育課）
-----------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 施設環境の充実		
事業名	2 2 小中学校施設の整備	令和4年度 事業費決算額	事業名：大久保小学校校舎改築事業、 大久保東小学校校舎改築事業、 小学校長寿命化改修事業、 小学校大規模改造事業、 第二中学校校舎改築事業、 中学校長寿命化改修事業 決算額：1,225,017,865円
事業の概要	◆学校施設再生計画に基づき、学校施設の大規模改修、長寿命化、改築等を行い、安全で潤いのある教育環境の整備を行います。		
令和4年度 事業目標	●第2次学校施設再生計画に基づき、学校施設の建替え、長寿命化改修、大規模改修等を実施します。（教育総務課） ◆【小学校】 ・大久保小学校の全面改築（建替え）工事の実施及び谷津南小学校、実籾小学校の大規模改修工事を実施します。 ・向山小学校の長寿命化改修工事の実施及び、屋敷小学校の長寿命化改修に係る設計を進めます。 ・大久保東小学校の基本計画の策定業務を実施します。 ◆【中学校】 ・第二中学校校舎改築工事を実施します。 ・第一中学校の長寿命化改修に係る設計を進めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	●第2次学校施設再生計画に基づき、学校施設の建替え、長寿命化改修、大規模改修等を実施しました。（教育総務課） ◆【小学校】 ・大久保小学校の改築工事、向山小学校の長寿命化改修工事、谷津南小学校及び実籾小学校の大規模改修工事を実施しました。 ・大久保東小学校の改築に係る基本計画の策定、屋敷小学校の長寿命化改修に係る設計を実施しました。 ◆【中学校】 ・第二中学校の校舎改築工事を実施しました。 ・第一中学校の長寿命化改修に係る設計を実施しました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆老朽化した校舎の建て替え工事を進めてもらっています。（大久保小学校） ◆教育総務課・施設再生課の担当者や工事関係者から詳細な計画について説明をいただいたことで、教室配置等の見直しをもつことができた。また、細かな調整や学校の要望にも迅速に対応していただき、感謝している。（谷津南小学校） ◆新館の床、階段、体育館床、トイレ、校舎の外壁がきれいになり感謝しております。特にトイレについては衛生面で重要な箇所ですので今後も定期的に修繕があるとありがたいです。（実籾小学校） ◆老朽化した校舎の建て替え工事を進めてもらっています。（第二中学校）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆廊下や教室の照明がLED化され、校舎内が明るくなることで安全性が増した。窓のサッシや換気扇も新しくなり、空気の流れを調節しやすくなった。トイレも新しくなり、臭いも無くなった。（谷津南小学校） ◆体育館の床が新しくぬり直され、安全面が向上した。体育館トイレは社会体育の団体も使用するため新しくなったのは生涯スポーツの観点からも有益であると考え。（実籾小学校）	◆大型トラック等が敷地内を往来することにより路面に凹凸ができてい部分がある。（谷津南小学校） ◆図書室のエアコン設置に伴う工事中、天井がはがされた状態のときに雨漏りがひどく、職員で本を移動することがあった。（実籾小学校）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	●第2次学校施設再生計画に基づき、学校施設の建替え、長寿命化改修、大規模改修等を実施します。 ◆【小学校】 ・大久保小学校の改築工事、向山小学校及び屋敷小学校の長寿命化改修工事、谷津南小学校の大規模改修工事を実施します。 ・大久保東小学校の改築に係る設計、鷺沼小学校の改築に係る基本計画、袖ヶ浦東小学校の大規模改修に係る設計を実施します。 ◆【中学校】 ・第二中学校校舎改築工事、第一中学校の長寿命化改修工事を実施します。
------------------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	こども政策課
施策内容	1 施設環境の充実		
事業名	2 3 教育・保育施設補修整備の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：保育所施設管理事業 決算額：23,475,670円 事業名：こども園施設管理事業 決算額：25,304,359円 事業名：幼稚園施設管理事業 決算額：13,785,341円
事業の概要	◆安全で安心な教育・保育環境を保持するため、教育・保育施設の施設整備、改修を計画的に推進します。		
令和4年度 事業目標	◆必要な維持・補修工事を実施していくことで、安全で安心して過ごせる保育環境の整備に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆秋津保育所の遊戯室等のLED化改修工事を実施しました。 ◆東習志野こども園での空調改修において、工事業者が決定し着工しました。 ◆教育・保育施設の老朽箇所の修繕、改修工事を実施しました。		
評価指標	◆空調設備改修施設数	令和4年度数値	◆1施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆現地調査や保育所等職員からの報告に基づき、計画的に工事・修繕を実施することで、安全で安心な保育環境を保持することができました。	◆引き続き、計画的に維持・補修工事を実施する必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆必要な維持・補修工事を実施していくことで、安全で安心して過ごせる保育環境の整備に努めます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	都市政策課・街路建設課・各施設所管課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	24 駅、公共施設、道路などのバリアフリー化	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆駅や公共施設における手すりやエレベーターの設置などの整備・改善について関係機関の協力を得ながら促進します。 ◆歩道の段差改善などのバリアフリー化を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆事業者には、新習志野駅ラッチ外にある点字ブロックの未整備区間について整備を要望してまいります。（都市政策課） ◆バリアフリー対策事業として、市道00-109号線の視覚障がい者誘導用ブロック設置、JR新習志野駅周辺から市道00-006号線のバリアフリー対策工事を実施します。（街路建設課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆鉄道事業者には、新習志野駅北側改札外の点字ブロック未整備区間について、国道357号線歩道の点字ブロックと連続して整備していただくよう要望しました。（都市政策課） ◆バリアフリー対策事業として、市道00-109号線の視覚障がい者誘導用ブロック設置、JR新習志野駅周辺から市道00-006号線の視覚障がい者誘導用ブロック設置と歩道の段差改善を実施しました。（街路建設課）		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆未整備のままのため、成果は特にありません。（都市政策課） ◆歩道の段差解消、視覚障がい者誘導用ブロックを設置したことで、バリアフリー化が図れた。（街路建設課）	◆新習志野駅北側改札外の点字ブロックが、一部整備されていません。（都市政策課） ◆特にありません。（街路建設課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆鉄道事業者には、新習志野駅北側改札外の点字ブロック未整備区間について、国道357号線歩道の点字ブロックと連続して整備していただくよう要望してまいります。（都市政策課） ◆バリアフリー対策事業として、市道00-121号線他の視覚障がい者誘導用ブロック設置工事を実施する。（街路建設課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	学校教育課・こども保育課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	25 学校安全の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆①総合的な学校安全計画作成・整備、②学年や年齢にあわせた交通安全教室の充実・指導の徹底、③安全点検の充実・事後処理の徹底、④学校安全関係者の質的向上、⑤学校・行政・地域が連携した通園・通学路の点検・改善整備を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆通学路安全対策協議会の充実のため、令和3年度の課題を改善していけるよう事業を推進していきます。（学校教育課） ◆年齢や発達に応じた交通安全指導を計画的に実施します。また、コロナ禍においても工夫をし交通安全に対する親子の意識向上に努めます。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆通学路安全対策協議会では、令和3年度の課題を改善するため、学校のPTAを中心に地域の課題に焦点を当てて協議を実施しました。小・中学校の安全計画については、毎年見直し、更新を実施しています。（学校教育課） ◆感染症対策を講じながら、警察署と連携し交通安全教室を実施しました。また、年齢に応じて交通安全指導を行ったり、掲示や手紙等により家庭へ交通安全指導を計画的に行いました。（こども保育課）		
評価指標	◆小・中学校の安全計画作成割合 ◆幼稚園・保育所・こども園での交通安全指導計画作成割合	令和4年度数値	◆100%（学校教育課） ◆100%（幼・保・こ）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆通学路安全対策協議会に加えて、小学校では、学年に応じた交通安全指導を行いました。安全点検を確実に行う必要性を感じました。（学校教育課） ◆安全な道の歩き方や横断歩道の渡り方など、発達に応じた指導を行っていることで身についてきています。（こども保育課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆通学路安全対策協議会に加えて、八街市での事故を受け、点検を実施したとともに、学年に応じた交通安全指導を行うことで安全意識を高めることができました。（学校教育課） ◆様々な視点で安全点検を実施することができました。（学校教育課） ◆警察署員の話の聞いたり、実際に横断歩道の渡り方を体験したりすることで、安全な行動のとり方や大切さについて、意識が高まりました。（こども保育課）	◆安全点検を毎年実施し、道路の幅員や形状から対策できない内容もでてきます。今後も更に習志野警察署、市長事務部局と連携を図り、対策を実施する必要があります。（学校教育課） ◆施設外での実地指導が十分に行えず、実際の場で子どもたち自身が交通安全を意識することが難しい状況でした。また、保護者への指導では、自動車や自転車の乗り降り時の安全について意識を高めていく必要があります。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆通学路安全対策協議会の充実のため、令和4年度の課題を改善していけるよう事業を推進していきます。（学校教育課） ◆年齢や発達に応じた交通安全指導を計画的に実施します。また、交通安全に対する親子の意識向上に努めます。（こども保育課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	26 子育て応援ステーション事業の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：子育て支援課事務費 決算額：0円
事業の概要	◆授乳やおむつ交換ができる場など、事業所の協力を得て、乳幼児を連れて安心して外出できる環境を整えます。		
令和4年度 事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供いただける子育て応援ステーションの協力店舗を増やすための周知を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆授乳やおむつ交換の場を提供いただける子育て応援ステーションの協力店舗、及び、イベントや災害時に授乳やおむつ替えを行うためのテント等の貸出について、広報やホームページ等に掲載し、市民への周知を図りました。		
評価指標	◆協力店舗数	令和4年度数値	◆20店舗

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆授乳やおむつ替えの環境を整備することで、特に乳幼児を持つ子育て家庭が安心して外出及び災害時においても授乳ができるようになり、子育てに対する安心感につながりました。	◆授乳やおむつ交換の場を提供していただける子育て応援ステーションの協力店舗を増やしていく必要があります。 ◆引き続き子育て応援ステーションの協力店舗の周知を図る必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供いただける子育て応援ステーションの協力店舗を増やすための周知を図ります。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	公園緑地課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	27 公園施設の整備	令和4年度 事業費決算額	事業名：公園維持管理事業 決算額：44,510,950円
事業の概要	◆公園施設は、子どもの視点に立った整備に配慮します。		
令和4年度 事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の補修を実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆職員による日常パトロールを実施し、破損箇所を発見次第、補修等を実施しました。地域住民参加型の公園維持管理を実施している公園では、住民の情報に基づいて遊具の補修等を実施しました。また、習志野市公園施設（遊具）長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具を更新しました。		
評価指標	◆点検結果に応じた危険な遊具の修繕・撤去数	令和4年度数値	◆補修：17件 ◆撤去：3件 ◆設置4件 ◆更新4件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆日常的なパトロールの実施、地域住民の情報提供により、危険箇所の早期発見及び早期補修につながり、遊具による事故を未然に防ぐことができました。	◆遊具の老朽化が進んでいるため、日常的な点検等を実施していても、急な破損等が発生しています。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き職員による遊具の安全点検及び地域住民参加型の公園維持管理を実施し、危険箇所を発見し次第、遊具の補修を実施します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	公園緑地課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	28 地域住民参加型の公園維持管理	令和4年度 事業費決算額	事業名：公園維持管理事業 決算額：9,508,600円
事業の概要	◆一部の公園で、地域住民の協力を得ながら掃除、軽微な遊具点検などの維持管理を推進します。		
令和4年度 事業目標	◆地域住民と協働したまちづくりを目指し、地域における公園の清掃等、維持管理を推進します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆地元町会等による公園内の清掃、除草、施設点検等を実施しました。		
評価指標	◆街区公園に対する市民管理団体の割合	令和4年度数値	◆38%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆地域住民が公園の管理に参加することで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な公園の維持管理が可能になります。	◆清掃等を実施する町会・老人会・子供会等において、高齢化・少子化に伴い参加者が減少する傾向にあり、活動の維持が課題です。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆地域住民と協働したまちづくりを目指し、地域における公園の清掃等、維持管理を推進します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	警防課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	29 応急手当普及啓発活動の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：応急手当普及啓発推進事業 決算額：6,941,782円
事業の概要	◆救急救命率の向上を図るため、市民への普通救命講習および小学生高学年を対象とした救命入門コースを実施します。		
令和4年度 事業目標	◆感染対策を踏まえた各種救命講習を実施します。 ◆市民指導員・普及員の再教育を実施します。 ◆市内全小・中学校、高等学校及び大学にて救命講習を実施します。 ◆千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例に基づき、学校現場におけるAED使用等の知識及び技能等取得のため、教職員に対する救命講習を実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆感染症対策を踏まえた各種救命講習を実施しました。 ◆市民指導員・普及員の再教育を実施しました。 ◆市内中学校（1校）にて救命講習を実施しました。 ◆学校現場職員に対する救急講習を実施しました。		
評価指標	◆救命講習受講人数	令和4年度数値	◆1,061名 (普通救命講習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及び上級を含む)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆感染対策をしながら、実施しており安心。 ◆少人数で分かりやすかったです。 ◆出前講座を実施してもらいたいです。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆感染状況をみながら、講習を実施することが出来ました。 ◆少人数で実施した結果、受講者へ手厚い指導が出来ました。 ◆指導員・普及員の再講習を実施し、指導力を強化しました。	◆小・中・高の講習は、コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。しかし、感染症対策を実施した大規模講習のモデルとして、第一中学校で講習を実施しました。 ◆普及員の人数が減少していることから、新たに育成する必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆普及員講習を実施し、育成します。 ◆指導員・普及員の再講習を実施します。 ◆普及員講習及び救急講習の普及啓発を実施します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	都市政策課・障がい福祉課 ひまわり発達相談センター
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	30 公共交通施策の推進による外出利便性の向上	令和4年度 事業費決算額	事業名：公共交通政策事業 決算額：90,707,411円 事業名：地域生活支援事業 決算額：154,000円
事業の概要	◆身近な交通手段となる公共交通については、地域の特性に適した移動手段の確保に努め、安全に外出できる環境を整えつつ、公共交通事業者と連携し、外出利便性の向上を図ります。 ◆ヘルプマークや障がいのある人に関する標識の周知・啓発を行います。		
令和4年度 事業目標	◆コミュニティバスの運行継続を最優先とし、利用の促進に努めるとともに、バス事業者と運賃収入等の増加に取組み、将来的な補助金の低減を目指します。（都市政策課） ◆バス事業者と連携し、路線バス網の維持拡充に努めます。（都市政策課） ◆ヘルプマークやヘルプカードの普及や、認知率を上げるため、引き続き市ホームページや広報習志野等を活用し周知を行っていく。（障がい福祉課） ◆引き続きポスターなどを使った啓発活動を行い、より多くの人へ、発達に支援が必要な子どもへの理解を広めていきます。（ひまわり発達相談センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆コミュニティバスの運行事業者に対して、運行経費の一部を補助する補助金と、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少と原油価格高騰に対応するための支援金を交付しました。また、利用実態に合わせた運行のため、コミュニティバス（ハッピーバス）の運行ダイヤを、令和4年度末から一部変更することを目的に、地域公共交通会議開催などの事前準備を行いました。（都市政策課） ◆路線バス及びタクシーの運行事業者に対して、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少と原油価格高騰に対応し、運行継続するための支援金を交付しました。（都市政策課） ◆市ホームページや広報習志野への掲載、ポスター掲示により周知を行いました。（障がい福祉課） ◆障がい者マークを記載したクリアファイルを作成し、市内公立中学校1年生へ配布するとともに、啓発資料を全学年（全生徒）へ配布し、周知を図りました。（障がい福祉課） ◆横浜市港南区自立支援協議会が作成した障がい理解啓発ポスターを、二次使用の許可を得た上で、広報習志野への掲載（5回）や、コミュニティバス・習志野市広報掲示板・社会福祉協議会掲示板・市立施設・市内駅などへ掲示しました。（1～2月以降は、市民参加型補助金「かだい提案型」で採択された市民団体「きらっといっぽの会」が作成したポスターへ移行）（ひまわり発達相談センター）		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆ヘルプマークが欲しい。（障がい福祉課） ◆掲示されたポスターを見た人から、「このようなポスターはありがたい。広まることで、今より過ごしやすくなると思う」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆補助金及び支援金の交付等により、コミュニティバス及び路線バスの運行が継続できています。（都市政策課） ◆ヘルプマーク希望者が増えており、認知度が上がってきているように感じています。（障がい福祉課） ◆啓発等を行うことにより、障がい者に対する意識の向上に寄与しました。（障がい福祉課） ◆ポスターを昨年度に引き続き掲示することでより多くの人々の目につき、障がい理解の啓発につながりました。（ひまわり発達相談センター）	◆新型コロナウイルスの影響により、コミュニティバスの年間利用者数が減少し、アフターコロナにおいても生活様式の変化により、利用者数が十分に回復しない状況です。 そのため、将来的に運行事業者に対する補助金の低減を目指していましたが、当面は運行の維持と継続が課題となっております。 今後は、利用者数の回復に向けた対策と、利用実態に合わせた運行について検討していく必要があります。（都市政策課） ◆発達に支援が必要な子どもへの理解について、より多くの人に継続して啓発することが必要だと考えています。（ひまわり発達相談センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆コミュニティバスの運行の維持と継続を最優先とし、運行事業者と共に利用者数の回復に努めます。（都市政策課） ◆路線バス及びタクシー運行事業者を支援し、地域公共交通の維持に努めます。（都市政策課） ◆ヘルプマークや障がいのある人に関する標識の認知率を上げるため、引き続き市ホームページや広報習志野等を活用し周知を行っていく。（障がい福祉課） ◆広報習志野に「子どもと家族をあたかく見守るための応援メッセージ」の掲載等を行い、より多くの人へ、発達に支援が必要な子どもへの理解啓発に努めていきます。（ひまわり発達相談センター）
------------------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課・学校教育課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	3 1 防災力の向上	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆災害から子どもたちを守るため、子どもや保護者を対象とした防災教育（まちづくり出前講座など）や、防災訓練などを実施し、地域で共にかかわり共に支え合えるつながりを築きながら防災力の向上を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、親子に対する防災講和及び防災教育、また教職員に対する防災研修を実施し、「自助」「共助」「公助」のさらなる強化に努めます。また、必要に応じて地域防災計画及び各災害マニュアルを見直し、安全・安心に暮らすための防災力強化に努めます。（危機管理課） ◆防災教育の充実を図るために、危機管理課、防犯安全課と連携し、推進していきます。（学校教育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆市内の小中学校に対し、延べ7回の防災教育を実施。（危機管理課） ◆防災教育の充実を図るために危機管理課と連携し、防災力の向上を推進しました。（学校教育課）		
評価指標	◆小中学校の防災教育実施率	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆防災教育について教科と連携させた教育がされるようになってきています。（学校教育課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆講和では、こちらからの一方的な説明ではなく、学生が自ら考え、話し合えるような内容にしているため、積極的に学んでいただくことができました。また、防災倉庫の見学も行い、災害時の備えについても確認することができました。（危機管理課） ◆防災教育の活用事例や連絡先一覧については文書で依頼しています。各学校では、安全マップ作り、防災に備えるための方法等を学習することができています。学校によっては、総合的な学習の時間等で年間通して取り組み、意識を高めています。（学校教育課）	◆災害時は、「自助」・「共助」を中心に助け合うこと、また避難所に行くことが避難でなく、在宅避難を優先するなど、避難の考え方について周知していく必要があると考えます。（危機管理課） ◆実際の体験を伴う学習を各学校に広めることができませんでした。（学校教育課） ◆今後も危機管理課、防犯安全課、地域と連携する必要があります。（学校教育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、防災教育等を通じて、「自助」・「共助」の更なる強化に努めます。また、必要に応じて地域防災計画及び各災害マニュアルを見直し、防災力強化に努めます。（危機管理課） ◆防災教育の充実を図るために、危機管理課、防犯安全課と連携し、推進していきます。（学校教育課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	3 2 自主防災組織の拡充および強化	令和4年度 事業費決算額	事業名：自主防災組織事業 決算額：7,475,361円
事業の概要	◆地域における防災活動の中心となる、自主防災組織の拡充と強化を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、自主防災組織の結成を促す啓発活動を実施するほか、自主防災組織リーダー研修会等を通じて、防災力を強化するための支援をまいります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆自主防災組織の防災力強化のため、リーダー研修会を年3回開催しました。 ◆各自主防災組織の活動に対する助成金を、申請に基づき交付しました。		
評価指標	◆自主防災組織数	令和4年度数値	◆226組織

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆自主防災組織リーダー研修会につきましては、3年ぶりに対面方式にて開催。今年度、1組織の新規結成があった。	◆新型コロナウイルス感染症の影響により、自主防災組織の活動が少なくなっていた。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後、自主防災組織の活動が再開されることが予想されるため、更なる支援が必要となる。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、自主防災組織の結成を促す啓発活動を実施するほか、自主防災組織リーダー研修会等を通じて、防災力を強化するための支援をまいります。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	青少年センター
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	3 3 子ども110番の家の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：青少年センター運営費 決算額：452,961円
事業の概要	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡充を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆市内小中学校や協力団体に対し、「子ども110番の家マップ」を配布して、加入者の少ない地域に拡充します。学校では、緊急回避の方法について児童・生徒への周知を図れるよう啓発を継続します。 ◆「子ども110番の家」加入者には、礼状を送付するとともに実態調査（継続の意向、駆け込み等の実情、研修会参加希望のアンケート）を実施し、集計したものを各学校へ配付します。 ◆「子ども110番の家」加入数拡充のため、市民や学校に通う保護者が多く集まる集会等で加入協力に向けた制度のPR及び登録会を継続して実施します。 ◆「子ども110番の家」加入者に対し、緊急避難時の対応について警察署から講師を招聘して加入者研修会を計画します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆プレートの老朽化対策として、積極的な交換・配布に取り組みました。 ◆「子ども110番の家」の制度加入について、市立各小・中学校へ協力依頼や協力者名簿を送付しました。 ◆「子ども110番の家」加入者には、令状を送付するとともに実態調査（継続の意向、駆け込み等の実情、研修会参加希望のアンケート）を実施しました。集計したものは各学校に配付しました。 ◆例年実施している「小学校入学説明会」での制度PRや出張登録会だけでなく、「1000か所ミニ集会」「連合町会協議会定期総会」等においても、制度加入の依頼を行いました。		
評価指標	◆「子ども110番の家」加入軒数	令和4年度数値	◆958軒

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆もしものときのために協力している。 ◆「子ども110番の家」のプレートが我が家の見守りにもなっている。 ◆プレートを掲げることが役立っているのであれば今後も協力したい。 ◆子どもたちは、「子ども110番の家」について知っているのか。 ◆駆け込みはなかった。安全な状態が続いてほしい。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆児童生徒の駆け込み事案は76件でした。トイレを借りる53件が一番多かった事案でした。緊急回避の駆け込み事案は2件でした。内訳は、体を触られる等の不審者からの変質行為の回避でした。 ◆プレートの設置によって、不審者からの緊急回避や犯罪の抑止力となっています。	◆令和4年度末現在で、加入者数は958軒と前年度比12軒増加していますが、協力者の高齢化等に退会も22軒あったことから、引き続き同様の見守り事業を行っている団体との連携や、新規加入者の協力要請を粘り強く継続していく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆市立小中学校や協力団体に対し、「子ども110番の家」拡充について周知します。 ◆児童生徒に、緊急回避の方法や「子ども110番の家」について啓発するように学校に働きかけをします。 ◆「子ども110番の家」加入者には、令状を送付するとともに実態調査（駆け込み等の実情、研修会参加希望のアンケート）を実施し、集計したものを各学校へ配付します。 ◆「子ども110番の家」加入者に対し、緊急避難時の対応について警察署から講師を招聘した加入者研修会を計画します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	青少年センター・学校教育課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	3 4 学校・警察連絡制度の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：青少年相談指導事業 決算額：0円
事業の概要	◆学校と警察が相互に連絡し、情報の共有化を図りながら、児童・生徒の非行防止や安全確保を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆夏休み（長期休暇）前に、児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害防止のため、学校・警察連絡協議会を開催し、学校と警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図り、児童生徒の事故等の未然防止や安心・安全を確保します。（青少年センター） ◆防犯面の対策について、地域防災無線での呼びかけ、通学路安全対策協議会において防犯対策の更なる対策を実施します。（学校教育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆市内小・中・高等学校・県立学校長と習志野警察署長・生活安全課長・交通課長の参加による学校・警察連絡協議会を開催し、情報共有と協議、研修を行いました。（青少年センター） ◆学校から報告のあった不審者情報について習志野警察署生活安全課に連絡したほか、警察からの不審者や青少年に係る情報を青少年センターで共有し活動しました。（青少年センター） ◆通学路安全対策協議会の充実のため、令和3年度の課題を改善していけるよう事業を推進しました。（学校教育課）		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆青少年の健全育成には、学校、警察、行政が日頃から連携を密にすることが大切であり、事故等の未然防止や児童生徒の安心・安全確保のため、相互が迅速かつ慎重に情報共有していく必要がある。（青少年センター） ◆通学路安全対策協議会では、安全点検、防犯面の対策を実施しました。（学校教育課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆学校・警察連絡協議会を開催し、市内小・中・高等学校・県立学校と警察による青少年に係る問題や環境について情報を共有することができました。（青少年センター） ◆「学校における生徒指導・通学路・不審者等の状況」について各学校からの報告だけでなく、習志野警察署生活安全課長や交通課長の助言により具体的な対策や状況について、情報共有することができました。（青少年センター） ◆不審者情報について学校・警察が情報共有し、状況に応じて対応することができました。（青少年センター） ◆交通事故の現状を把握することができ、その対策についての研鑽を高めることができました。（青少年センター） ◆通学路安全対策協議会を通じ、安全点検を実施することができました。新たに対策をとることができ、登下校の対策が実施されました。（学校教育課）	◆青少年の健全育成や問題行動等に係る連携を図るために、令和4年度は、夏季休業前に開催しました。各所の連携を図る上で、早い時期での開催が望ましいです。（青少年センター） ◆各学校長に出席いただき、学校と警察とが連携を密にし、共通の方向性をもてるように継続して実施していく必要があります。（青少年センター） ◆安全点検を毎年実施し、道路の幅員や形状から対策できない内容もできています。今後も更に習志野警察署、市長事務部局と連携を図り対策を実施する必要があります。（学校教育課） ◆こども110番の家の周知のしかたも考えていく必要があります。（学校教育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆夏季休業前に、児童生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害防止のため、学校・警察連絡協議会を開催し、学校と警察が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図り、児童生徒の事故防止や安心・安全を確保します。（青少年センター） ◆防犯面の対策について、地域防災無線での呼びかけ、通学路安全対策協議会において防犯対策の更なる対策を実施します。（学校教育課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	3 5 ケータイ緊急情報サービスの拡大	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆防災情報のほか、火災などの消防情報、緊急時の注意を呼びかける防犯対策情報などを、市民にとっての重要情報としてメールでお知らせするとともに、登録者数の拡大を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、ホームページや広報紙、各事業でPRを行い、防災意識の啓発や登録者数の増加を図りながら、適切な情報発信に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆ホームページや広報紙、防災講座等で緊急情報サービス「ならしの」についてPRを行い、登録者数の増加を図りました。また、災害時にはLINEの活用を検討し、配信をしています。		
評価指標	◆ケータイ緊急情報サービス登録者数	令和4年度数値	◆12,937人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆登録者数は、前年より減少しているが、LINEの活用等により、これまで以上に多くの方に効果の高い情報発信をすることができました。 【登録者数】 令和4年4月末時点 13,136人 →令和5年5月末時点 12,937人（対前年比199人減）	◆より多くの市民に情報を発信できるよう、引き続きPR活動を行い、登録者数の増加及びより効果の高い情報発信に努めます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、ホームページや広報紙、各事業でのPRを行い、防災意識の啓発や登録者数の増加を図りながら、より効果の高い情報発信に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	防犯安全課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	36 安全で安心なまちづくり基本計画などに基づく施策の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：犯罪のない安全で安心なまちづくり事業 自主防犯活動団体支援事業 決算額：3,214,159円 121,675円
事業の概要	◆「基本計画」および「実施計画」に基づき、防犯啓発活動、庁内関係機関および地域などとの連携・ネットワークの整備、防犯パトロールの強化、子どもたちの通学時などにおける安全確保、地域防犯活動への支援などの施策に積極的に取り組みます。		
令和4年度 事業目標	◆警察や市民と連携し、防犯パトロールや該当啓発活動の充実・拡充により防犯対策強化を図り、犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策を協議し、効果的な広報、啓発活動を模索し、市民の防犯意識の向上を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆警察、市民等との連携による防犯パトロールや該当啓発活動等の実施 ◆防犯パトロールカーを活用した合同防犯パトロール、管理職による特別防犯パトロールの実施 ◆自主防犯活動団体への腕章、ベスト、のぼり旗、帽子などの防犯物品貸与を実施 ◆自主防犯活動団体のパトロールへの動向支援の実施 ◆町会・自治会への防犯カメラ設置費補助の実施		
評価指標	◆犯罪発生件数	令和4年度数値	◆955件（令和4年）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆評価指標でもある犯罪発生件数が年々減少している。 ◆警察や職員だけでなく、地域住民が自主防犯活動団体を結成し、自主的にパトロール等を実施するなど市民の防犯意識が向上している。	◆防犯に関する広報啓発活動等について、より効果的な広報活動を模索し、さらなる犯罪抑止、防犯意識の向上を図る必要がある。 ◆市民による自主的な防犯活動について、地域によって関心度に格差があることから、市域全体の意識向上が必要である。 ◆犯罪発生件数は減少しているものの、高齢者を狙った詐欺犯罪は増加していることから、警察と連携を図り、犯罪減少に努める必要がある。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆警察や市民と連携し、防犯パトロールや該当啓発活動の充実・拡充により防犯対策強化を図り、犯罪抑止に努める。 ◆幅広い市域の市民が集まる防犯研修会で、防犯に関心を持ってもらい、市域全体の防犯意識の向上に努める。 ◆警察との連携を密にし、増加している電話de詐欺等についての効果的な広報や、啓発活動を展開し、市民の防犯意識の向上を図る。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	37 健康的な食習慣の確立と食育の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」などを通じて、望ましい食生活習慣の確立と食育の推進に向けて、妊娠中から乳幼児期まで一貫した取り組みを関係機関と連携しながら行います。		
令和4年度 事業目標	◆食事の適正バランスや薄味の定着化に向けて、対象者のニーズやレベルに合わせた具体的な情報提供をしていきます。 ◆市民が生活の中で、情報を見聞きする機会が増えるような情報発信の方法を検討していきます。 ◆大人の食事を整えることが子どもの食事バランス改善に繋がることを、引き続き講義・掲示・HP等で伝えていきます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆健康相談では、リーフレット等を活用し対象者の状況に合わせた情報提供をおこないました。 ◆市ホームページにおいて妊娠期、乳幼児期、学童期等の各年代毎の食に関する情報を掲載するとともに、6月、9月には広報習志野に食事の大切さについて情報発信しました。 ◆昨年度に引き続き、各事業の場において、講義や媒体を通して大人の食事バランスを整えることが子どもの望ましい食習慣につながることを伝えました。 ◆ホームページの離乳食に関する情報活用を周知するためのポスターを作成し、保健事業や各こどもセンターにて周知を行いました。		
評価指標	◆健康相談・健康教育の実施回数	令和4年度数値	◆192回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆教室の参加者からは「バランスよく食べることの大切さがわかった」、「すべて手作りでなくてもバランスを整えることができることが分かった」等の感想がありました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆各教室や相談の利用者については、望ましい食習慣の確立にむけた情報提供ができたと思います。 ◆ホームページの離乳食に関する情報活用を周知するためのポスターを各こどもセンターにて掲示してもらうことで、保護者が正しい情報にアクセスしやすくなったと思います。	◆各保健事業でかかわることができる人数は限られているため、ホームページ等での情報をさらに充実させ、より多くの市民に食に関心を持ってもらえるよう周知を図る必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆食事の適正バランスや薄味の定着化に向けて、対象者のニーズやレベルに合わせた具体的な情報提供をしていきます。 ◆大人の食事を整えることが子どもの食事バランス改善に繋がることを、引き続き講義・掲示・HP等で伝えていきます。 ◆食育月間（6月）に食育関係各課と協働して展示を行い、食育に関する情報発信をおこないます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・子育て支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	38 男女共同参画の子育て意識啓発	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」で、両親の役割を考えるきっかけづくりをします。 ◆妊娠、出産、子育てのための情報を盛り込んだパンフレットの配布など、両親が育児を担えるような支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆感染予防に留意した内容・方法で「ママ・パパになるための学級」を実施し、父母が共同して子育てをしていく意識を高められるよう内容の充実に努めます。（健康支援課） ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。（子育て支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆「ママ・パパになるための学級」を2課は講義、3課をオンラインで実施しました。感染対策に留意しながら、赤ちゃん人形抱っこ体験、おむつ交換など再開し、イメージづくりに努めました。（健康支援課） ◆子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を子育て支援課窓口にて、お子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布しました。（子育て支援課） ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実に努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。（子育て支援課） ◆こどもセンターについては土曜日、きらっ子ルームやつでは土曜日、日曜日にも開所し、平日に利用できない父親や共働き家庭等の利用増加に努めました。（子育て支援課）		
評価指標	◆ママ・パパになるための学級の妊婦・夫・パートナー受講率	令和4年度数値	◆妊婦 29.4% パートナー 23.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆アンケートから「産後のイメージがついた」「家事のスキルを上げ、妻のサポートにあたりたい」などの感想がありました。（健康支援課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆妊娠中から産後の生活についてイメージし、必要な準備を進める動機付けとなりました。（健康支援課） ◆パートナーの参加率も高く、夫婦で産後の役割を考えられました。（健康支援課） ◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、施設の利用促進、及び市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。（子育て支援課）	◆妊婦同士の交流、仲間づくりについては課題であり、検討していく必要があります。（健康支援課） ◆個別のオンライン相談も含め、妊娠期の支援をより強化できるようにしていきます。（健康支援課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆妊婦体験を再開し、内容の充実を図ります。（健康支援課） ◆妊娠8か月頃のアンケートが始まるため、妊娠期の支援をより充実させます。（健康支援課） ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。（子育て支援課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	39 健やかな子を産み育てる体制の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆令和5年度より、出産・子育て応援事業として、妊産婦への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援体制を強化します。 ◆健やかな子を産み育てるための思春期保健を含めた親と子の健康づくりを推進します。		
令和4年度 事業目標	◆母子保健施策と子育て支援施策の一体的な提供により、切れ目ない支援を提供する体制の充実を図り、妊産婦及び乳幼児の健康づくりに努めます。 ◆社会情勢の変化等により多様化する対象者の課題に応じた支援が行えるよう、他機関との連携に努めてまいります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆妊娠届出から切れ目ない支援を実施し、妊産婦及び乳児の健康づくりに努めました。		
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	令和4年度数値	◆89.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	「相談先がわかり、地区担当保健師がいることを知って安心した」「母子保健推進員の訪問が嬉しかった」などの意見がありました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆妊娠届出時から切れ目ない母子保健サービスの提供ができました。	◆こんにちはあかちゃん事業の家庭訪問実施率が微減しているため、未訪問理由を精査していきます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続きすべての対象者に支援ができるように妊娠届出時からの切れ目ない支援を実施します。 ◆出産・子育て応援事業による妊娠8か月頃のアンケートを実施し、妊娠期からの支援を強化します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・子育て支援課 あじさい療育支援センター ひまわり発達相談センター・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	40 発育・発達に課題がある児の早期発見・早期支援	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆発育・発達などの課題を早期に発見し適切な支援機関につなげます。 ◆保護者の気持ちを受け止め、不安解消につながる相談支援体制の充実を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、発育・発達などの課題を早期に発見し必要な支援を行うとともに、適切な支援機関につなげます。（健康支援課） ◆コロナ禍においても、適切な時期に対象者の状況や課題の把握が行えるよう、支援方法や事業の実施方法等を検討していきます。（健康支援課） ◆関係機関と連携を図りながら、保護者のニーズに応じた発達支援を行う。（あじさい療育支援センター） ◆保護者に乳幼児個別支援計画についてわかりやすく説明をし、作成につなげていく。（あじさい療育支援センター） ◆保護者のニーズを把握し、適宜福祉サービス等の情報提供を行いながら相談支援を行う。（あじさい療育支援センター） ◆引き続き、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつで身体計測や保健師による健康相談を実施します。（子育て支援課） ◆引き続き、保護者の不安や心配の軽減ができるように、相談支援をしていきます。（ひまわり発達相談センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆4か月児健康相談及び1歳6か月児・3歳児健康診査は、国の方針に基づき感染対策を見直ししながら内容の充実を図り、集団にて実施しました。（健康支援課） ◆10か月児健康相談はコロナ禍で中止しましたが、支援が必要と思われる児には個別に対応しました。次年度の開催方法についてWebアンケートでの実施を決定し計画を立てました。（健康支援課） ◆妊娠期からの一貫した母子保健事業の取り組みを通じて、個別支援が必要な人の把握及び早期支援に努めています。また、特に支援を要する乳幼児について、関係機関と連携しながら継続支援を行いました。（健康支援課） ◆習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつで身体計測や保健師による健康相談を実施しました。（子育て支援課） ◆乳幼児個別支援計画作成24件、障害児支援利用計画作成130件（あじさい療育支援センター） ◆成長発達に心配のある子どもの状況について、初回相談（400人）・医師相談（22人）・その他の相談（電話など）（1,216人）・巡回相談（136人）を行いました。（ひまわり発達相談センター）		
評価指標	◆乳幼児個別支援計画作成件数	令和4年度数値	◆175件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆「コロナ禍で交流しづらかったが、（事業に）参加することで周囲の母と交流することができてよかった」「これからの見通しが持てるようになり、安心した」等の感想が聞かれました。（健康支援課） ◆連絡帳で日中の様子を知らせてくれたり、時には電話で話しをしてくれるので安心感がある。（あじさい療育支援センター） ◆「たくさん話をきいてもらうことができて、心が軽くなった」、「親身に相談に乗ってくださり心強い」等の感想がありました。（ひまわり発達相談センター）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆個別に支援が必要な方には、早期から継続した支援を行うことで、保護者が安心して子育てができるように支援することができました。（健康支援課） ◆専門職への相談や他機関との連携が必要な方には、適切なタイミングで相談や支援につなぐことでより良い支援を行うことができました。（健康支援課） ◆子育て中の保護者の育児不安の解消や子どもの健康増進に寄与しました。（子育て支援課） ◆個別の支援計画の内容や成長した姿を面談等を通じて保護者と確認することで、共通理解を図りながら支援することができた。（あじさい療育支援センター） ◆初回の電話相談で丁寧な聞き取りを実施し、保護者の不安や心配の軽減に努めました。また、未就学児の来所の希望者については、初回相談を1回実施したのち、2回目の来所時には指導担当者につながりました。（ひまわり発達相談センター）	◆集団で全数支援をする機会が減少しているため、健康相談、健康診査等での未把握者については早期に状況把握をし、個別支援が必要な人の把握に努め、支援を充実させる必要があります。（健康支援課） ◆乳幼児個別支援計画作成のメリットや活用方法について、保護者にわかりやすく説明する必要がある（県立特別支援学校への就学が見込まれる場合等）。（あじさい療育支援センター） ◆幼い子どもの成長・発達に不安を感じながらの子育ては、時として児童虐待などのリスクもあり、その不安を抱えたまま子育てをしている状況が続いています。まずはその不安を伺い、軽減していただくことが喫緊の課題と考えています。（ひまわり発達相談センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、発育・発達などの課題を早期に発見し必要な支援を行うとともに、適切な支援機関につなげます。（健康支援課） ◆適切な時期に対象者の状況や課題の把握が行えるよう、支援方法や事業の実施方法等を検討していきます。（健康支援課） ◆引き続き、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつで身体計測や保健師による健康相談を実施します。（子育て支援課） ◆関係機関と連携を図りながら、保護者のニーズに応じた発達支援を行う。（あじさい療育支援センター） ◆保護者に乳幼児個別支援計画作成のメリット等をわかりやすく説明する。（あじさい療育支援センター） ◆保護者のニーズを把握し、福祉サービス等の情報提供を行いながら相談支援を行う。（あじさい療育支援センター） ◆初回相談の待ち時間を1か月以内に収めるために、初回相談の担当職員を2名から3名に増やします。また、小中学生の相談は総合教育センター中心に行い、当センターは就学前の相談指導に注力し迅速な支援につなげます。（ひまわり発達相談センター）
------------------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 1 妊娠届から始まる切れ目ない支援	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆「妊娠届出」時に必ず保健師が妊婦やパートナーと面接し、すべての出生児の節目の時期に、地区担当保健師が妊娠・出産・養育面を把握し、妊娠中から就学時まで切れ目ない母子健康支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、妊娠届出時には必ず保健師または助産師が妊婦やパートナーと面接する他、すべての出生児の節目の時期に地区担当保健師が発育・発達面、育児状況等を確認し、必要な支援を行います。また、課題のある家族には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆妊娠届出から切れ目ない支援を実施し、妊産婦及び乳児の健康づくりに努めました。 ◆要支援者に対しては、地区担当保健師によるきめ細かいサポートができるように努めました。また、必要時、子育て支援課等と連携を図りました。		
評価指標	◆妊娠届出者のうち看護職による面接の割合	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆「相談先がわかり、地区担当保健師がいることを知って安心した」と意見がありました。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆妊娠届出時から切れ目ない母子保健サービスの提供ができました。	◆引き続き、丁寧な面接に努め、支援体制を充実させていく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆令和5年度より、出産・子育て応援事業として、妊産婦への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援体制を強化します。 ◆引き続きすべての対象者に支援ができるように妊娠届出時から切れ目ない支援を実施します。 ◆出産・子育て応援事業による妊娠8か月頃のアンケートを実施し、妊娠期からの支援を強化します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 2 ママ・パパになるための学級の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆安心して妊娠・出産子育てに臨めるように、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。		
令和4年度 事業目標	◆感染予防に留意した方法で「ママ・パパになるための学級」を実施し、安心して妊娠・出産・子育てに臨めるよう妊娠中から知識・技術を提供する他、地域の情報提供等を通じて仲間づくりの支援を行います。 ◆オンラインを活用し、不安の解消と妊婦の孤立化を防ぐよう努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆「ママ・パパになるための学級」を2課は講義、3課をオンラインで実施しました。感染対策に留意しながら、赤ちゃん人形抱っこ体験、おむつ交換など再開しました。（健康支援課）		
評価指標	◆妊婦・夫・パートナー受講率	令和4年度数値	◆妊婦 29.4% パートナー 23.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆アンケートから「産後のイメージがついた」「家事のスキルを上げ、産後のサポートにあたりたい」などの感想がありました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆妊娠中から産後の生活についてイメージし、必要な準備を進める動機付けとなりました。 ◆パートナーの参加率も高く、夫婦で産後の役割を考えられました。	◆妊婦同士の交流、仲間づくりについては課題であり、検討していく必要があります。 ◆個別のオンライン相談も含め、妊娠期の支援をより強化できるようにしていきます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆令和5年度より、出産・子育て応援事業として、妊産婦への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援体制を強化します。 ◆妊婦体験を再開し、内容の充実を図ります。 ◆妊娠8か月頃のアンケートが始まるため、妊娠期の支援をより充実させます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 3 乳児家庭全戸訪問および乳幼児に対する健康相談の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆助産師による産婦・新生児訪問と母子保健推進員などによる生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業により、育児不安の軽減と個別の相談に応じます。 ◆乳幼児の健康相談などを通して、食事・睡眠・遊び・むし歯予防などの生活習慣や生活リズムについて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が情報提供を行い、個々の状況にあわせた相談に応じます。 ◆乳幼児の発育・発達に関する相談については、地域の小児科医や心理職による相談の機会を設け、早期に適切な支援機関につなげます。		
令和4年度 事業目標	◆提供する情報の充実と正確さを図るために、コロナ禍の情勢も踏まえて定期的に内容を見直していきます。（健康支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆妊娠届出から切れ目ない支援を実施し、妊産婦及び乳児の健康づくりに努めました。 ◆助産師による産婦・新生児訪問と母子保健推進員などによる訪問で、乳児家庭の全戸訪問を目指し実施しました。新型コロナウイルス感染症第6波による感染対策の強化を図り、令和4年1月～3月までは母子保健推進員の訪問を事前の電話連絡とファイルのポストインに変更したため、全戸訪問の実施率としてはやや低下しましたが、支援の継続と市民の安心につながる対応ができました。 ◆4か月健康相談において、生活リズムや生活習慣、事故予防について周知し、個々の相談に応じました。 ◆乳児後期の健康管理のため、ホームページを見直し、ハガキによる周知を行いました。		
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業実施率	令和4年度数値	◆89.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆「助産師の訪問により安心した」、「母子保健推進員さんの訪問が嬉しかった」などの意見がありました。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆生後4か月までの乳児家庭全戸訪問に努め、個々の相談に応じ切れ目ない支援を実施しました。	◆対面で支援できない場合の情報発信の工夫や取組みをさらに充実させていく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆令和5年度より、出産・子育て応援事業として、妊産婦への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援体制を強化します。 ◆乳児家庭全戸訪問事業の実施率の維持・向上を目指します。 ◆10か月頃に電子アンケートによる健康チェックを行い、全数把握とフォローアップを行います。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 4 健康教育の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆子どもの発育・発達にあわせた生活リズムの啓発や生涯を通じた健康づくり、ライフサイクルにあわせた「からだ・心・歯の健康」の保持増進を目的とした、子どもとその家族への健康教育にも力を入れていきます。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、母子保健サービスの中で健康教育を実施します。 ◆可能な範囲で、関係機関での健康教育の実施をフォローします。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆母子保健での地区保健活動内で、食事、歯みがき、排泄、睡眠、遊び、生活リズムの重要性等の周知に努めました。 ◆感染症拡大防止のため、依頼による健康教育は一部中止としましたが、感染症対策を講じ、可能な範囲で実施しました。 ◆関係団体に健康教育用媒体を貸し出しを行い、現場の健康教育の実施をサポートしました。 ◆就学時健康診査時に配布する「生活リズム」のリーフレットの内容を見直し、全校統一した資料を用いて健康教育を実施しました。 ◆4か月児健康相談時に、乳がん検診に関するポスターを用い、保護者に対する情報提供を行いました。		
評価指標	◆むし歯のない3歳児の割合	令和4年度数値	◆94.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆乳幼児の講座に参加した保護者からは、「食事は全て手作りではなく中食も利用していいと知り、気持ちが楽になった。」「子供と一緒に食事をする事の大切さを知りました。」「歯だけではなく、口の働きも大切ということに初めて気がついた。」「歯みがきは日々格闘ですが、めげずに頑張ります」等の感想がありました。コロナ禍で保護者や子どもたちが集まる機会が減っている中で、育児に関する正しい情報を得づらいう保護者が、講座をとおして健康に関する知識や技術を得られたことに、安心された様子も伺えました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆感染症対策を行い実施した事業では、上記2のとおり、目的に沿った反応や感想が得られています。	◆新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度から幼稚園健康教育、その他の依頼による健康教育の一部を中止していることで、幼児や保護者に対する健康教育の機会が減少しています。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆健康教育の目的や地域のニーズ等を再確認し、子どもや保護者に対する健康教育の方向性を再構築します。 ◆関係機関と連携し、母子保健サービスの中で健康教育を実施します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 5 健康診査の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子健康診査事業 決算額：134,243,085円
事業の概要	◆定期的な妊婦健診を動機づけることにより、安全で安心な分娩と児の出産を支援するため、妊婦健康診査と妊婦歯科健康診査を実施します。 ◆乳幼児期の健康診査では、発育・発達状況を確認し、課題を早期に発見し、適切な支援機関につなげます。1歳6か月児・3歳児健康診査は、集団検診方式で保護者と心身の発育・発達を確認し、課題や不安について、歯科医師、心理職、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士など複数の専門職が対応し、医師の診察については、個別受診の機会を設けます。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、より多くの妊婦が適切な時期に妊婦健康診査・歯科健康診査を受けられるよう啓発していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査については、引き続き感染症対策を講じながら、健診を実施していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査の未受診者に対しては、アプローチ方法を工夫しながら早期の状況把握に努めます。また、集団健診に来ることができない場合には、家庭訪問や所内相談等で個別に対応し、全数把握に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆妊婦一般健康診査は、14回分の受診券を発行し助成しました。 ◆妊婦歯科健康診査は、妊娠中に1回実施しました。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査は、新型コロナウイルス感染症対策のため令和4年1月21日から3月末までの集団健診は中止しました。中止期間の対象児は、令和4年度に集団健診を実施しました。 ◆医療機関における1歳6か月児・3歳児医科個別健診は、927人・841人が受診しました。		
評価指標	◆1歳6か月児健康診査受診率 ◆3歳児健康診査受診率	令和4年度数値	◆95.5% ◆93.6%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆1歳6か月児・3歳児健診では「健診を受けて子どもが順調に成長していることが確認できよかった。」「子どもへの対応方法や食事や歯磨きについてなど、子育ての相談ができて安心した。」などの感想があります。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆母子健康手帳交付の全数面接時に、妊婦健診・歯科健康診査の受診勧奨や健康管理についての助言を行うことで、自らの生活習慣・健康管理を見直す方も多く、意識づけになっています。 ◆令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集団健診の実施に多くの制限がありましたが、実施方法を変更することにより医科個別健診と合わせた受診率は9割以上を維持することができました。	◆引き続き、より多くの妊婦に歯科健康診査を受けてもらえるよう、啓発する必要があります。 ◆1歳6か月児・3歳児健診については引き続き、健診を丁寧に実施し、健診の内容の充実にも努めていく必要があります。また、未受診者については引き続き、全数把握に努め、必要な支援につなげる必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、より多くの妊婦に歯科健康診査を受けてもらえるよう啓発していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健診については、引き続き健診を実施していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健診の未受診者に対しては、家庭訪問・所内相談等で個別対応し、全数把握に努めます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 6 予防接種	令和4年度 事業費決算額	事業名：予防接種事業 決算額：505,063,246 円
事業の概要	◆感染力が強く、かかると重篤になりやすい疾患について、「予防接種法」に基づく定期予防接種を行います。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルスの流行により、接種時期を遅らせることがないよう、引き続き接種率の維持に努めます。 ◆接種率の維持や安全な接種ができるよう、引き続き、委託先である習志野市医師会との連携強化や母子保健事業での周知の徹底に努めます。 ◆ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の積極的勧奨が再開されたため、対象者へ予診票とワクチンに関するリーフレットを送付し、ワクチン接種に対する不安軽減と必要な情報提供に努めます。 ◆風しんの追加的対策（MR5期）の時限措置が3年間延長となったため、風しん抗体検査が未受検である人に対して、勧奨通知を送付し実施率の向上を目指します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆定期予防接種を推進しました。（生後1か月頃に予診票を郵送） また、MR2期は3回、DTと日本脳炎2期は2回、未接種の方に勧奨通知を送付しました。 ◆ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の積極的勧奨再開に伴い、定期接種対象者と接種機会を逃した対象者の内、予防接種未接種者である全ての者へ個別通知を送付しました。また併せてホームページなどで情報提供を行いました。 ◆風しん抗体検査の結果、抗体価が低い人に対して、風しんワクチン又はMRワクチンの予防接種費用の概ね半額を助成しました。（償還払い） ◆風しんの追加的対策（MR5期）に係るクーポン券について、令和2年度発送対象者でクーポン券未使用者に対して7月に再度クーポン券を発送しました。 ◆骨髄移植等の治療により定期予防接種の再接種が必要なお子さんの予防接種費用について、1件助成を行いました。		
評価指標	◆接種率	令和4年度数値	◆MR1期 99.0% ◆MR2期 96.9%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆定期予防接種以外の予防接種について、費用助成の要望がありました。 ◆MRについて、市の独自制度により無料で接種できてよかった、との意見がありました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆接種勧奨通知の発送後は、接種数が多くなりました。 ◆ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の積極的勧奨の再開や次年度以降の新たなワクチンの追加に伴い、電話等相談が増加しました。 ◆新型コロナウイルスの流行により、里帰り出産後そのまま県外に長期滞在する人が増加したため、委託契約や償還払いによる予防接種の実施数が増加しました。	◆MR2期、DT2期について、新型コロナウイルス感染症の流行以降接種率が下がり横ばいとなっているため、適切な時期に接種できるよう、勧奨通知や広報等により周知していく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆新型コロナウイルスの流行により、接種時期を遅らせる動きもあることから、市広報やホームページ、個別通知等により周知を図り、引き続き接種率の維持に努めます。 ◆接種率の維持や安全な接種ができるよう、引き続き、委託先である習志野市医師会との連携強化や母子保健事業での周知の徹底に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・学校教育課・小学校 中学校・幼稚園・保育所・こども園 あじさい療育支援センター等
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	47 歯と口腔の健康づくりの推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：歯科保健事業 決算額：13,185,637円
事業の概要	◆全身の健康につながる、歯と口腔の健康づくりに必要な力が身につくよう、情報提供や支援を行います。 ◆永久歯のむし歯予防、健康格差の解消をめざし、小中学校でのフッ化物洗口を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆令和元年度時点のフッ化物洗口継続校13校中で令和3年度に実施できなかった10校の再開及び新規校3校の拡大に向けて、学校教育機関、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し、感染状況に応じてフッ化物洗口事業を推進します。（健康支援課） ◆新型コロナウイルス感染症対策を考慮した乳幼児・幼児・生徒のむし歯および歯肉炎予防に向けた歯と口の健康づくりを、関係機関と連携して推進します。（健康支援課） ◆歯と口の健康づくりに必要な力が身につくよう、各校の実施計画に基づいて歯科指導を行います。（学校教育課） ◆永久歯のむし歯予防、健康格差の解消をめざし、小・中学校でのフッ化物洗口を実施します。（学校教育課） ◆保健指導において子どもに歯の健康の大切さを伝えるために引き続きむし歯予防指導を実施し、効果的な指導案の検討をします。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆乳幼児期から学齢期に対する取り組みについては、感染症対策を行い、下記のとおり事業を実施しました。（健康支援課） ・歯科健康教育は関係機関と連携を図り、コロナ禍前の約5割程度の対象者に実施しました。 ・10か月児健康相談の中止を受け、令和4年4月より市内のこどもセンター等に歯みがき教室のポスターを掲示し、市民への周知を図りました。 ・小中学校でのフッ化物洗口は、継続校13校のうち小学校7校、中学校3校の計10校で各校が工夫して実施しました。 ◆各校の実施計画に基づき、歯科指導を行うように促し、23校中11校で歯科衛生士による講演会を実施することができました。（学校教育課） ◆新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、フッ化物洗口を中止する学校が多い中、10校においてフッ化物洗口を実施する事ができました。（学校教育課） ◆保育所・こども園において保健指導計画に基づき、むし歯予防指導を実施しました。（こども保育課）		
評価指標	◆フッ化物洗口実施校数 ◆むし歯がない3歳児の割合 ◆むし歯を有する4.5歳児の割合	令和4年度数値	◆10校（学校教育課） ◆94.2%（健康支援課） ◆12.9%（こども保育課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆小中学校での歯科健康教育をとおり、児童生徒は自らの生活習慣を振り返り、歯と口の健康づくりについて考えを深め、こちらからの質問に対し発言する姿が多くみられました。生徒からは「歯の病気である歯周病が全身の健康に影響を及ぼすことを初めて知った。」「フッ化物洗口をやる意味がわかり、続けて頑張りたい。」等の感想もありました。（健康支援課） ◆歯みがき教室は、「ブラッパ習志野」の会場を追加し、1歳未満児の相談も受け入れたことで、保護者からは「利用しやすかった。相談できる場所があつてよかった。」との声がありました。（健康支援課） ◆フッ化物洗口事業を希望する保護者が多く、学校現場での集団実施への期待の高さが伺える半面、「小さい学校で、過去の実施歴があるので実現できたが、そうでなければ難しい」「給食後の歯みがきも行えない状況下で、フッ化物洗口の実施は難しい」との意見もありました。（学校教育課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆むし歯がない3歳児は94.2%で、幼児期のむし歯の減少を維持しています。（3年度：94.2%、2年度93.7%） ◆歯科健康教育は、従来の歯みがき実習等は多くの事業で行えない状況でしたが、内容を工夫して実施し、歯と口腔の健康づくりに必要な力が身につくよう児童・生徒に意識づけを行うことができました。（健康支援課） ◆各校の実施計画に基づき、歯科指導を行うよう促し、昨年度よりも多くの学校で歯科衛生士や学校歯科医による歯科指導の講演会を実施することができました。（学校教育課） ◆新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、フッ化物洗口を中止する学校が多い中で、10校においてフッ化物洗口を実施することができました。（学校教育課） ◆むし歯予防指導を実施することで、子どもの歯の健康に対する意識を高めることができた。（こども保育課）	◆小中学校でのフッ化物洗口は、令和元年度までの継続実施校13校中10校が再開できましたが、一部の学校での再開及び新規校の拡大が課題となっています。（健康支援課） ◆コロナ禍において、感染の不安なく、給食後の歯みがきやフッ化物洗口を実施するためにはどうしたらよいか、検討が必要です。（学校教育課） ◆令和4年度まで感染対策として歯みがきを中止している施設が多かったが、再開するにあたり、施設での歯みがきの方法やむし歯予防指導の内容を検討していきたい。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆小中学校でのフッ化物洗口事業は、令和7年度の市内全校実施を目指し、5年度以降は計画的に推進します。5年度は継続校13校の再開及び新規校4校の実施に向けて、学校教育機関、歯科医師会、薬剤師会等と連携して実施します。 ◆乳幼児、生徒・児童のむし歯及び歯肉炎予防のため、歯と口の健康づくりを関係機関と連携して推進します。 ◆歯と口の健康づくりに必要な力が身につくよう、各校の実施計画に基づいて歯科指導を行います。（学校教育課） ◆永久歯のむし歯予防、健康格差の解消をめざし、小・中学校のフッ化物洗口を実施します。（学校教育課） ◆保健指導において子どもに歯の健康の大切さを伝えるために引き続きむし歯予防指導を実施し、効果的な指導案の検討をします。（こども保育課）
------------------------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 8 小児救急医療体制の整備、充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆小児が休日夜間の急病時に、受け入れられる診療体制の充実を図ります。 ◆夜間や休日における一次・二次診療は、習志野市医師会などの関係機関の協力を得るとともに、近隣市の医療機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関の協力を得ながら体制整備を図っていきます。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、日ごろから「かかりつけ医」を持つこと、早めの受診行動をとること、一次・二次・三次救急といった医療体制について、説明に努めます。 ◆小児の救急医療体制整備等について、市域を超えた体制の整備の検討や小児科医の確保について千葉県に要望します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆急病診療所において、毎日夜間20時から23時に小児患者の受け入れを行いました。 ◆引き続き、市ホームページや医療ガイド等にアンパンマンを用いた「こども医療でんわ相談」の案内を掲載しました。		
評価指標	◆急病診療所における小児患者数 ◆二次救急医療機関における夜間受診者数	令和4年度数値	◆377人 ◆4人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆コロナ禍に伴う受診控え等により受診者も少なく、急病診療所や二次救急に関する苦情等は非常に少ない状況でした。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆新型コロナウイルスの流行により、急病診療所の受診者数が激減しましたが、事故もなく運営できています。	◆小児の二次救急医療体制について、令和3年6月から市内で実施できる医療機関が無い状況となりました。市民からは市内で夜間診察を受けたいとの要望がありますが、市単独での夜間の小児に関する二次救急医療体制の整備は困難な状況です。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、日ごろから「かかりつけ医」を持つこと、早めの受診行動をとること、一次・二次・三次救急といった医療体制について、説明に努めます。 ◆小児の救急医療体制整備等について、市内での夜間二次救急医療体制整備または市域を超えた体制の整備の検討や小児科医の確保について千葉県に要望します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・学校教育課・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4 9 中学校区地域保健連絡会の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園、保育所・こども園・小学校・中学校・高校・公民館などの関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連絡調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制づくりを進めていきます。		
令和4年度 事業目標	◆令和4年度は各関係機関での課題や取り組みを共有するため、各中学校区ごとに年2回の連絡会を開催し、連携して子どもの発育・発達に応じた健康づくりのための取り組みを進めます。（健康支援課） ◆各中学校区の健康課題に沿った取り組みを実施し、関係諸機関と連携した学校保健活動を充実させていきます。（学校教育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆市内7つの中学校区ごとに中学校区地域保健連絡会の会議を2回開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、思春期保健講演会は中止しました。（健康支援課） ◆年3回の実施計画のうち、2回対面で会議を実施する事ができました。（学校教育課）		
評価指標	◆中学校区地域保健連絡会開催回数	令和4年度数値	◆各中学校区ごとに2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆関係機関同士で課題を情報共有できました。（健康支援課） ◆対面での会議を行う事で、各機関での取り組みを確認し、情報交換ができて良かったです。（学校教育課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆中学校区地域保健連絡会を開催することで、各中学校区毎の地域課題を共有、顔の見える関係づくりにつながりました。（健康支援課） ◆対面での会議で、各中学校区毎の健康課題を共有することができました。（学校教育課） ◆第三中学校区では、就学時健康診断時の保護者への健康教育をより使いやすい形にバージョンアップすることができました。（学校教育課）	◆今後コロナ禍の中で地区の子どもたちの健康課題を整理し、子どもの生涯を通じた健康づくりへどのように取り組んでいくかが課題となっています。（健康支援課） ◆連絡会に参加するメンバーが各部署での感染症対応の最前線担当者であるため、会への参加が難しい状況にありました。（学校教育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆各関係機関での課題や取り組みを共有するため、各中学校区ごとに年2回の連絡会を開催し、連携して子どもの生涯を通じた健康づくりのための取り組みを進めます。また、思春期保健講演会を開催し、プレコンセプションケアの取り組みを推進できるように取り組みます。（健康支援課） ◆各中学校区の健康課題に沿った取り組みを実施し、関係諸機関と連携した学校保健活動を充実させていきます。（学校教育課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	50 未熟児養育医療費の給付および低体重児出生届の受理による保健指導の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：未熟児養育医療給付事業 決算額：6,777,454円
事業の概要	◆出生時体重が2,000g以下、または、身体発育が未熟なまま出生し、入院養育を必要とする未熟児に、医療の給付を行うとともに、早期に母子保健活動の中で支援していきます。		
令和4年度 事業目標	◆低体重児の届出及び養育医療給付事業について、医療給付を行うとともに、妊娠届出時の周知を徹底し、できるだけ早期に支援を開始できるよう努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆養育医療の給付を27人（実人数）に行いました。 ◆低体重児（2,500g以下）の届出を68件受理しました。 届出を受付次第、地区担当保健師による支援を実施しました。			
評価指標	—	令和4年度数値	—	

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆「高額な医療費の給付で、経済的な負担が軽減されました。」「入院中から母子保健担当者と相談ができ、安心できました。」との感想が得られています。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆養育医療給付対象者には、医療費の給付を行い、経済的な負担の軽減を図りました。 ◆低体重児及び養育医療給付対象者には、届出を受理次第、地区担当保健師による支援を開始し、保護者への相談指導及び適切な母子保健サービスの提供を行いました。	◆引き続き、養育医療費や低体重児の届出を通して、早期からの病状把握及び適切な母子保健サービスの提供による支援を行ってまいります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆低体重児の届出及び養育医療給付事業について、医療給付を行うとともに、できるだけ早期に支援を開始できるよう努めます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	5 1 家庭児童相談の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：子ども家庭総合支援拠点運営事業 決算額：972,875円
事業の概要	◆子育て支援相談室において、子育てに関するあらゆる相談に対し、個々の家庭の状況に配慮したきめ細やかな対応を行います。		
令和4年度 事業目標	◆職員のさらなる知識技能の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉（環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等）に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆相談業務の実施 ・妊娠中から18歳未満の子どもに関するあらゆる相談に対し、電話・面接・訪問により助言・情報提供を行いました。 ・虐待の通告・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、月1回のケース連絡会の実施・同行訪問を行う等の対応をしました。 ◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の運営 ・児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議（2回）、実務者会議（6回）、個別支援会議（必要に応じて）や研修会の開催など虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 ◆養育支援家庭訪問事業の実施 ・養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、母子保健担当と協力し、家庭訪問により育児についての技術的支援・相談に応じました。（対象家庭9件 延べ訪問回49回） ・臨床心理士によるケース検討会議を実施し、相談技術の向上に努めました。		
評価指標	◆相談対応件数	令和4年度数値	◆17,738件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆連携をする上で、相手を知ることと自分を知ってもらう準備が必要だと感じました。 ◆互いの専門性を尊重しつつ、効率の良い連携をするための技術について学んでいこうと思います。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】	どのような成果があったかご記入ください。	【課題】	どのような課題が残ったかご記入ください。
◆支援を必要とする家庭に対し、直接的な助言や情報提供を行うとともに、千葉県中央児童相談所や庁内関係機関との連携を図り個々の家庭に応じた支援を行いました。 ◆各事業の支援を検討するうえで臨床心理士による勉強会を開催し職員の相談技術の向上を行いました。 ◆こどもを守る地域ネットワーク主催による研修会を開催し、子どもに関わる関係者の児童虐待防止の意識の醸成を図りました。		◆相談件数の増加、複雑・多様化への対応及び虐待防止への対応を一層手厚くする必要があります。 ◆支援の一体性、連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を一層推進していく必要があります。	
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）			A

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆職員のさらなる知識技能の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉（環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等）に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課 ひまわり発達相談センター
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	5 2 子育て情報の提供	令和4年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：6,460,536円
事業の概要	◆子育てに関する情報について、わかりやすい紙面や冊子、ホームページ等を作成し、妊娠中から子育て期にあわせた必要な子育て情報を提供します。 ◆スマートフォンを活用した子育てについての情報提供を行います。 ◆広報、ホームページ、パンフレットを通じて、支援が必要なお子さんの子育て情報や相談窓口情報を提供します。		
令和4年度 事業目標	◆「ならしの子育てハンドブック」を作成し、最新の子育て支援情報について、市ホームページ、広報等で周知を図ります。（子育て支援課） ◆祖父母世代と親（子育て）世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうことを目的に発行した「ならしの孫育てハンドブック」について、引き続き周知・情報の提供を行います。（子育て支援課） ◆提供する情報の充実さと正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。（健康支援課） ◆引き続き、成長発達に心配のある子どもの相談体制について、広報、ホームページで情報提供をします。（ひまわり発達相談センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容		◆祖父母世代と親（子育て）世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうため「ならしの孫育てハンドブック」を改訂し、生活協同組合コープみらいとの官民連携により印刷し、健康支援課及び子育て支援課にてお子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。（子育て支援課） ◆子育て支援情報を記載した「ならしの子育てハンドブック」を株式会社ジチタイアドとの官民協働により企業の広告協力を得て、無償で作成・印刷し、子育て支援課窓口にて、お子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。（子育て支援課） ◆市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実に努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。（子育て支援課） ◆「すこやか子育てガイド」「すこやか習志野っ子ファイル」について、説明をしながら手渡し、妊娠期から子育て期の必要な情報を提供し、活用を促しました。（健康支援課） ◆成長発達に心配のある子どもの相談支援について、広報習志野、ホームページ、なるほど習志野等で情報提供をしました。また、市民協働で行っている「子育て“ショートあるある”」をホームページ・ツイッターで公開しました。（ひまわり発達相談センター） ◆総合教育センターと合同でパンフレットを作成し、幼稚園・保育所・こども園・小中学校等の保護者全員へ配布しました。 ◆ライフサポートファイルをより手に取りやすくするため、幼稚園・保育所・こども園・小中学校等の保護者全員へ配布する案内のチラシを未就学児用・就学児用の2種類作成しました。また、ペアレントトレーニングの要素を取り入れた「ほめほめシート」をスターターセットへ追加し、ホームページで情報提供しました。（ひまわり発達相談センター）	
評価指標	◆きらっ子ナビアクセス数 ◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	令和4年度数値	◆R3年度をもってナビ終了 ◆89.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆ハンドブックを家で読んでみたいと思います。（子育て支援課） ◆「ホームページの子育て“ショートあるある”は、手書きのイラストがあつてとても良い」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター） ◆「ライフサポートファイルのほめほめシートを使い、いつの間にか子どもができるようになっていた、ささいなことでも『ほめたい!』と思うようになった」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター）
-----------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆「ならしの孫育てハンドブック」の発行は祖父母世代の孫育てや地域の子育て支援に寄与することができました。（子育て支援課） ◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。（子育て支援課） ◆配布したツールを用いて、成長の節目で支援を行いました。（健康支援課） ◆ひまわり発達相談センターでの相談や支援内容、地域の情報等を情報提供することで、子育ての不安や心配の軽減につなげることができました。（ひまわり発達相談センター） ◆ライフサポートファイルの案内チラシの配布により、ホームページの閲覧数が増加しました。（ひまわり発達相談センター）	◆対象者により活用される媒体の作成や情報提供の工夫をしていく必要があります。 ◆より多くの人に、わかりやすく当センターの相談支援に関する情報を提供することが課題です。（ひまわり発達相談センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆「ならしの子育てハンドブック」を作成し、最新の子育て支援情報について、市ホームページ、広報等で周知を図ります。（子育て支援課） ◆祖父母世代と親（子育て）世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうことを目的に発行した「ならしの孫育てハンドブック」について、引き続き周知・情報の提供を行います。（子育て支援課） ◆提供する情報の内容を充実させ、より適正な情報提供ができるよう、定期的に見直していきます。（健康支援課） ◆引き続き、成長発達に心配のある子どもの相談体制について、広報、ホームページで情報提供をします。（ひまわり発達相談センター）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	男女共同参画センター・子育て支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	5 3 子育てに関する制度の活用推進	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度などについて、パンフレットの配布などにより情報提供を行い、仕事と家事・育児などの家庭生活や地域活動との調和に向けた意識づくりを推進します。 ◆育児休業制度、配偶者の出産休暇制度や子の看護休暇制度について、周知・啓発を行います。		
令和4年度 事業目標	◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等については、各種講座等で引き続き周知に取り組みます。（男女共同参画センター） ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。（子育て支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆「子育て支援先端企業認証制度」や子育てサポート企業を認定する「くるみん」など、職業生活と家庭生活の両立に取り組んでいる優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度を紹介するパンフレットを講座及び研修にて配布した。（男女共同参画センター） ◆子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を子育て支援課窓口にて、お子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布しました。（子育て支援課） ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実にも努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。（子育て支援課）		
評価指標	◆各種講座における啓発紙の配布回数	令和4年度数値	◆5回（男女共同参画センター）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆情報がまとめてある冊子があって助かりました。（子育て支援課）
-----------------------	---------------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。（子育て支援課）	◆引き続き、各種講座においてパンフレットを配布し、制度周知に努めるとともに、認証制度のメリットが伝わるよう内容の情報更新を行う。（男女共同参画センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等については、各種講座等で引き続き周知に取り組むとともに、内容の情報更新を行う。（男女共同参画センター） ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。（子育て支援課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課・子育て支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	5 4 子育て支援コンシェルジュの充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆子育て支援にかかわる認定講座を修了した「子育て支援コンシェルジュ」をこどもセンター・きらっこルーム・こども部窓口に配置し、妊娠中から子育て期へと、丁寧に子育てにかかわる切れ目のない相談支援を行います。関係機関につなげる等、地域で安心して子育てが出来るよう支援に努めます。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、引き続き安心して安全な親子の遊び場の提供を行います。また、子育ての悩み相談の充実にも努めます。（こども保育課） ◆市立各こどもセンター及びきらっこルームやつで引き続き実施し、常に最新の情報提供ができ、また、相談・関係機関につなげられるよう、研修等の充実を図ります。（子育て支援課） ◆引き続き、こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談しやすい環境づくりや関係機関との連携強化に努めてまいります。（子育て支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆予約制による密集の回避や消毒等、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、こども園こどもセンターで地域の親子に遊びの場を提供するとともに、見守りや相談業務に努めました。（こども保育課） ◆こどもセンター（6か所）、きらっこルーム（1か所）、こども部窓口の子育て支援コンシェルジュを設置し、相談の受付や、子育て支援情報の提供等を行いました。（子育て支援課） ◆こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を行いました（子育て支援課）		
評価指標	◆相談件数	令和4年度数値	◆6,630件（子育て支援課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆安心してゆっくりと遊ぶことができました。（こども保育課） ◆とても親切に対応いただき、心温まりました。（子育て支援課） ◆知らなかったことを短時間で的確に説明いただき、大変勉強になりました。（子育て支援課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、予約制での受け入れとなりましたが、地域の親子の遊び場としてご利用いただきました。読み聞かせや身体計測、季節の制作等のイベントも実施することができました。（こども保育課） ◆利用者と直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応し、子育て家庭の支援に寄与することができました。（子育て支援課） ◆新規にこどもセンターに配属された職員に対し、子育て支援コンシェルジュ養成講座を実施し、資質向上に努めました。（子育て支援課）	◆保護者の学びやりフレッシュのための講座の開催ができませんでした。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆コロナ禍前の開園時間に戻し、より地域の親子が利用しやすく、安全安心な親子の遊び場の提供を行います。（こども保育課） ◆市立各こどもセンター及びきらっこルームやつで引き続き実施し、常に最新の情報提供ができ、また、相談・関係機関につなげられるよう、研修等の充実を図ります。（子育て支援課） ◆引き続き、こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談しやすい環境づくりや関係機関との連携強化に努めてまいります。（子育て支援課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	5 5 延長保育・一時預かり・休日保育の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆延長保育・一時預かり・休日保育など、多様な保育サービスの充実を、民間事業者を活用しながら、推進します。		
令和4年度 事業目標	◆今後も、延長保育・一時預かり・休日保育など、多様な保育サービスの実施について適宜民間事業者に働きかけていきます。（こども政策課） ◆公立施設ではホームページの空き状況を随時更新することで、より多くの利用につなげられるように努めます。（こども保育課） ◆引き続き新型コロナウイルス感染防止に努めながら、幅広い保護者ニーズに対応します。（こども保育課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆新規開設園に対して、習志野市民間認可保育所設置及び運営に関する基準に基づき、保護者ニーズを踏まえて延長保育を実施するよう求めました。（こども政策課） ◆一時預かり・休日保育の実施について、適宜働きかけを行いました。（こども政策課） ◆一時保育は、公立5施設、私立保育園6園、小規模保育施設4園が実施し、幅広い保育ニーズに対応しました。（こども保育課）		
評価指標	◆延長保育・一時預かり・休日保育の実施園数（市立含む） ◆一時保育利用者アンケート結果（公立）	令和4年度数値	◆延長保育 全園 一時預かり 15園 休日保育 1園 ◆（満足度）73.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特になし
-----------------------	-------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆延長保育は市内全保育園で実施しています。（こども政策課） ◆一時預かりは新規開設園のほか、小規模保育事業所で4園増加しました。（こども政策課） ◆休日保育はクニナ奏の杜保育園が実施しています。（こども政策課） ◆特に保護者の就労やリフレッシュ・通院等、多様なニーズに対応し、お子さんをお預かりすることができました。（こども保育課）	◆保護者のニーズを踏まえて、今後も適宜働きかけする必要があります。（こども政策課） ◆新型コロナウイルス感染防止のため、他クラスとの交流等難しい部分もありました。（こども保育課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、延長保育・一時預かり・休日保育等、多様な保育サービスの実施について、適宜民間事業者に働きかけます。（こども政策課） ◆公立施設では、引き続きホームページの空き状況を随時更新することで、より多くの利用につなげられるように努めます。（こども保育課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	5 6 ファミリー・サポート・センターの充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：ファミリー・サポート・センター運営事業 決算額：1,839,074円
事業の概要	◆育児・家事支援、ショートステイ、こどもセンター・きらっ子ルームで一時預かりを実施し、ファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の提供会員などの確保に努めるとともに、学習会や談話室の充実に努めます。		
令和4年度 事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、引き続き、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。 ◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆利用会員の援助の申込みに基づき、育児支援、家事支援について、提供会員派遣のためのコーディネートを実施しました。 ◆ひとり親家庭等の就労支援及び育児負担の軽減を図ることを目的に、ひとり親家庭等を対象に、利用料の半額助成を実施しました。 ◆入会説明会を実施するとともに、個別訪問でも実施しました。 ◆会員に対し、基礎研修会、交流会を開催しました。 ◆ファミリー・サポート・センターだよりを発行し、会員に対して送付及びホームページへの掲載をしました。 ◆提供会員の募集チラシを配布しました。		
評価指標	◆会員数 ◆活動件数	令和4年度数値	◆育児2,649人・家事2,021人 ショートステイ1,471人・一時預かり1,870人 ◆育児2,509件・家事80件 ショートステイ0件・一時預かり0件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆大変親身にやさしい提供会員の方にしっかり子どもをみていただき、ありがたい制度だと思いました。安心して仕事をすることができます。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆提供会員の募集チラシ配布や、広報に募集記事を掲載をしたことで、提供会員の増加に貢献できました。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の周知及び相互援助のコーディネートを行うことにより、子育てを地域で支えあう機運の醸成に寄与しました。	◆利用会員のニーズの需要の増加や多様化、また、奏の杜地区の人口増加に伴う利用者の増加により、さらに提供会員の確保に努める必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、引き続き、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。 ◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	5 7 子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：子育て短期支援事業 決算額：7,975円
事業の概要	◆保護者の疾病などの理由により、家庭において養育が一時的に困難な場合に、市が委託する施設において必要な保護を行います。		
令和4年度 事業目標	◆保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難な場合、これらの児童及び子育て家庭の福祉の向上を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆令和3年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設側の都合で利用者の受け入れを中止していました。		
評価指標	◆実施件数	令和4年度数値	◆0件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆事業内容欄記載のとおり令和4年度は未実施	◆特にありません。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
D	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難な場合、これらの児童及び子育て家庭の福祉の向上を図ります。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	5 8 病児・病後児保育の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：病児・病後児保育事業 決算額：14,500,549円
事業の概要	◆子どもが病気の時に、家庭の事情や仕事の都合などで育児が困難な場合において、医療機関に付設された市内2か所の施設で保育を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆子育て支援課窓口や各保育所等を通じて保護者へチラシやリーフレットを配布することにより事業の周知を図り、子育てと仕事の両立を支援してまいります。 ◆病児・病後児保育施設連絡会議を開催し、各施設との情報共有・意見交換を実施するとともに、千葉県済生会習志野病院とは事業の再開に向けて引き続き協議してまいります。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応については、確定診断がついたお子さんの保育の実施となることの周知を図るとともに、利用者増に向けた検討を各施設と協議してまいります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆子育て支援課窓口での出生や転入手続きの際に、子育て支援コンシェルジュより事業の周知を図りました。また、保育所等の所属を通じ、新規入所児童の保護者にチラシやリーフレットを配布し、事業の周知を図りました。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、確定診断がついたお子さんのみの保育を実施しました。 ◆千葉県済生会習志野病院キッズケアルームなどでは、コロナ禍における病児保育の運営が困難なため、施設を休室しました。		
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	令和4年度数値	◆2ヶ所（実施施設1ヶ所） ◆101人（延べ数）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆休室に関する質問や残念との御意見がありました。
-----------------------	--------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆保護者が仕事などで家庭での看護が困難な子育て家庭を支援することで、子育てと仕事の両立支援を図りました。	◆千葉県済生会習志野病院と事業の再開に向けて引き続き協議する必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆子育て支援課窓口や各保育所等を通じて保護者へチラシやリーフレットを配布することにより事業の周知を図り、子育てと仕事の両立を支援してまいります。 ◆病児・病後児保育施設連絡会議を開催し、各施設との情報共有・意見交換を実施するとともに、千葉県済生会習志野病院とは事業の再開に向けて引き続き協議してまいります。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	公民館
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	5 9 公民館の託児付き成人講座の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：0円（中央・菊田）
事業の概要	◆公民館で実施する成人向け講座に託児を設けます。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の親の心身のリフレッシュになるよう託児付きの成人講座を実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆3公民館が実施した。 「レジン作り」「マインドフルネス」「移動ポケットを作ろう」 「たんたんクッキング」 「楽トレ&ストレッチ」 「練り切りづくり」など		
評価指標	◆託児付き成人講座の実施回数	令和4年度数値	◆12回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆子どもを見守ってもらいながら、自分の時間を持つことができ、気分転換になった。子どもに優しくなった。 ◆冷蔵庫の中にあるものや身近にある食材を使って、子どもが好きなおかずやおやつ作りが学べて良かった。 ◆子どもを預けて自分の時間を楽しむ事ができ、家での子育てや家事に前向きに取り組むことができた。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆子育て中の参加者に、リフレッシュできる時間を提供し、健やかな子育ての一助となった。	◆子育てがひと段落し、仕事に出る参加者の、講座後の公民館利用へいかに つなげていくか、検討が必要である。 ◆コロナ禍のため、定員人数を減らして開催した。より多くの方に参加して 貰える工夫が必要である。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
C	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	引き続き、子育て中の親の心身のリフレッシュになるよう託児付きの成人講座を実施します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	60 児童手当の支給	令和4年度 事業費決算額	事業名：児童手当支給事業 決算額：2,284,220,000円
事業の概要	◆0歳から15歳に達する日以後、最初の3月31日まで(中学校修了前)の児童を養育している父母などに手当を支給します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、広報・市のホームページ等で制度の内容や手続き方法の周知を図る。特に令和4年6月以降児童手当制度が変わることから、周知を徹底して行う。 ◆市民課担当部署と連携をし、児童手当の申請や届出に係る未申請を防ぐことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を目指す。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆児童手当に係る申請・届出の受付及び審査をし、児童を養育している父母等に手当の支払いを行いました。 ◆広報、ホームページへの掲載、リーフレットの配布等により制度の周知、申請方法の案内に努め、未申請の防止を図りました。 ◆現況届の周知を行い、未提出者に対しては個別に現況届提出の催促を行い、未提出による差止めの防止に努めました。		
評価指標	◆支給児童数	令和4年度数値	◆18,532人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆制度の周知や申請方法の案内により未申請の防止を図り、また、現況届の提出催促を行い、未提出による差止めの防止に努めたことにより、適正な児童手当の支給を行うことができ、子育て家庭における経済的な負担の軽減を図ることができました。	◆現況届の提出に係る周知や催促を複数回行うことで提出がありましたが、家庭の事情によって手続きを行うことが難しい場合もあるため、個別のケースにおける事情を考慮し、適切な案内を行っていく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆継続的に広報、ホームページ等で周知し、制度の内容や手続き方法の周知を図ります。 ◆市民課等関係部署と連携し、出生届や住所の変更等の案内を引き続き行います。 ◆令和4年5月31日付で、所得上限限度額を超過し児童手当・特例給付の受給資格を消滅した者に対し、令和5年度の所得が所得上限限度額を下回る見込みとなる場合は、再度申請をするように周知する。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	6 1 子どもの医療費などの助成	令和4年度 事業費決算額	事業名：子どもの医療費等助成事業 決算額：593,037,135円
事業の概要	◆0歳から15歳に達する日以後、最初の3月31日まで（中学校修了前）の子どもの保険診療による医療費などの一部または全部を助成します。 令和5年度より、助成対象を18歳に達する日以後最初の3月31日まで（高校生相当年齢）拡大するとともに、自己負担の月額上限を設定します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、ならしの子育てハンドブック、広報及び市ホームページ等で制度内容や受給券の使用方法等の周知を行い、受給券の交付率の向上を図るとともに、受給券の誤使用の防止に努め、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健向上を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆受給券に係る申請・届出の受付及び審査を実施し、受給券を発行するとともに、通院・入院の医療費等の助成を行いました。 ◆制度の案内や手続き方法について、ならしの子育てハンドブック、広報や市ホームページ等に掲載し、また窓口等で案内チラシを配布しました。		
評価指標	◆子ども医療費助成受給券交付率	令和4年度数値	◆96.17%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆制度の案内や手続き方法について、広報・市ホームページへの掲載、医療機関等におけるポスター掲示等を行ったことで、昨年度に引き続き高い交付率を継続でき、制度の周知及び子どもの保健向上が図られました。	◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費における受給券の誤使用が、前年度に引き続いて今年度においても発生しています。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、ならしの子育てハンドブック、広報及び市ホームページ等で制度内容や受給券の使用方法等の周知を行い、受給券の交付率の向上を図るとともに、受給券の誤使用の防止に努め、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健向上を図ります。 助成対象年齢の拡大に伴い受給券の発行対象者も増加するため、交付率を改正前の数値以下となることがないように、制度改正の周知及び未発行対象者の把握、申請書の提出勧奨に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	6 2 子育てのための施設など利用給付の円滑な実施	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆子育てのための施設など利用給付にあわせて、私立幼稚園の副食費助成対象者に主食費を助成します。その他、給付手続きの負担軽減を図っていきます。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、市ホームページ等を活用しながら、また、施設等の協力を得ながら申請漏れがないよう、給付制度について周知を行います。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆私立幼稚園の副食費免除対象者に対し、主食費についても助成を行いました。		
評価指標	◆件数、支給金額	令和4年度数値	延べ人数 191人 支給金額 84,520円

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆副食費だけでなく主食費も助成することで、保護者の経済的負担の軽減につながっていると考えます。	◆対象となる保護者に対し、制度について漏れがないよう周知できているかが課題と考えています。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、申請漏れがないよう、市ホームページ等の活用に加え、施設等の協力を得ながら給付制度について周知を行います。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	63 実費徴収に係る補足給付を行う事業	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆保護者の世帯所得の状況などを勘案して、特定教育・保育施設などに対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用などの助成を検討します。		
令和4年度 事業目標	◆生活相談課との連携を図るとともに、家庭状況が変更された際の手続きについて、保護者に改めて周知し、漏れがないよう対象者の把握に努めていくとともに、引き続き市ホームページ等を活用して周知に努めてまいります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆生活保護受給世帯等の保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用 行事参加にかかる費用の一部を助成しました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆保護者の経済的負担の軽減につながっていると考えます。	◆保護者からの変更届等こども保育課への申請に基づくため、対象者の把握 時期が遅れたり漏れてしまうことがあるのが課題と考えています。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆生活相談課との連携を強化し、家庭状況が変更された際の手続きについて、漏れがないよう対象者の把握に努めるとともに、引き続き市ホームページ等の活用を通じて制度の周知を行ってまいります。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	64 児童扶養手当の支給	令和4年度 事業費決算額	事業名：児童扶養手当支給事業 決算額：291,695,811円
事業の概要	◆父母の離婚などにより父または母と生計を同じくしていない18歳に達する日以後、最初の3月31日まで（心身に基準以上の障害がある場合は、20歳に達する前日まで）の児童を養育しているひとり親家庭などの父母などに手当を支給します。		
令和4年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給します。 ◆児童扶養手当の諸手続き等の際に家庭の状況について確認を行い、必要に応じてハローワーク等の関係機関の紹介や支援制度を案内し、家庭の状況に応じた支援に努めます。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を、昨年度と同様に3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、世帯に合わせた就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を強化し、支援体制の強化に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆ひとり親家庭への適切な支援のため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当支給に係る書類を受理及び処理し、手当を支給しました。 ◆手当の諸手続きの際に、就労していない場合や収入が少ない場合は、生計維持の方法について確認し、必要に応じて関係機関の紹介や支援制度を案内しました。 ◆就労または求職活動をしていない受給者に対し、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、世帯の状況に合った就労支援を行うとともに、ハローワークと連携を強化し、支援体制の強化に努めました。		
評価指標	◆一部支給停止者数	令和4年度数値	◆6人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆ひとり親家庭自立支援員を中心に就業・生活全般の相談に応じ、自立に向けた指導・助言を行うことで、切れ目のない支援を行うことができました。 ◆就業または求職活動をしていない受給者に対し、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、世帯の状況に合った就労支援を行いました。 ◆システムを導入したことにより家庭全体のかかる問題を可視化し、関係機関と連携しながら積極的に支援を行うことができました。	◆一部支給停止者数について、就労をしているにも関わらず、手続きの遅延により一部支給停止適用除外事由届出書類を提出できなかった者が含まれているため、今後は受給者に対し書類の早期提出にむけた指導も併せて行う必要があります。 ◆相談内容が多岐にわたり、複雑化していることから、個々の家庭状況に応じた関係機関との更なる連携や、生活実態を把握するための面談、訪問等をより強化していきます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給します。 ◆児童扶養手当の諸手続き等の際に家庭の状況について確認を行い、必要に応じてハローワーク等の関係機関の紹介や支援制度を案内し、家庭の状況に応じた支援に努めます。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を、昨年度と同様に3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、世帯に合わせた就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を強化し、支援体制の強化に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	65 ひとり親家庭など医療費などの助成	令和4年度 事業費決算額	事業名：ひとり親家庭等医療費等助成事業 決算額：49,111,207円
事業の概要	◆18歳に達する日以後、最初の3月31日まで（心身に基準以上の障害がある場合は、20歳に達する前日まで）の児童を養育するひとり親家庭などの父母などの保険診療による医療費などの一部または全部を助成します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、広報・市ホームページ・ひとり親家庭支援のしおり等への掲載を行うほか、児童扶養手当等の諸手続きの際に併せて本制度について案内することで、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。 ◆困っていることがあれば関係機関の相談等に繋げ、ひとり親家庭の総合的な支援を行い、自立を促していきます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆受給券交付(更新)申請書の受理及び処理、助成申請書の受理及び処理を行い、ひとり親家庭等の父母等及び児童が医療機関等にかかった際の医療費等の一部または全部を助成しました。 ◆制度の案内や手続き方法について、広報、市ホームページ、ひとり親家庭支援のしおり等への掲載、また窓口等で直接案内するとともに、児童扶養手当現況届の提出時に、周知及び助成申請方法等について相談業務を実施しました。		
評価指標	◆助成者数	令和4年度数値	◆1,537人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆現物給付方式の導入により、受診の利便性向上に繋がりました。 ◆ひとり親家庭等の父母等及び児童が支払った医療費等の一部または全部を助成し、ひとり親家庭等の福祉の増進を図りました。 ◆ひとり親家庭等の父母等への制度の周知を図り、また受給券交付(更新)申請・助成申請等の機会を利用し、就労等困っていることを相談に繋げるなど、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与しました。	◆受診の利便性向上に伴う頻回受診が見受けられることから、適正な受診についての案内が必要です。 ◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費が助成対象外であることの周知が必要です。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、広報・市ホームページ・ひとり親家庭支援のしおり等への掲載を行うほか、児童扶養手当等の諸手続きの際に併せて本制度について案内することで、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。 ◆困っていることがあれば関係機関の相談等に繋げ、ひとり親家庭の総合的な支援を行い、自立を促していきます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	6 6 ひとり親家庭自立支援員による相談の実施	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆母子家庭や父子家庭などのひとり親家庭を対象に、生活一般、就業、児童の養育などについての相談に応じ、自立に向けて必要な支援を行います。 ◆「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、ひとり親家庭、寡婦を対象に、事業資金などの福祉資金の貸付相談を行います。		
令和4年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続き各家庭の相談内容に応じた指導や助言、支援を行うことで、自立につながるよう支援します。 ◆多様化する相談内容に対応するため、関係機関とより迅速な連携に努めます。 ◆ひとり親支援のしおりや資料を活用し、貸付が必要な時期に間に合うように早い段階から制度について知ってもらえるよう、周知に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、生活一般についての相談指導、職業能力向上及び求職活動等の就業についての相談指導、児童の養育費等、その他家庭児童福祉の向上を図るための必要な相談指導やひとり親家庭及び寡婦の自立に必要な支援を行いました。 ◆面談、電話等にてひとり親家庭の父母等の生活や児童の養育に関する相談に応じ、助言及び必要な支援を行いました。また、就労支援や離婚等に関する手続きや支援制度の情報収集に努めるとともに、関係機関と連携してひとり親家庭の自立に向けた相談を行い、相談受付後に係内で情報共有するなど、継続支援のための検討を行いました。 ◆貸付の相談や申請を受理する際に、千葉県と連携を図りながら、ひとり親家庭の経済的自立に結び付くような生活設計を踏まえた返済計画となるよう支援しました。		
評価指標	◆相談件数（就労相談件数） ◆貸付相談件数（貸付件数）	令和4年度数値	◆1,042件（158件） ◆62件（1件）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆自立に向けた支援をするにあたって必要な制度の情報収集に努めるとともに、関係機関との連携を取ることで、個々のひとり親家庭に応じた総合的な支援を行うことができました。 ◆相談受付後に係内で情報共有し、様々な視点から継続支援について検討しました。 ◆貸付制度の利用相談を受けた際に、家庭状況の把握に努め、制度の利用だけでなく、経済的自立に結びつくよう就労支援等を行いながら返済計画の確認を行うことができました。	◆相談内容が多岐にわたるため関係機関と迅速な連携・対応が、より求められています。さらに適切な指導を行うため、常に最新の情報収集に努める必要があります。 ◆資金貸付の申請から支給まで2～3ヶ月程度要するため、相談を受けるタイミングによっては、資金が必要な時期に間に合わないことがあります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続き各家庭の相談内容に応じた指導や助言、支援を行うことで、自立につながるよう支援します。 ◆多様化する相談内容に対応するため、関係機関とより迅速な連携に努めます。 ◆ひとり親支援のしおりや資料を活用し、貸付が必要な時期に間に合うように早い段階から制度について知ってもらえるよう、周知に努めます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	6 7 ひとり親家庭への就労支援	令和4年度 事業費決算額	事業名：ひとり親家庭自立支援事業 決算額：12,874,821円
事業の概要	◆就労に必要な知識や技能の習得による、ひとり親の経済的な自立を支援するため、教育訓練講座の受講費用の一部や、高等職業訓練促進給付金などを支給します。 ◆ひとり親家庭の就労に資するため、ハローワーク船橋と連携し、子育て支援課窓口において出張ハローワークを開催します。		
令和4年度 事業目標	◆ひとり親家庭の経済的な自立を促進するため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者等に対し、安心して資格取得を行うことができるよう支援します。 ◆相談者に対し、資料を活用しながら制度の紹介を行い、制度についての理解と周知を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆児童扶養手当現況届提出時などの機会を利用して就労に向けた資格取得について相談に応じました。また自立支援教育訓練給付金等の制度を案内し、必要に応じてハローワーク等の紹介、千葉県主催の託児付き職業訓練講座の案内を行いました。 ◆高等職業訓練促進給付金等支給事業において、6カ月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる者に対し「訓練促進給付金」を支給しました。また、諸手続きで来庁の際に面接を行い、修業状況や生活面等の確認を行いました。 ◆雇用の安定に向けて職業技能を身に付けるため、指定された教育訓練講座を修了した者に自立支援教育訓練給付金を支給しました。 ◆令和5年1月よりハローワーク船橋と連携し、出張ハローワークを毎月開催することで、ひとり親家庭の就労支援体制を強化しました。		
評価指標	◆申請件数	令和4年度数値	◆15件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆就職に有利となり、また生活の安定に資する資格取得を本事業によって促進しました。 ◆ハローワークと相互連携を行うことで就職による経済的な自立を図りました。	◆特にありません。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ひとり親家庭の経済的な自立を促進するため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者等に対し、安心して資格取得を行うことができるよう支援します。 ◆相談者に対し、資料を活用しながら制度の紹介を行い、制度についての理解と周知を図ります。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	学校教育課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	6 8 就学援助費の支給	令和4年度 事業費決算額	事業名：要保護・準要保護児童援助費及び 特別支援教育就学奨励費事業、 要保護・準要保護生徒援助費及び 特別支援教育就学奨励費事業 決算額：76,551,773円
事業の概要	◆経済的理由によって就学することが困難な児童生徒に対し、就学援助費を支給します。		
令和4年度 事業目標	◆就学援助の一層の周知を図るとともに、認定された者には定められた援助内容を100%支給します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆児童生徒の保護者より申請を受け、当該援助費の支給認定をするために提出された必要書類を審査し、認定された者に学用品費及び給食費等の支給を行いました。 【実績】支給延人数 準要保護737人、要保護89人 ◆新入学学用品費について、入学前支給を行いました。 【実績】令和5年度新小学1年生54,060円、新中学1年生63,000円		
評価指標	◆当該児童・生徒への実施率	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆生活が厳しいため、本当に助かります。
-----------------------	---------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆認定された者に対して、定められた援助内容を100%支給しました。	◆特にありません。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆就学援助の一層の周知を図るとともに、認定された者に定められた援助内容を100%支給します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・防犯安全課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	69 ひとり親家庭への各種利用料などの軽減	令和4年度 事業費決算額	事業名：ファミリー・サポート・センター運営事業 決算額：152,730円
事業の概要	◆ひとり親の就労支援および育児負担の軽減のため、ファミリー・サポート・センターの利用料の一部を助成します。 ◆婚姻歴のないひとり親で、税制上の寡婦(夫)控除を受けていない世帯に対し、控除相当分を所得から減額し保育料を算定します。 ◆母子家庭世帯または父子家庭世帯であって、18歳未満の者を扶養している方および、その者に扶養されている18歳未満の方は、市営駐輪場の年間利用整理手数料を全額免除します。		
令和4年度 事業目標	◆ファミリー・サポート・センターの利用料の一部を助成し、ひとり親の就労支援および育児負担の軽減を図ります。(子育て支援課) ◆なし(地方税法等の改正に伴い婚姻歴の有無や性別にかかわらずひとり親控除が適用されたことから、令和3年9月分からは寡婦(夫)控除のみなし適用は廃止となったため。)(こども保育課) ◆免除については、今後も続けていくと共に、自転車等駐車場の利用の手引きやホームページ等で、わかりやすく周知をしていく。(防犯安全課)		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆ひとり親の就労支援および育児負担の軽減を図ることを目的に、おおむね6か月から小学校6年生までの子どもがいるひとり親家庭等を対象に、ファミリー・サポート・センターの利用料の半額を助成します。(子育て支援課) ◆母子家庭世帯または父子家庭世帯であって、18歳未満の者を扶養している方および、その者に扶養されている18歳未満の方は、市営駐輪場の年間利用整理手数料を全額免除しました。(防犯安全課) ◆自転車等駐車場の利用の手引きやホームページ等で、周知をしました。(防犯安全課)		
評価指標	◆助成利用件数	令和4年度数値	◆225件(子育て支援課)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆駅に近い自転車等駐車場を手数料が掛からず利用できるのは、非常に助かる。(防犯安全課) ◆市外の人でも適用されるのは、とても親切。(防犯安全課)
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆ひとり親の就労支援および育児負担の軽減を図ることができました。(子育て支援課) ◆ホームページ等で広報活動をした結果、市内だけではなく、市外の方もご利用いただけている。(防犯安全課)	◆免除申請方法が郵送または窓口での申請のみとなっているため、幅広いニーズに対応できるように、引き続き研究していかなければならない。(防犯安全課)
令和4年度の事業達成度 (A: 達成 B: 達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C: 達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D: 未実施 E: 休止・廃止)	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ファミリー・サポート・センターの利用料の一部を助成し、ひとり親の就労支援および育児負担の軽減を図ります。(子育て支援課) ◆免除については、申請方法等や制度の内容も含め今後も研究を続けていく。(防犯安全課)
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	70 適応指導教室の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：適応指導教室推進事業 決算額：408,206円
事業の概要	◆不登校児童・生徒の状況に応じた、個別・小集団を通しての指導・支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆学校に行くことができず、家を出ることができない児童生徒を、フレンドあいあいの通級につなげていきます。 ◆個々の児童生徒の状況に応じた個別・小集団活動を計画し、取り組みます。 ◆総合教育センター適応指導教室は、学校と連携し、学校のバックアップをして、学校に行けない児童生徒を社会的自立、学校復帰を目指して支援します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆不登校児童生徒の状況に応じ、個別・集団を通じた指導や支援を行った。（総合教育センター） ◇学習指導 ◇体験的な活動（体育、書道教室、英語教室、パソコン教室、セカンドスクールなど） ◇生活指導 ◇カウンセリング・相談 など		
評価指標	◆不登校児童・生徒の学校復帰率	令和4年度数値	◆48%（見学を含まない）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆自分のペースで学習を進めたり、みんなと運動をしたりすることができました。 ◆話が合う友達とお話するのが楽しかったです。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆適応指導教室フレンドあいあいがあることで、学校に行けずに不登校になっている児童生徒が、自分の居場所を見つけることができた。 ◆多くの児童生徒が学校復帰を果たすなど、社会復帰に向けて挑戦する児童生徒が増えた。 ◆自分自身が好きなことを仲間と共有することができるようになり、お互いが認め合うことでコミュニケーション能力が向上する様子が見られた。	◆適応指導教室フレンドあいあいに来るまでに時間がかかったり、や距離があったりしたことで、通い続けることが難しいと感じる子もいた。 ◆学校復帰を目指していくことを目標にしていきたいが、目標をしては難しい子もいるため、広く捉えて社会復帰という方向性が必要だと感じた。 ◆学校現場にもう少しフレンドあいあいの児童生徒の様子を理解してもらう必要があったように感じた。できれば学校と児童生徒の様子について連携を取れるように、連絡をいただく機会が増えていくことが重要であると感じた。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆不登校になってしまっている児童生徒を一人でも多く適応指導教室フレンドあいあいにつなげていく。 ◆出前適応指導教室を実施し、フレンドあいあいに来たことが無い、また相談したことが無い児童生徒や保護者の相談窓口を市内各地で展開し、一人でも多くの方に適応指導教室を知っていただく。 ◆適応指導教室フレンドあいあいと学校、総合教育センターの教育相談と連携し、一人でも多くの社会復帰や学校復帰を目指していく。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 1 教育相談活動の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：いじめ問題対策事業（指導課） 決算額：358,500円 事業名：教育相談事業（総合教育センター） 決算額：2,770,197円
事業の概要	◆小学校・中学校に児童・生徒教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談活動の充実と、いじめ・不登校などの未然防止と解消に向けて連携を図ります。 ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、訪問相談（学校・家庭）への対応や啓発資料の配布など、教育相談活動の充実を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆教育相談員連絡会にて講師を招請し、研修をするとともに、取り組みについて情報共有し、教育相談体制の充実を図ります。（指導課） ◆いじめ問題対策委員会やいじめ問題対策連絡協議会での提言に基づき、相談体制の整備と各校のいじめ防止基本方針の見直しなど、習志野市のいじめ対策に反映できるようにしていきます。（指導課） ◆学校や公共施設に総合教育センターの教育相談（電話・来所・訪問・いじめメール相談）の周知を進めます。（総合教育センター） ◆学校へ訪問し、各種相談、特に訪問相談について周知します。（総合教育センター） ◆各関係機関との連携を強化します。（総合教育センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆学校に配置している教育相談員連絡会を2回実施した。ヤングケアラーに関する研修を行った。（指導課） ◆いじめ問題対策委員会を2回実施し、いじめ問題対策連絡協議会は7月26日と1月27日に対面により開催した。いじめ問題対策連絡協議会では、第1回はいじめアンケートの報告、匿名相談WEBアプリへの意見をいただいた。第2回目は講師を招聘し、いじめを重大化させないための手立てについて講演を行った。今年度のいじめ問題対策委員会は、重大事態に係る調査を主体となって行った。（指導課） ◆総合教育センターの教育相談パンフレットを市内の学校や公共機関に配付し、周知を行った。（総合教育センター） ◆教育相談訪問を市立各小・中学校へ訪問相談を実施し、情報交換を行った。（総合教育センター） ◆就学前施設や千葉県子どもと親のサポートセンター等と連携し、幅広い教育相談の体制づくりに努めた。（総合教育センター）		
評価指標	◆教育相談員配置校	令和4年度数値	◆15校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆いじめ問題対策委員会では、本市で認知したいじめ事案に対して具体的な助言をいただいた。（指導課） ◆いじめ問題対策連絡協議会では、いじめアンケートからわかる本市の課題について助言をいただき、講演ではいじめの対応について学ぶことができた。（指導課） ◆訪問相談を通して児童生徒の情報交換をすることができ、支援の方向性を見直すことができて良かった。（総合教育センター）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆教育相談員の配置により、児童生徒の心のケアが促され、居場所づくりができた。また、保護者からの相談件数も多く、子育てで悩む保護者への支援を進めることができた。（指導課） ◆いじめ問題対策委員会で、重大事態に係る対応について協議し、法に則った対応について実践することができた。（指導課） ◆各種相談事業を通し、児童生徒や保護者の気持ちが安定し、悩みや不安の解消、不登校の解消などに繋がっていった。（総合教育センター）	◆各学校に教育相談員が配置されることが急務だが、日数を分割する等により今年度は配置校を増やして対応した。（指導課） ◆小学校にも年間の配置日数を増やし、早期から居場所作りを進める必要がある。（指導課） ◆いじめの態様が複雑化し、いじめ問題対策委員会で協議していただく件数が増えている。（指導課） ◆児童生徒の学びの場における共通理解が図られることが重要であると感じた。（総合教育センター） ◆継続的な相談が必要なケースにおいて、両親ともに仕事で時間が取りづらいう家庭が多くあった。（総合教育センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆教育相談員連絡会にて講師を招請し、研修をするとともに、取り組みについて情報共有し、教育相談体制の充実を図る。（指導課） ◆いじめ問題対策委員会やいじめ問題対策連絡協議会での提言に基づき、相談体制の整備と各校のいじめ防止基本方針の見直しなど、習志野市のいじめ対策に反映できるようにしていく。（指導課） ◆総合教育センターにおける相談業務についてより一層の周知を行う。（総合教育センター） ◆訪問相談や各種研修を通して、教育相談の理解促進を行う。（総合教育センター）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 2 共に育ち合う保育の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆より支援の必要性が高い子どもに対しては、職員を加配し、個々に応じた支援を行うことで、集団の中で自己発揮ができるようにするとともに、学級の中で子ども同士が学び合い、育ち合う保育を行います。		
令和4年度 事業目標	◆幼稚園・保育所・こども園等において特別な支援を要する子どもに対し、保育指導委員会において加配の必要性について審議し、適正な職員の配置を行います。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆特別な支援を要する子どもの保育環境や、適正な職員の配置について審議する、保育指導委員会を年4回実施しました。		
評価指標	◆保育指導委員会審議件数	令和4年度数値	◆71件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆支援員が配置されたことで、子どもの安全が確保され、安心して通園（所）することができました。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆適正な加配を行うことにより、特別な支援が必要な子どもが、安全で安定した集団生活をおくり、子ども同士が学び合い、育ちあうことができました。	◆年々、加配を希望する審議件数が増加傾向にあるが、職員配置の必要性については引き続き十分な審議が必要です。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆幼稚園・保育所・こども園等において特別な支援を要する子どもに対し、保育指導委員会において加配の必要性について審議し、適正な職員の配置を行います。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 3 養育支援家庭訪問の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：養育支援家庭訪問事業 決算額：240,000円
事業の概要	◆育児支援が必要な家庭に対し相談員や保健師などが、子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導および支援を家庭訪問により実施します。		
令和4年度 事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。（子育て支援課） ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報共有や母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の早期発見を行います。（子育て支援課） ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制の構築が必要です。（子育て支援課） ◆母子健康手帳交付面接にて、妊娠・出産および養育環境に関する不安がある妊婦の課題を適切に把握できるよう努めます。（健康支援課） ◆特定妊婦への早期支援介入に努め、妊娠継続や出産・養育環境への包括的支援を他機関と連携して行うことで、支援体制を構築し、妊婦の孤立や不安の軽減に努めます。（健康支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、保健師と連携し、月1回以上の訪問を実施し、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行いました。（子育て支援課） ◆対象家庭のアセスメント会議を定期的に行い、母子保健担当課と密な情報共有・支援方針の確認を図ることで、対象家庭の育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図りました。（子育て支援課） ◆母子保健担当課との連携を図ることにより、養育環境に不安のある家庭の妊婦を発掘し、特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れるように努めました。（子育て支援課） ◆妊娠届出時の面接は全数看護職が実施し、支援が必要と判断した場合は、子育て支援課等の関係系機関と連携を図りました。またアセスメントツールの見直し、面接時の対応については複数の職員で確認を行いました。（健康支援課）		
評価指標	◆育児支援家庭訪問対象世帯数 ◆訪問件数	令和4年度数値	◆9世帯 ◆49回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆養育困難な家庭に対し、妊娠中から家庭相談員や保健師が子育て支援サービスや情報提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施することで、安心して出産・育児に臨める環境づくりに務めました。（子育て支援課） ◆臨床心理士との勉強会の実施により、支援方法を検証し、今後の支援方法を検討する上での一助としました。（子育て支援課） ◆子育て支援課等と連携し、妊娠期からの切れ目ない支援を実施しました。（健康支援課）	◆アセスメントツールを随時見直し、アセスメント力の向上に努めます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。（子育て支援課） ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報共有や母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の早期発見を行います。（子育て支援課） ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制の構築が必要です。（子育て支援課） ◆引き続きすべての対象者に妊娠届出時からの切れ目ない支援を実施します。（健康支援課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課・こども保育課・指導課 青少年センター・児童育成課・幼稚園・保育所・こども園 男女共同参画センター・小学校・中学校・総合教育センター 障がい福祉課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 4 虐待の予防、早期発見と対策、防止	令和4年度 事業費決算額	事業名：こどもを守る地域ネットワーク事業 決算額：366,325円 事業名：女性の生き方相談事業 決算額：1,849,161円 事業名：男女共同参画啓発事業 決算額：23,795円 事業名：教育相談事業 決算額：2,770,197円
事業の概要	◆ならしのこどもを守る地域ネットワークの調整機関として、代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、関係機関との連携に努めるとともに、研修などを開催し、ネットワークの充実を図ります。 ◆児童相談所や関係機関との連携に努め、児童の虐待防止対策に努めます。 ◆健康相談や健康診査、訪問指導などの機会に児童虐待の予防および早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行います。 ◆民生委員・児童委員、主任児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動も実施します。 ◆児童への心理的虐待にあたるDVについて、関係機関と連携し、支援に努めます。		
令和4年度 事業目標	◆要保護児童対策地域協議会の機能強化・充実が必要なことから支援の一体性、連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を推進していくために、要保護児童対策地域協議会の充実及び支援拠点の体制整備を検討します。（子育て支援課） ◆母子手帳交付面接の全数実施や「こんにちは赤ちゃん事業」、健康相談・健康診査などの地区保健活動を通して、関係機関と連携し、虐待の未然防止と早期発見に努めます。（健康支援課） ◆施設に虐待に関する研修を実施することで管理職としての心構えや対応についての理解を高め、有事の際には速やかな対応ができるようにします。また、児童虐待防止に伴う通告及び安全確認への対応指針をもとに長期欠席児や家庭児童相談係・児童相談所のケース家庭に関して注視し、有事には速やかな対応ができるようにします。（こども保育課） ◆生徒指導訪問にて各学校の実態を直接聞き取り、あわせて基本的対応について周知を図ります。（指導課） ◆虐待に関する児童生徒アンケートを見直し、ヤングケアラーについても早期発見につながる項目を設けていきます。（指導課） ◆青少年の健全育成のための啓発活動及び各関係機関との連携強化に努めます。（青少年センター） ◆小学校や子育て支援課との連携を強化し、児童並びに保護者にとって安全安心な放課後児童会を運営できるよう努めてまいります。（児童育成課） ◆各機関と連携をとり、相談内容に虐待が疑われる場合は、迅速に対応します。（総合教育センター） ◆虐待の早期発見も含め、更なる関係機関との連携を図るとともに、障害福祉サービス事業所に対する虐待防止法の周知を行う。（障がい福祉課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク代表者会議(2回)、実務者会議(6回)、個別支援会議（必要に応じて）を開催し、関係機関との情報共有・連携強化を図りました。また引き続き母子保健との連携に努め、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めました。（子育て支援課） ◆「児童虐待の防止のための通告及び安全確認への対応指針」について、本市の新規採用職員を対象に研修を実施しました。（子育て支援課） ◆「こんにちは赤ちゃん事業」や健康相談・健康診査などの母子保健事業を通して、全数把握を徹底しました。また、妊娠期からの虐待に関するハイリスク者の把握と継続した個別支援の実施や関係機関と連携し、虐待の防止・早期発見に努めました。（健康支援課） ◆受け入れ時の丁寧な視診とともに、長期欠席時には施設側から連絡を入れ子どもの様子を確認したり等、虐待の早期発見・防止に努めました。（こども保育課） ◆小学校、中学校とともに年3回の生活アンケートを実施し、虐待の早期発見に努めることができた。（指導課） ◆相談内容に虐待が疑われた事案は、各関係機関と連携をとり、迅速に対応した。（総合教育センター） ◆「青少年センター連絡会」において、各中学校区の青少年補導委員（連絡員）に対し、補導状況及び不審者情報の情報共有をしました。（青少年センター） ◆習志野市中学校区青少年健全育成連絡協議会代表者会議において、各中学校区の活動状況について情報共有をすることができました。（青少年センター） ◆小学校や子育て支援課との連携を強化し、児童並びに保護者にとって安全安心な放課後児童会を運営できるよう努めました。（児童育成課） ◆女性の生き方相談を年60回実施。子どもをもつDV被害者については、子育て支援課や関係機関と連携をとり、支援にあたった。（男女共同参画センター） ◆男女共同参画社会づくり広報紙「きらきら」第55号では、若年層の性暴力予防月間の周知を目的として、性暴力被害に遭ったときの相談窓口の周知を行った。また、毎号、女性の生き方相談について掲載し、市内保育所、こども園、幼稚園、市内小学校へ配布した。（男女共同参画センター） ◆女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～11月25日）について、ホームページや広報紙にて周知した。また、市庁舎階段を女性に対する暴力根絶の意思を示すパープルリボンで装飾するほか、男女共同参画推進団体等によるDVに関する掲示を行った。（男女共同参画センター） ◆子育て支援コンシェルジュ認定講座にて研修を行い、DVの基礎及び相談窓口の周知を行った。（男女共同参画センター） ◆関係機関と連携を図り、要保護児童の情報把握に努めた。（障がい福祉課）		
評価指標	◆相談件数 ◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率 ◆女性の生き方相談対応件数	令和4年度数値	◆17,738件（子育て支援課） ◆89.0%（健康支援課） ◆220件（男女共同参画センター）

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆母子手帳交付時に「何かあった時に相談できる担当者や相談先がわかってよかった」やこんにちはあかちゃん事業では「あかちゃんや育児のことだけではなく、自分の精神的な部分も話を聞いてもらえてよかった」等の意見があります。（健康支援課） ◆学校からの相談をもとに、子育て支援課と情報共有することが以前よりも増えた。（指導課） ◆各関係機関と情報を共有することで、素早い対応を取ることができた。（総合教育センター） ◆「青少年センター連絡会」では、青少年センターや各中学校区の情報が共有できた。（青少年センター） ◆「女性の生き方相談」利用者アンケートでは、「親身になって話を聞いてくれた」「いろいろな気づきを得られた」などの意見があった。（男女共同参画センター） ◆通所している福祉サービス事業所から障がい福祉課への情報提供はなかった。子育て支援課からの要請で被虐待児の見守りを行っている。虐待を発見した場合はすぐに通報を行う。（障がい福祉課）
-------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆ならしのこどもを守る地域ネットワークの調整機関として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、関係機関との連携に努めるとともに、研修等を開催し、ネットワークの充実を図りました。（子育て支援課） ◆児童相談所や関係機関との連携に努め、児童の虐待防止対策に努めました。（子育て支援課） ◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行いました。（子育て支援課） ◆民生児童委員、主任児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動を実施しました。（子育て支援課） ◆児童への心理的虐待にあたるDV（ドメスティック・バイオレンス）について関係機関と連携し、支援に努めました。（子育て支援課） ◆母子手帳交付面接では、看護職が全数把握し、特定妊婦の早期把握に努めました。また、転入出者に対しては、状況の把握や転出先でも継続した支援が得られるよう努めました。（健康支援課） ◆「こんにちは赤ちゃん事業」では、全戸訪問を目指し、訪問できない場合も状況を把握しました。（健康支援課） ◆健康相談・健康診査の未来所者に対しては、積極的な勧奨と個別支援を実施しました。（健康支援課） ◆母子保健事業において、虐待予防の観点を意識することで、早期に関係機関と連携することができました。（健康支援課） ◆関係諸機関と速やかに連携することで、子どもの安心安全を守り、虐待の未然防止に努めました。（こども保育課） ◆学校・指導課・子育て支援課で情報共有する回数が増えた。ケースによっては会議を開き、対応について協議をすることができた。（指導課） ◆子育て支援課や指導課と連携を図り、対象の児童生徒について適切な対応を取ることができた。（総合教育センター） ◆「青少年センター連絡会」での情報共有を生かし、補導活動ができました。（青少年センター） ◆「女性の生き方相談」で夫婦や子育ての悩みを軽減し、虐待の予防に努めた。（男女共同参画センター） ◆子育て支援課からの被虐待時に対する調査協力要請があった場合、要保護児童が関わる障害福祉サービス事業所に対し、いつでも事実確認等対応可能な準備をとっている。（障がい福祉課）	◆引き続き、母子保健事業において適切な時期での全数把握を徹底する必要があります。また、虐待の防止および早期発見を意識しながら、支援を行う必要があります。（健康支援課） ◆虐待等に関する研修を取り入れ、管理職としてのさらなる学びが必要と感じます。（こども保育課） ◆学校での児童虐待への対応に課題が見られた。発見した時の対応、児童相談所との連携、組織的対応について、校内で研修を図る必要がある。（指導課） ◆相談中に虐待（ネグレクト）と相談担当者が気が付いても、相談に寄り添うという業務の性質上、その場で保護者を指摘することが難しく、他機関との連携を取ることが重要になる。（総合教育センター） ◆「青少年センター連絡会」での報告や情報を生かし、各中学校区にて補導活動に生かすとともに、日頃からの連携体制を担当者が変更になったのちも継続していく必要があります。（青少年センター） ◆DVに関する相談件数の割合は上昇傾向にある。しかしながら、DVは家庭内の問題であるという認識がまだ強く、相談窓口を知らない人も多いと思われる。（男女共同参画センター） ◆保護者等から事業所における虐待通報が入ることもあるため、事業所に対しては、基幹相談支援センター主催の研修等を実施し、引き続き質の向上を求めていく。（障がい福祉課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆要保護児童対策地域協議会の機能強化・充実が必要なことから支援の一体性、連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を推進していくために、要保護児童対策地域協議会の充実及び支援拠点の体制整備を検討します。（子育て支援課） ◆母子手帳交付面接の全数実施や「出産・子育て応援事業」、「こんにちは赤ちゃん事業」、健康相談・健康診査などの地区保健活動を通して、関係機関と連携し、虐待の未然防止と早期発見に努めます。（健康支援課） ◆施設に虐待に関する研修を実施することで管理職としての心構えや対応についての理解を高め、有事の際には速やかな対応ができるようにします。また、児童虐待防止に伴う通告及び安全確認への対応指針をもとに長期欠席児や家庭児童相談係・児童相談所のケース家庭に関して注視し、有事には速やかな対応ができるようにします。（こども保育課） ◆生徒指導訪問にて各学校の実態を直接聞き取り、あわせて基本的対応について周知を図る。（指導課） ◆虐待に関する児童生徒アンケートを見直し、ヤングケアラーについても早期発見につながる項目を設けていく。（指導課） ◆虐待が疑われる場合においては、各関係機関との連携を迅速かつ適切に取り、児童生徒の安全確保のための対応を行う。（総合教育センター） ◆「青少年センター連絡会」にて、青少年センターと各中学校区からの情報共有を図るとともに、関係各所への迅速な情報提供をします。（青少年センター） ◆小学校や子育て支援課との連携を強化し、児童並びに保護者にとって安全安心な放課後児童会を運営できるよう努めます。（児童育成課） ◆「女性の生き方相談」の年60回の相談枠を維持するとともに、DV・虐待等の相談ができる窓口の周知に努める。（男女共同参画センター） ◆更なる関係機関との連携を図り、虐待の予防や早期発見に努める。基幹相談支援センター主催の研修を実施し、障害福祉サービス事業所に対する虐待防止法の周知を行う。（障がい福祉課）
------------------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	ひまわり発達相談センター・指導課・小学校 中学校・子育て支援課・こども保育課・幼稚園 保育所・こども園・あじさい療育支援センター 総合教育センター・他関係各課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 5 個別の状況に応じた継続的な発達支援の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：教育相談事業（総合教育センター） 決算額：2,770,197円
事業の概要	◆成長・発達に関する総合的な相談を一人ひとりのニーズに応じて進めていくために、保護者の気持ちを受けとめることを大切に行います。 子どもの成長・発達の実際を、保護者とともに理解し、よりよい関係性および個々の力を育むために、適切な指導および専門的な観点から支援を行います。 ◆個別の教育支援計画に引き継がれる乳幼児個別支援計画を保護者とともに作成し、個に応じた配慮のもと、よりよい関係性を育むために、適切な支援を実施します。 支援者間の確実な引継ぎおよび関係機関との密な連携を図り、乳幼児期から成人に至るまで切れ目のない支援を実施するために、ライフサポートファイルの活用を推進します。 ◆幼稚園・保育所（園）・こども園などに出向き、生活場面における子どもの育ちおよび子ども同士の育ち合いに寄り添う保育者と保護者を支援する巡回相談を行います。 ◆発達支援に関する研修を充実・強化し、子どもの育ちと子ども同士の育ち合いを支援できる職員の資質向上を図ります。 ◆子どもの育ちや子育てなどに心配のある保護者同士が思いを分かち合い、支え合える関係性でつながれるよう仲間づくりの場をつくります。		
令和4年度 事業目標	◆当センターにおける相談については保護者の想いに寄り添いながら、保護者の安心感につながる対応に努めてまいります。また、就学前児の指導の方向性について保護者との共通理解を深めながら、個々の子どもの課題に合わせた指導を行うため、個別指導計画を作成し指導の充実を目指していきます。ライフサポートファイルと一体的に運用し、より情報の活用を図っていきます。（ひまわり発達相談センター） ◆巡回相談や発達支援研修（講師派遣型）では、各施設でニーズのある支援内容に特化し、効果的に実施できるように努めていきます。また、民間施設の増加に伴う対応については、支援者に対する研修等の周知を図っていきます。（ひまわり発達相談センター） ◆個別支援計画に基づく継続的な支援体制の強化のために、こども保育課、指導課と連携し、効果的な運用を推進していきます。ライフサポートファイルの周知及び活用を推進します。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくり・学習の機会については、感染症対策を実施しながら同年齢児と保護者のつどいを継続的にを行い、保護者同士がつながりを持ち共感し合える仲間づくりを目指していきます。なお、ライフサポートファイルの活用を促進するための学習会も継続して実施してまいります。（ひまわり発達相談センター） ◆特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実を図ります。（指導課） ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。（子育て支援課） ◆特別な支援を要する子どもや、集団生活で困り感を感じている子どもが在籍するクラスに、外部の専門家（臨床心理士等）による助言が受けられる、学級運営支援事業を実施する。（こども保育課） ◆当センターにおける特別支援就学相談については、保護者の不安や悩みに寄り添いながら、子どもの適切な学習環境を保護者と一緒に考え、他機関と連携を図りながら支援を進めていきます。（総合教育センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容及びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆就学前児童の指導では個別指導計画を作成し保護者との共通理解を図りながら行いました。また、義務教育期の子どもの相談では積極的に知能検査を実施し、子どもの状況を捉えながら、保護者同意のもと学校の担任等との情報共有や支援の方向性、個別の教育支援計画等の協議を行いました。（ひまわり発達相談センター） ◆巡回相談では、各施設に職員が訪問し、幼稚園・こども園・保育所等の職員とともにこどもの生活の場での支援等についてともに考え、支援の方向性を検討しました。状況によっては、実施後も各機関での対応状況を確認し、互いに役割について再確認し連携を継続しました。また、当センターへの来所相談が難しい保護者に対しては、巡回相談実施後も保護者からの相談に継続して対応しました。（ひまわり発達相談センター） ◆発達支援研修（講師派遣型）では、私立の保育園等の職員に対しその施設で抱える課題を中心に、所属園で支援する力を強めることを目的に、当センターの職員が講師として施設に出向き研修を行いました。（ひまわり発達相談センター） ◆2月～3月にかけて、在籍園と就学先で5歳児の個別支援計画の引継ぎを行っていただきました。引継ぎに不慣れな園に対しては、引継ぎにおける資料の確認、引継ぎ内容等の情報共有や助言を行いました。また、担当課である指導課やこども保育課と連携し、引継ぎにおける各学校・在籍園の動き等、進展状況の確認を行いました。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくりでは、同年齢の児と保護者が集って情報交換できる場を3回、学習の機会については、外部講師による講座を2回開催しました。（ひまわり発達相談センター） ◆学校訪問や合同訪問、校長会議等を通じて、特別支援教育コーディネーターや管理職に、校内支援体制の工夫や個別の指導計画の活用等について助言した（指導課） ◆適正な就学に向けて、教育支援委員会を6回開催し、学びの場や一人一人に応じた指導・支援についての審議を行った。（指導課） ◆ひまわり発達相談センターや総合教育センターをはじめとする関係機関と連携し、家庭のニーズに応じた支援を行いました。（子育て支援課） ◆こどもセンター等に訪問し相談を受けるアウトリーチ型相談支援事業を実施し様々な相談に応じました。（子育て支援課） ◆個別に支援を必要とする子どもが在籍する学級が、共に育つ教育・保育を推進するため、臨床心理士と指導主事等の計画的な訪問により、指導助言が受けられる学級運営支援事業を実施しました。（こども保育課） ◆総合センターにおける特別支援教育相談では、保護者の不安や悩みに寄り添いながら、子どもの適切な学習環境を保護者と一緒に考え、他機関と連携を図りながら支援を進めた。（総合教育センター） ◆小学校入学に際しての説明会の開催や、就学前施設の訪問を通し、特別な支援が必要な幼児をもつ保護者の就学相談を行った。（総合教育センター）
--------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

評価指標	◆個別支援計画作成件数 ◆個別教育支援計画作成件数 ◆特別支援就学相談電話件数 ◆学級運営支援事業実施回数	令和4年度数値	◆175件（ひまわり発達相談センター） ◆967件（指導課） ◆432件（総合教育センター） ◆25回（こども保育課）
------	--	---------	--

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆個別指導計画では、「ライフサポートファイルにつづり、毎月の様子と併せて確認できる」等の意見が聞かれました。（ひまわり発達相談センター） ◆巡回相談では「個別に合った支援方法を提案していただけることはありがたい」「現在の支援方法が間違っていないか、支援の方向性を迷った時に相談できる機会があるのは助かる」等の意見が聞かれました。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくり・学習の機会に参加された保護者からは、「初めて同じ悩みを持つ人に出会えた」、「子育ての出来事に初めて共感しあうことができた」等の意見が聞かれました。（ひまわり発達相談センター） ◆就学について、幼稚園や保育所等と学区の小学校との連携を図るために、説明会や連絡会等が実施できるとよい。（指導課） ◆専門的な視点から、客観的に理論立てて話を聞くことができ、特別な支援を必要とする子どもへの効果的な対応や、具体的な支援の仕方について指導、助言を得ることができた。（こども保育課） ◆特別な支援を受けるにあたり、子供にどのように接したら良いのか分かり、不安が解消された。（総合教育センター） ◆事前に情報を教えてもらったことで、安心して就学の準備が進められる。（総合教育センター）
-------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆就学前児童の指導では、保護者の希望や要望を伺いながら個別指導計画を作成したことで、保護者にとっても指導内容がわかりやすく、児童への理解につながりました。また、義務教育期の子どもの相談については、保護者同意のもと、学校訪問を行い、支援の手立て等の共通理解を図ることができました。（ひまわり発達相談センター） ◆巡回相談については、就学前施設との連携が深まり、発達支援に対する意識や共通認識が図りやすくなっている園が増えました。（ひまわり発達相談センター） ◆個別支援計画については、私立園や市外幼稚園等にも事業内容にご賛同いただき、理解が深まることで日々関わる支援者の協力体制や意識に良い変化がみられるようになりました。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくり・学習の機会では、同年代の子を持つ保護者同士で話す場があり、悩みや考えを共有することができました。「ほめるコツ」では日々の子育ての気づきにつなげることができました。（ひまわり発達相談センター） ◆就学前の保護者説明会については、新たに年中児の保護者を対象とした保護者説明会を実施した。また、就学前の保護者説明会や教育支援委員会においては、ひまわり発達相談センターとの連携を図り、幼児の指導の経過や在籍園と保護者との教育相談等の情報を共有した。（指導課） ◆子どもの発達に関する悩みについて、家庭児童相談において、面接、訪問などにより対応を行いました。また、関係機関と連携し、支援が必要な子どもについて、保護者に対して医療情報やひまわり発達支援センター、総合教育センターの利用についての情報提供を行ったほか、安心して利用につながる支援を行いました。（子育て支援課） ◆直接保育現場を観察し助言を行うので、各々の保育現場に即した助言をすることができ、より良い支援の方法について施設内で共通理解が図れた。（こども保育課） ◆アウトリーチ型相談支援事業の相談の中に子どもの発達に関する相談も含まれており、適宜関係機関と連携しました。（子育て支援課） ◆就学前に事前情報を伝えることができ、適正就学に向けて保護者の理解を得ることができた。（総合教育センター） ◆子どもの発達に関して保護者の理解を得られ、どのように接することがよいのかを理解していただくことができた。（総合教育センター）	◆就学前児童の指導では、引き続き個別指導計画をライフサポートファイルと一体的に運用しながら、保護者との共通理解に努めていきます。（ひまわり発達相談センター） ◆私立保育園の増加に伴い、無認可園や小規模園のサポートも必要な状況が増えています。管理職の先生以外にも担任レベルでの先生方との連携の方法も考えていく必要があります。（ひまわり発達相談センター） ◆個別支援計画の引継ぎ実施状況を確認し、協議形態や引継ぎ体制について検討の必要性があるかどうか、所管機関として関係機関に確認していく必要があります。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくり・学習の機会では、保護者同士が語り合う場につながるように今後も工夫が必要です。（ひまわり発達相談センター） ◆適正就学に向けて、就学相談窓口として教育委員会がこれまで以上に保護者や関係機関との連携を図り、指導や支援の在り方や教育支援委員会へつなげる必要がある。さらに、就学先の決定後も教育的ニーズに対応した指導や支援が行われているか継続的に相談・助言を行っていく必要もある。（指導課） ◆特別支援教育に係る研修については、学校における特別支援支援教育の推進のための核となる特別支援教育コーディネーターを計画的に育成するとともに、特別支援教育への理解啓発のため通常学級担任向けの研修にも力を入れていく必要がある。（指導課） ◆時間や人員の関係で、臨床心理士と学級担任が直接話ができる時間を確保するのが難しい。より良い保育につなげるために、担任の思いを十分に受け止め、助言ができる時間を確保することが必要。（こども保育課） ◆特別支援教育を受けることに強い抵抗感をもつ保護者への理解については、関係機関との連携が必要になる。（総合教育センター） ◆学齢期に行う特別支援教育の共通理解を関係機関と行っていく必要がある。（総合教育センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆当センターにおける相談については保護者の想いに寄り添いながら、保護者の安心感につながる対応に努めてまいります。また、就学前児の指導の方向性について保護者との共通理解を深めながら、個々の子どもの課題に合わせた指導を行うため、個別指導計画を作成し指導の充実を目指していきます。ライフサポートファイルと一体的に運用し、より情報の活用を図っていきます。（ひまわり発達相談センター） ◆巡回相談や発達支援研修（講師派遣型）では、各施設からのご要望に沿う内容で実施を図っていきます。また加えて、当センターの体制や役割を地域の方々に理解・啓発する機会としても活用していきます。（ひまわり発達相談センター） ◆個別支援計画に基づく継続的な支援体制の強化、福祉と教育の連携を行い、引き続き効果的な運用を図っていきます。同時に、ライフサポートファイルの周知及び具体的な活用について保護者並びに関係機関に対して推進していきます。（ひまわり発達相談センター） ◆保護者の仲間づくり・学習の機会では、同年齢児と保護者のつどいを継続的に行い、保護者同士がつながりをもち共感し合える仲間づくりを目指していきます。なお、ライフサポートファイルの活用を促進するための学習会も継続して実施します。（ひまわり発達相談センター） ◆特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実を図る。（指導課） ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。（子育て支援課） ◆特別な支援を要する子どもや、集団生活で困り感を感じている子どもが在籍するクラスに、外部の専門家（臨床心理士等）による助言が受けられる、学級運営支援事業を実施する。（こども保育課） ◆総合センターにおける特別支援教育相談において、他機関と連携を図りながら適切な支援を進めていく。（総合教育センター） ◆小学校入学に際しての説明会の開催や、就学前施設の訪問を通し、特別な支援が必要な幼児をもつ保護者が就学相談しやすい環境を作っていく。（総合教育センター）
------------------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	あじさい療育支援センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 6 療育と家庭支援、相談支援の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆知的または発達に障がいや課題のある児童に、基本的な生活習慣の確立と社会生活への適応性を高めるため、保護者と連携を図りながら療育を行います。 ◆肢体などに障がいや課題のある児童に、療育や肢体などの運動機能支援・生活動作支援を行い、児童とその家族を支援します。 ◆民間事業者と連携し、支援の充実を図っていきます。 ◆日常生活全般に関する相談や情報提供、サービス等利用計画の作成および、継続的なモニタリングによる相談支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆保護者の思いに寄り添いながら、個別指導計画に基づいた療育を実施します。 ◆相談支援専門員による相談支援の充実を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆個別指導計画を作成し、保護者の同意を得た上で、計画に基づいた小集団での療育を実施しました。 中期と後期には保護者面談を実施し、お子さまの成長や発達について確認しました。 ◆相談支援専門員がアセスメントを行い、保護者のニーズを把握した上で、サービス等利用計画書を作成し、受給者証の交付につなげました。 ◆相談支援専門員が児童状況を確認するために民間事業所を訪問することで、連携を図ることができ、支援の充実につながりました。		
評価指標	◆個別指導計画作成数 ◆障害児支援利用計画作成	令和4年度数値	◆32名 ◆130名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆あじさい療育支援センターが我が子にとって大切な場所になったと感じている。
-----------------------	---------------------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆保護者がお子さまの成長を実感し、喜ぶ（笑顔になる）ことが増えました。 ◆保護者面談等を通じて共通理解を図りながら、個別指導計画に基づいた療育を行うことができました。	◆保護者のニーズが多様化してきているため、保護者の要望や願いをくみ取りながら、日々の療育や行事等の実施方法を検討し、実践していくこと。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆保護者の思いに寄り添いながら個別指導計画に基づいた療育を実践し、面談等を通じて共通理解を図ります。 ◆相談支援専門員による相談支援の充実を図ります。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ

基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	ひまわり発達相談センター・障がい福祉課 こども保育課・指導課・幼稚園・保育所 こども園・小学校・中学校 あじさい療育支援センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	77 発達支援施策の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆関係機関との連携に努め、ソーシャルインクルージョンの理念に基づき、発達支援のネットワークや取り組みの充実を図るとともに、市民協働で発達支援施策の推進を図っていきます。		
令和4年度 事業目標	◆ライフサポートファイルの周知・活用を推進します。子ども・子育て支援事業計画においても継続して発達支援施策の実施に取り組むとともに、巡回相談や研修等の機会を活用し、関係機関とのより一層の連携強化を図ってまいります。（ひまわり発達相談センター） ◆発達支援体制の充実の為、引き続き各関係部署、関係機関とのより一層の連携を図っていきます。（障がい福祉課） ◆聞き取り調査の際のライフサポートファイル活用を進めていきます。（障がい福祉課） ◆習志野市発達支援サポートネットワーク会議や市民協働こども発達支援推進協議会において各関係機関と連携を図り、発達に課題のある子どもを支援する体制の充実を図る。（こども保育課） ◆特別支援教育に関して、特別支援教育コーディネーターを中心として、学校全体としての専門性の向上が図られるように、学校と関係機関、教育委員会が連携を深めてサポートする体制を充実させます。（指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆市民協働こども発達支援推進協議会及び発達支援サポートネットワーク会議にて、乳幼児個別支援計画やライフサポートファイルの運用等について意見を交わし、次年度の運用につなげました。（ひまわり発達相談センター） ◆広報7月15日号に特集「みんながともに地域で育つ」を掲載しました。協議会委員の有志（きらっといっぽの会）と協働でホームページ「子育て「ショートあるある」」を作成し、子育ての体験談とともに相談機関に関する情報を掲載しました。（ひまわり発達相談センター） ◆保育士、幼稚園教諭、児童発達支援事業所職員等を対象に、発達支援に関する基礎的な知識の習得をめざし、発達支援基礎研修を実施しました。（ひまわり発達相談センター） ◆子どもの所属機関や支援事業所等との連携に努めました。（ひまわり発達相談センター） ◆ひまわり発達相談センターが所管している発達支援サポートネットワーク会議及びひまわり発達相談センター、あじさい療育支援センター、こども保育課、障がい福祉課で構成される4課会議へ職員が出席し、各関係部署、関係機関との連携を図り、発達支援施策に向けた検討を行いました。（障がい福祉課） ◆ライフサポートファイルを配架し、希望者に配付しました。（障がい福祉課） ◆聞き取り調査の際にライフサポートファイルを活用しました。（障がい福祉課） ◆障害児通所支援事業所へライフサポートファイルの活用を促進を目的とした通知を送付しました。（障がい福祉課） ◆習志野市発達支援サポートネットワーク会議に参加し、発達に課題のある子どもの支援の在り方や、関係部署の現状や課題などについて協議を行いました。（こども保育課） ◆学校訪問を通じて、管理職や特別支援教育コーディネーターに個別の指導計画を活用した指導や教育相談の取り組みについて助言した。（指導課） ◆ひまわり発達相談センター、総合教育センター、指導課による発達連携支援会議を4回開催し、情報共有と連携を図った。（指導課）		
評価指標	◆相談・指導利用者数 ◆個別の指導計画作成数 ◆習志野市発達支援サポートネットワーク 会議参加回数	令和4年度数値	◆1,173名（障がい福祉課） ◆967件（指導課） ◆3回（こども保育課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆発達支援基礎研修の参加者からは、「園内で今回の研修について共有していきたい」、「支援している中で気が付かないこともある。今回研修に参加し、ためになる事が多かった」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター） ◆障害児通所支援申請時にライフサポートファイルの有無とその内容確認を行ったことで、生育状況等の聞き取り時間の短縮につながった。（障がい福祉課） ◆障害児通所支援事業所にライフサポートファイルの有無を確認してもらうことで、周知を図った。（障がい福祉課） ◆関係機関が、各々が抱える現状を理解し、発達に課題のある子どもの支援を推進していく必要について確認できる機会があることは貴重な時間だと思います。（こども保育課） ◆特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の整備や、外部の専門機関と連携及び専門家との協働が図れるとよい。（指導課）
-----------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆協議会委員の有志（きらっといっぽの会）と協働でホームページ「子育て“ショートあるある”」を作成し、保護者に寄り添った情報を掲載しました。（ひまわり発達相談センター） ◆発達支援基礎研修では、発達支援に関する基礎的な知識の習得につなげました。（ひまわり発達相談センター） ◆こども保育課・ひまわり発達相談センター・あじさい療育支援センター・障がい福祉課での会議、発達支援サポートネットワーク会議、障がい者地域共生協議会専門部会などにおいて、関係機関と連携を図り、発達支援施策や事業展開につなげることができました。（障がい福祉課） ◆発達に心配のある子どもたちの現状や支援、啓発等関係機関の実際の声を聴くことで、現状に対する理解が深まりました。（こども保育課） ◆会議や教育相談を通じて、関係機関で情報共有を図り、それぞれの現状や課題、教育相談の進捗状況を把握することで、適切な支援や就学へとつなげた。あわせて、支援員の配置等、環境面の整備にもつなげた。（指導課）	◆ライフサポートファイルの活用方法を関係機関と連携し検討していきます。（ひまわり発達相談センター） ◆継続的にライフサポートファイルの活用を行い、聴き取り調査の際、持参して頂ける様促していく必要がある。（障がい福祉課） ◆発達に心配のある子どもやその保護者が、地域で安全・安心な生活が営めるように、それぞれの関係機関が取り組みを考え工夫するとともに連携できる体制を整えていく必要があると思います。（こども保育課） ◆関係機関との連携において、定期的に情報教諭を図る機会をもち、適切な支援や就学相談へとつなげていく。（指導課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ライフサポートファイルの周知・活用を推進します。引き続き発達支援施策に取り組むとともに、巡回相談や研修等の機会を活用し、関係機関とのより一層の連携強化を図ります。（ひまわり発達相談センター） ◆発達支援体制の充実の為、引き続き各関係部署、関係機関とのより一層の連携を図っていきます。（障がい福祉課） ◆ライフサポートファイルの周知方法を検討していく。（障がい福祉課） ◆習志野市発達支援サポートネットワーク会議や市民協働こども発達支援推進協議会において各関係機関の取り組みを知り、また連携を図り、発達に心配のある子どもを支援する体制の充実を図っていきます。（こども保育課） ◆特別支援教育に関して、特別支援教育コーディネーターを中心となつて、学校全体として専門性の向上が図れるように、学校や関係機関、教育委員会が連携を深めてサポートする体制を充実させる。あわせて、特別支援教育の理解啓発をに向けて通常学級担任向けの研修会を実施していく。（指導課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	生活相談課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	7 8 子どもの学習・生活支援事業	令和4年度 事業費決算額	事業名：子どもの学習・生活支援事業 決算額：10,770,251円
事業の概要	◆生活保護世帯や生活困窮世帯の中学生を対象に学習支援を行い、高校進学率の向上を図ります。また、学習支援のみならず生活習慣・育成環境の改善に関する支援も強化します。 令和3年度からは、高校生にも選任の講師を配置し、高校進学後も継続した支援を行います。 ◆高校中退防止のため、中学校在学時に学習支援事業を利用していた高校生世代の生徒に対し、家庭や学校以外の居場所対策として教室を開放し学習の支援をします。また、就労体験や進路選択に関する相談対応や支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆中学3年生の登録生徒の高校進学率100%を達成します。 ◆登録生徒の出席率70%を達成します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による休講はなく、1生徒あたり週1回だった中学生の受講回数についても、令和2年度以前の受講回数である週2回に戻しました。また、希望する生徒に対して、オンライン講習を実施しました。 登録中学生 60名 登録高校生 60名 通常講習 中学生 週2回（毎週火曜日・金曜日 各2時間）計88回 高校生 週1回（毎週水曜日 2時間）計40回 特別講習 夏休み、冬休み 計20回		
評価指標	◆学習支援登録生徒の出席率 ◆学習支援登録生徒の高校進学率	令和4年度数値	◆61.7% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆元教員の講師もいるため、分からない点について詳しく解説してもらえる等の講師に関する好意的な意見が多くありました。 ◆会場から家が遠く部活等がある生徒は通いにくいという意見がありました。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆高校進学率100%を達成しました。 ◆講習内で感染者は出ず、休講なく令和4年度を終えました。	◆新型コロナウイルス感染症の影響から休みにになっていた習い事や部活動が再開し始めた影響から、出席率は61.7%と目標に達しなかった。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆中学3年生の登録生徒の高校進学率100%を達成する。 ◆登録生徒の出席率70%を達成する。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	79 ヤングケアラーへの支援	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆令和5年度より、広報・啓発活動により関係機関と連携してヤングケアラーの把握を促進するとともに、その家庭を訪問して家事・育児等の支援を行う子育て世帯訪問支援事業を実施して福祉サービス等につなげ、対象世帯の不安や負担を軽減します。		
令和4年度 事業目標	—		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	—		
評価指標		令和4年度数値	

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	—
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
—	—
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆ヤングケアラーの認識を高めてもらうための研修の開催及びリーフレットの配布などを行います。 ◆家庭が抱える不安や悩みを直接聞いた上で、家事・育児等の支援を実施することにより家庭や養育環境を整えていくことを目的に、ヤングケアラー等がいる家庭を訪問する「子育て世帯訪問支援事業」を実施します。 ◆市民協働型委託事業として「つどいの広場」を実施し、ヤングケアラー同士の交流と情報交換を行うとともに、支援者とヤングケアラーがつながることで、支援体制の強化を目指します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	80 補装具・日常生活用具の給付	令和4年度 事業費決算額	事業名：補装具・日常生活用具の給付事業 決算額：66,845,025円
事業の概要	◆障がいを補うために、補聴器、装具、車椅子などの補装具費を支給や、日常生活をサポートするために手すり、スロープ、入浴補助用具などを給付します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き保護者の相談に応じながら必要な補装具、日常生活用具を支給し、対象児の生活の質を向上することが出来る様に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆障害者手帳の交付や相談の際に必要な制度に関する説明を行いました。 ◆状況に応じて医師や補装具の専門職に意見等を聞くことにより、相談内容に応じた適切な補装具を速やかに支給できるように努めました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆丁寧な説明や専門職のアドバイスにより、必要とする補装具の支給に繋がった。
-----------------------	---------------------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆市民ニーズに即した補装具、日常生活用具の支給を行うことで、障がいによる日常生活の不便さの解消に努めました。	◆新しい日常生活用具の開発にあわせ、支給対象品目の追加検討を行っていくことが必要。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き保護者の相談に応じながら、必要な補装具、日常生活用具を支給し、対象児の生活の質を向上することができるように努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課・ひまわり発達相談センター
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	8 1 障害福祉サービス、地域生活支援事業の利用促進	令和4年度 事業費決算額	事業名：障害福祉サービス、地域生活支援事業の 利用促進事業 決算額：93,780,427円
事業の概要	◆地域で安心して生活できるようになるための支援の一環として、家庭において障がい児を一時的に介護できない時に、施設などでの預かりや、活動の場の提供などにより、見守りや社会に適応する訓練などを行うサービス環境の整備を促進します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き対象児童の状況把握に努め、関係機関と連携をとりながら適切なサービスにつなげていきます。（障がい福祉課） ◆引き続き市民の方が安心して障害福祉サービスが利用できるように、サービスや事業所の案内・相談に応じていきます。また、関係機関との連携を深めながら社会資源の情報収集に力を入れていきます。（ひまわり発達相談センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆聞き取り調査等で対象児童の状況把握を行い、必要に応じて関係機関との連絡を取る等、保護者の相談を伺う中で、適切なサービスの利用促進を行いました。（障がい福祉課） ◆相談支援事業の契約対象児童については、定期的なモニタリングの実施やサービス利用計画の作成を行いました。関係機関や保護者と連携を図りながら電話相談・面談等で個別対応をしました。（ひまわり発達相談センター） ◆障害福祉サービスについて相談希望者には、電話・面談等で個別対応をしました。（ひまわり発達相談センター） ◆福祉サービス事業所からの相談に対して、情報の共有や支援についての助言を行いました。（ひまわり発達相談センター） ◆保育所・幼稚園・こども園等の施設職員より、福祉サービスについての相談があった場合、サービス内容の説明や案内、理解を促すための啓発を行いました。（ひまわり発達相談センター） ◆障がい福祉課と連携を図り、障害福祉サービスの利用案内や情報提供等、役割を調整しながら市民対応をしました。（障がい福祉課との共同作成をしたチラシを活用しました）（ひまわり発達相談センター）		
評価指標	◆日中一時支援事業利用回数 ◆育成医療給付率	令和4年度数値	◆22,317回 ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆ケースワーカーの丁寧なニーズ把握と関係機関との連携により、迅速かつ適切にサービスにつながったと評価がありました。（障がい福祉課） ◆「サービス利用に興味はあるが、どこからどのようににはじめてよいかわからなかったの、見通しが持てて安心した」「困った時に普段通っているひまわりに福祉サービスのことで相談ができる人がいることは助かる」「サービスが変わるタイミング（児童発達支援から放課後等デイサービス）でまた相談に乗ってもらえることは心強い」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆適切なサービスにつなげることで対象児童及び保護者の負担軽減につながりました。（障がい福祉課） ◆当センター内で窓口を一本化したことで、年々障がい福祉課との連携は図りやすくなりました。また、保護者のサービスへの理解や見通しがつくことでサービスに対する目的が明確になり、利用開始の際スムーズに移行できることが増えました。（ひまわり発達相談センター）	◆放課後等デイサービス等、障がい児の利用サービスが増加する一方、相談支援事業所が不足しているため充実を図る必要があり、また必要時に保護者が情報を得られるようにサービスの情報を集約・管理して提供できる体制を整えていく。（障がい福祉課） ◆障害福祉サービスに興味を持ち、利用希望する保護者は増えています。相談対応ができる職員育成等を含め、当センターの相談支援体制の整備が急務と思われます。（ひまわり発達相談センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き適切な通所支援施設を利用出来る様に支援を進めていきます。（障がい福祉課） ◆引き続き市民の方が安心して適切な福祉サービスの利用ができるよう、サービスや事業所案内・相談に応じていきます。また、日頃からの関係機関との連携を深めながら、社会資源の情報収集にも力を入れていきます。（ひまわり発達相談センター）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課・ひまわり発達相談センター
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	8 2 障がい児通所支援の利用促進	令和4年度 事業費決算額	事業名：障がい児通所支援の利用促進事業 決算額：645,927,620円
事業の概要	◆日常生活に必要な生活習慣や社会性、コミュニケーション能力を身につけるための、障がい児を対象とした療育や訓練などを受けることができる施設の周知および利用の促進をすることにより、子育てを支援していきます。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き適切な通所施設を利用出来る様に支援を進めていきます。（障がい福祉課） ◆引き続き障がい福祉課や事業所との連携を強化し、支援の必要なお子さんが安心して地域の中で生活できるように支援していきます。（ひまわり発達相談センター）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆療育や訓練等の必要な児童が適切に通所施設を利用出来るよう、聞き取り調査や保護者の相談に対応し、支給決定を行いました。（障がい福祉課） ◆新設事業所や市外事業所職員との情報共有をはじめ、来所対応や事業所見学を行いました。事業所情報については、当センター職員間で共有し、保護者へ必要時に応じて情報提供を行いました。また、他事業所職員等と連携を図り、個々に応じた事業所情報やより良い支援方法について検討しました。（ひまわり発達相談センター）		
評価指標	◆利用回数（放課後等デイサービス利用日数）	令和4年度数値	◆9,493件（障がい福祉課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆ケースワーカーの丁寧なニーズ把握と関係機関との連携により、迅速かつ適切に通所施設の利用につながったと評価がありました。（障がい福祉課） ◆「新設事業所情報、市外事業情報等を教えてもらえることで、選択肢が増えた」「自分で探した情報だけでは不安。我が子に合う事業所と一緒に考えてもらえることが有難い」「事業所情報以外にも他のサービス、制度についても相談できることは心強い」等の意見がありました。（ひまわり発達相談センター）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆療育や訓練等を必要とする児童が通所施設を利用することができ、児童の発達支援に繋がった。（障がい福祉課） ◆個別で相談対応をすることで、個々の子どもや保護者に応じたサービスの提案、情報提供が具体的に図れ、サービス利用がスムーズに行えました。保護者の日々の生活への不安や育児負担感への軽減につながっています。（ひまわり発達相談センター）	◆放課後等デイサービス等、障がい児の利用サービスが増加する一方、相談支援事業所が不足しているため充実を図る必要があり、また必要時に保護者が情報を得られるようにサービスの情報を集約・管理して提供できる体制を整えていく。（障がい福祉課） ◆外国籍のご家庭について、事業所の内容や手続き等へ案内や説明に苦慮しています。関係機関へ繋ぐ部分等、時に手厚い支援を要する場合がある為、今後の支援の方向性について検討していく必要があります。（ひまわり発達相談センター）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き適切な通所支援施設を利用出来る様に支援を進めていきます。（障がい福祉課） ◆引き続き障がい福祉課や各事業所との連携を大事にし、支援の必要なお子さんが地域で安心して生活できるように支援していきます。（ひまわり発達相談センター）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	83 特別児童扶養手当の支給	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、精神または身体に障がいのある20歳未満の児童を監護・養育している方に、手当を支給します。		
令和4年度 事業目標	◆前年度に引き続き、手帳交付の際、該当者に説明を行うことで早期の手続き実施に努めるほか、職員の知識・理解を深め、わかりやすい説明と事業の円滑な実施を図ります。 ◆広報誌、市ホームページ、県配布のしおり等を活用し、制度の周知を継続して実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆手帳を交付の際、該当者に説明を行った他、市ホームページや広報誌等でも周知を行いました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆ケースワーカーと連携の上、該当者に対して制度の説明を行うことにより、新規の申請へつながることができました。事業主体である千葉県と連携し、円滑に事務手続きを実施することができました。	◆申請者の状況により、申請方法や必要書類等が異なるなど、手続きが複雑であることから、事業主体である千葉県と連携し、引き続き制度の周知及び職員の知識・理解を深め、円滑に事業を実施する筆意用があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆前年度に引き続き、手帳交付の際、該当者に説明を行うことで早期の手続き実施に努めるほか、職員の知識・理解を深め、わかりやすい説明と事業の円滑な実施を図ります。 ◆広報誌、市ホームページ、県配布のしおり等を活用し、制度の周知を継続して実施します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	8 4 障害児福祉手当の支給	令和4年度 事業費決算額	事業名：障がい者手当給付事業(障害児福祉手当) 決算額：15,315,360円
事業の概要	◆常時介護を必要とする在宅の重度の障がいがある20歳未満の児童本人に対し、手当を支給します。		
令和4年度 事業目標	◆前年度に引き続き、手帳交付の際、該当者に説明を行うことで早期の手続き実施に努めるほか、職員の知識・理解を深め、わかりやすい説明と事業の円滑な実施を図ります。 ◆広報誌、市ホームページ、県配布のしおり等を活用し、制度の周知を継続して実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆手帳の新規交付及び更新の際、該当者に制度の説明を行い、円滑な手続きに努めました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆該当者を新規申請につなげることができた他、制度を円滑に実施することができました。	◆受給認定となる条件、受給資格が喪失名なる条件等、判断が複雑であることから、制度に係るわかりやすい説明と周知を行う必要があります。また、各受給者の状況を把握し、有期更新や施設入所の場合の喪失等を遅滞なく実施する必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆制度に係るわかりやすい説明と広報誌、市ホームページ等を活用した制度の周知を継続して実施します。また、各手続きの円滑な実施に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	85 重度心身障害児医療費の助成	令和4年度 事業費決算額	事業名：障がい者自立生活支援事業（重度医療） 決算額：191,904,299円
事業の概要	◆重度心身障害児を対象に、医療費の一部を助成します。		
令和4年度 事業目標	◆対象者への漏れのない支給、及び資格喪失者への適切な対応をします。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆手帳新規取得及び再交付について、重度医療担当者がすべてチェックし、確実な対応を実施しました。		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆対象者への漏れのない支給、及び資格喪失者への適切な対応を行いました。	◆居住地特例などの取扱いが市によって異なるため、このような案件については、今後も引き続き個別対応が必要となります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆対象者への漏れのない支給、及び資格喪失者への適切な対応をします。
---------------	-----------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	8 6 福祉タクシー運賃助成	令和4年度 事業費決算額	事業名：習志野市福祉タクシー事業 決算額：21,729,000円
事業の概要	◆一定の要件に該当する障がい児に対し、タクシー利用費用の一部を助成します。		
令和4年度 事業目標	◆今後も引き続き、対象者への制度の案内等遺漏のないよう事業を継続します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆社会参加の実現・促進を図る一助として、申請いただいた対象者へ福祉タクシー券を交付した。		
評価指標	◆給付率	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆福祉タクシーを利用するため、福祉タクシー協力機関に電話をしたところ、配送できる台数が少ないため利用できないと言われた。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆本制度の利用により、障がいのある方の自立支援及び社会参加の一助に寄与しました。	◆本制度は所得制限を設けており、所得の増減等により制度の対象外となる場合があることから、十分かつ丁寧な説明を行うとともに、広報、ホームページ等による分かりやすい周知に努める必要があります。 ◆タクシー協力機関と対象者間でのトラブルを防ぐため、協力機関への制度の更なる周知と協力を求めていく必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆今後も引き続き、対象者への制度の案内等遺漏のないよう事業を継続する。
---------------	-------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	学校教育課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	8 7 特別支援教育就学奨励費の補助	令和4年度 事業費決算額	事業名：要保護・準要保護児童援助費及び 特別支援教育就学奨励費事業、 要保護・準要保護生徒援助費及び 特別支援教育就学奨励費事業 決算額：12,036,778円
事業の概要	◆特別支援教育を受ける児童生徒を養育する世帯を対象に就学奨励費を補助することで、経済的負担の軽減を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆提出された書類の適正な審査に基づき決定した支弁区分により、支給決定された者に定められた奨励費を100%支給します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆児童生徒の保護者からの申請を受け、提出された必要書類を確認し、奨励費の支給に係る支弁区分を決定するとともに、給付事務を行いました。 【実績】支給延人数278人		
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	令和4年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆課税証明書やレシートなど提出書類が煩雑でわかりにくいです。 ◆生活が厳しいため、このような制度はありがたいです。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆対象者の申請により支給決定した者について、支弁区分に基づき100%奨励費を支給しました。	◆提出書類が分かりにくいなどの声があることから、案内書類等をわかりやすくする必要があると思われます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆提出された書類の適正な審査に基づき決定した支弁区分により、支給決定された者に定められた奨励費を100%支給します。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	88 相談支援事業	令和4年度 事業費決算額	事業名：相談支援事業 決算額：40,641,000円
事業の概要	◆障がいのある児童、家族、関係機関などに対して相談および情報提供、社会参加の促進などの支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆基幹相談支援センター等と連携し、障がい児及びその家族、介護者、関係機関等に対して、障害福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高める支援、相談及び情報提供や権利擁護の援助等の総合的な相談を行います。それにより対象児や家族の自立と社会参加を促進するとともに、相談支援の向上に努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆障がいのある方に対する相談支援体制の中核的な役割担う基幹相談支援センターを設置して1年が経過し、引き続き市内相談支援事業所等のバックアップや研修、指導、助言などを行いました。 ◆各ケースワーカーが総合的な相談に応じるとともに相談支援事業所とも連携を取り、対象児童や家族が適切に障害福祉サービスを利用することが出来る様支援を行いました。		
評価指標	◆相談件数（成人も含む）	令和4年度数値	◆15,729件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆ケースワーカーが総合的な相談を行い、相談支援事業所とも連携を取ったことで、適切な支援につながったと評価がありました。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆支援を必要としている対象児が適切に障害福祉サービスにつながり、継続的に相談支援を受けることが出来る支援体制を維持することが出来ました。	◆障害福祉サービスの利用児童が増え続けており、市内の障がい児の計画相談事業所が不足しているため、新たにサービスを利用する児童はセルフプランが多くなっています。必要に応じてケースワーカーが相談支援事業所に繋がるまでの支援を行うとともに、引き続き相談支援の充実に努める必要があります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆基幹相談支援センター等と連携し、障がい児及びその家族、介護者、関係機関等に対して、障害福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高める支援、相談及び情報提供や権利擁護の援助等の総合的な相談を行います。 ◆それにより対象児や家族の自立と社会参加を促進するとともに、相談支援の向上に努めます。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	89 PTA家庭教育学級の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、幼少年期の発達課題、学校や地域との関係など、家庭教育の諸問題や親の対応について学習します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、PTA家庭教育学級において、子どもの発達段階に応じた子育てを考えるための学級を実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆10学校・園のPTAで家庭教育学級が開設した。 「子供のSOSに気付く お母さんも子どもも幸せになる子育てを考えてみませんか」 「地域の防災」 「Re:食育 ～またみんなでご飯を食べよう～」 「生きるために知っておきたい心とからだの話」など（公民館）		
評価指標	◆PTA家庭教育学級の実施回数	令和4年度数値	◆14回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆子どもの不安や疲労が心身に及ぼす影響を学び、親の接し方について考える機会になった。 防災については、親子で話し合う大切さを感じた。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆発達段階に応じた子育てについて、親同士で学ぶことで、子育ての安心、安全につながった。 ◆子どもの様子が不安を感じていた保護者が参加したことで、家庭でどのように接すれば良いか学んだ。	◆参加できなかった保護者への学習の還元を支援する。 ◆コロナ禍のため、開設に消極的な学校や園が多く、講演会などの開催自体が難しいと感じた。開催できても、参加者が少ないという問題もあった。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
C	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆公民館では引き続き、PTA家庭教育学級を開設しやすいよう、運営や講師選定等の支援をしていくことで、保護者の学びの場を提供していきます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	子育て支援課・図書館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	90 ブックスタート事業の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：ブックスタート事業 決算額：573,100円
事業の概要	◆生後4か月の子どもを対象に、4か月健康相談終了後、民生委員児童委員の協力のもと、読み聞かせの大切さを伝え、絵本とコットンバックをお渡しします。 ◆誕生記念として特別にデザインした図書館カードを、ブックリストとともに新生児に配付し、登録を促進します。		
令和4年度 事業目標	◆健康支援課母子保健担当や図書館との連携を図り、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。（子育て支援課） ◆引き続き子育て支援課と連携を図り、誕生記念図書館カードの周知に努めます。（図書館）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆市内で実施している健康支援課による4か月健康相談において、絵本とコットンバックを贈呈しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため健康支援課職員による贈呈としました。）（子育て支援課） ◆贈呈する絵本を3種類（「いないいないばあ」「じゃあじゃあびりびり」「ごぶごぶごぼごぼ」とし、第2子以降には別の本を贈呈できるよう配慮しました。（子育て支援課） ◆誕生記念図書館カードの登録と乳幼児向けのブックリストを配付しました。（図書館）		
評価指標	◆ブックスタートパック配付数 ◆誕生記念図書館カード登録者数	令和4年度数値	◆1,064セット（子育て支援課） ◆357人（図書館）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆絵本がもらえて嬉しいです。（子育て支援課）
-----------------------	------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆4か月健康相談の場を活用し、乳児期の早い時期に絵本等の配布を行うことで、絵本の大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションのきっかけづくりを支援しました。（子育て支援課） ◆絵本を選択制にすることで、市民の様々なニーズに対応しました。（子育て支援課） ◆誕生記念図書館カードを配付することで図書館を利用してもらうきっかけをつくることができました。（図書館）	◆他市で出生届を提出された方に誕生記念図書館カードのご案内ができません（該当する方で希望される方には図書館で誕生記念図書館カードの配付を行っています）。（図書館）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆健康支援課母子保健担当や図書館との連携を図り、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。（子育て支援課） ◆引き続き子育て支援課と連携を図り、誕生記念図書館カードの周知に努めます。（図書館）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館・子育て支援課
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	9 1 育児講座などの充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：277,000円（中央・菊田）
事業の概要	◆公民館で乳幼児を持つ親を対象に、乳幼児の健康や遊び、心理、心と体の発達、一人ひとり違う子どもの育ち等、子育てに関する講座を実施し親同士がつながる機会をつくります。 ◆「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」について、関係機関との連携により実施します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、学習を通じて子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため育児講座・親子講座を実施します。（公民館） ◆関係機関と連携しながら「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。（子育て支援課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆育児講座・親と子のふれあい講座・親子講座において、学習を通じて子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図った。（公民館） ・読み聞かせとおすすめ絵本 ・離乳食の進め方、歯について ・私らしく子育てする方法 ・心のケア・体のケア ・ヨガでリフレッシュ ・赤ちゃんともママの防災講座等 ◆公民館やこどもセンターでの講座で実施しました。（子育て支援課）		
評価指標	◆育児講座等の実施回数 ◆実施回数	令和4年度数値	◆52回（公民館） ◆集団3回（子育て支援課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	（公民館） ◆子育てのリフレッシュになりました。 ◆専門の先生のお話はとても勉強になった。なぜ？どうして？の理由がわかると少し心に余裕が持て楽しく子育てができたと思いました。習志野市の子育て情報が知れてよかった。 ◆同じ月齢の子どもを持つ方と知り合えてよかった。気になっていたことが聞けて良かった。 ◆正しい叱り方はなかなか出来ていないと反省した。（子育て支援課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆コロナ禍でなかなか人との関わりが少ない中、親、子ども同士の交流ができて大変喜ばれた。（公民館） ◆子どもの年齢に応じた心と体の発達や特性、疑問を専門講師により回答・学び、子育てに対する不安等を解消することができた。（公民館） ◆褒めてのばしてあげられるように心がけたいという肯定的な考え方に繋がられた。（子育て支援課）	◆より多くの方に参加してもらえるよう工夫が必要である。（公民館）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、学習を通じて子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため育児講座・親子講座を実施します。（公民館） ◆関係機関と連携しながら「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。（子育て支援課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	9 2 幼児家庭教育学級の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：210,000円（中央・菊田）
事業の概要	◆公民館で3歳児の親を対象に、様々な角度から子育てに関する講座を実施します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため、プログラムを充実させ、参加者同士が継続的に交流できるよう幼児家庭教育学級を実施します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆幼児期の心理、心と体の発達、家庭教育の重要性などについて学びながら、親、子ども共に仲間づくりを図りました。		
評価指標	◆幼児家庭教育学級の実施回数	令和4年度数値	◆63回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆頼れる人がおらず孤独な子育てでしたが、仲間や顔見知りが増え、子育てに関するプラスの情報をたくさん吸収する事が出来て、前向きに子育てが出来るようになった。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆コロナの影響で人との関わりが持てず、思うように行動できず、忙しい毎日を送っている合間のリフレッシュ、そして学びができた。 ◆専門家の話や、同じ年の子を持つ親同士が意見交換をすることで、視野を広げ、子育ての参考にできた。	◆コロナ過で開催回数がコロナ前の半数減となった公民館もあった。 ◆参加者が減少しているので、HPやこども園でのチラシ配布などで参加率を上げたい。 ◆父親も気軽に参加できるような講座を検討していきたい。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため、プログラムを充実させ、参加者同士が継続的に交流できるよう幼児家庭教育学級を実施します。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課・公民館
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	93 子ども広場事業の実施	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆公民館の空いている部屋を利用し、子どもたち誰もが安全・安心な放課後を過ごせるよう子どもの居場所を確保します。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルス感染症拡大前の子ども広場の利用率回復のために情報提供を広く行います。（公民館）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆放課後対応事業として午後3時から午後4時45分まで部屋を開放した。 （中央：毎日、菊田・袖ヶ浦：水曜日、実花・谷津：火曜日、新習志野：随時）（公民館）		
評価指標	◆実施施設数	令和4年度数値	◆6公民館

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆放課後も、勉強や遊びを仲間とできて楽しかった。学校外でもルールを守ることを覚えた。 ◆雨の日は安心して遊ぶことができた。（公民館）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆子ども達の居場所が確保できた。 ◆公民館職員が地域の子ども達の遊びの傾向等を知ることができた。（公民館）	◆子どもたちの安全を、見守る大人が常駐していないこと。（公民館）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
C	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、子ども達の安全・安心に過ごせる子どもの居場所づくりに努めます。（公民館）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	94 こどもスペースの開放とプレーパーク等の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：生涯学習複合施設管理運営費 決算額：—円
事業の概要	◆生涯学習複合施設「ブラッツ習志野」において、子どもたちの遊びの場や学習の場として、こどもスペースを開放するとともに、季節行事やイベント等を実施します。 また、こどもスペースと中央公園を連動させたプレーパークも実施します。		
令和4年度 事業目標	◆プレーパーク事業を月1回程度継続して実施し、内容等の充実を図ります。 ◆こどもスペースの開放については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き検討します。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆運営ボランティアの協力を得て、プレーパーク事業を概ね月1回開催した。 ◆こどもスペースについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための人数制限をしたうえで開放を再開した。		
評価指標	◆プレーパーク事業実施回数（参加延べ人数）	令和4年度数値	◆14回（402名）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆身近な場所で、泥遊びや木登りなどを子ども体験させる機会となりありがたい。
-----------------------	---------------------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆プレーパークにおいては、子どもたちが自由な発想で自分の「やってみたいと思うこと」を実現し、生きる力を育んでいくための機会を提供した。 ◆こどもスペースにおいては、日中においては主に親子の居場所として、また、放課後等においては主に小学生の居場所として、自由に使える空間を提供した。	◆こどもスペースのおもちゃの充実の要望があるが、消毒面や、見守り面での課題があり、実現していない。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆プレーパーク事業を月1回程度継続して実施する。 ◆こどもスペースの空間の魅力化を図る。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	公民館
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	95 子ども講座の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：158,000円（中央・菊田）
事業の概要	◆学校が休みの土曜日・日曜日や長期休業日に、親子、異年齢の様々な子どもとのふれあいや豊かな心を育てることを目的として実施している、子ども講座の充実を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、子ども達の豊かな心を育む講座の開催や、子ども達の安全・安心に過ごせる子どもの居場所づくりに努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆サークル会員や地域の人の協力を得て6公民館75講座を開催した。 「ヤゴを育てよう!」「子どもかがく講座」「子ども伝統文化教室（着付・華道）」「お金の正しい使い方講座」「子どもパン・ジャム講座」「化石のレプリカ作り」「ダブルタッチ体験」「かるた大会」他		
評価指標	◆子ども講座の実施回数	令和4年度数値	◆75回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	特にありません。
-----------------------	----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆学校の授業では学習しない内容を講座に選び、体験させることができ、良かった。 ◆子どもの興味関心や、何をやってみたいかの意見を聞くことができた。 ◆子どもだけではなく、保護者と一緒に学習や体験ができ講座を行うことができた。	◆高学年向けの講座は難易度を考慮しながら基準学年の幅を広げたり、低学年向けの講座をもっと充実させるなど、より多くの子ども達に魅力ある体験ができるよう工夫する。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、子ども達の豊かな心を育む講座や、子ども達が興味を持って学べる講座を開催する。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	9 6 学校体育施設の開放	令和4年度 事業費決算額	事業名：学校体育施設開放事業 決算額：13,457,300円
事業の概要	◆土曜日・日曜日・祝日の市内小学校の校庭・体育館を開放することで、あらゆる子ども達がスポーツや運動などを行う場や機会を提供します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に取り組みながら、利用者が安全で安心して活動できるよう努めます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆土日祝日に市内16小学校のグラウンド・体育館を開放しました。 ◆事業実施にあたり、消毒の実施や利用人数の制限等感染拡大防止対策に取り組みました。 ◆学校体育施設開放運営委員会連絡協議会に委託し、各小学校に管理指導員を配置することにより、利用者が安全・安心に活動できるように努めました。		
評価指標	◆体育施設開放校数	令和4年度数値	◆16校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆土日祝日のグラウンド・体育館を開放することで、学校体育施設を有効に活用するとともに、市民のスポーツ活動の場を提供しました。各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てました。	◆利用できる施設、時間には限りがあるため、新規団体の参入や活動日数を増やしたい団体が利用日数を増やすことが難しい状況にあります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課・児童育成課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	97 放課後子ども教室の実施	令和4年度 事業費決算額	事業名：放課後子供教室事業 決算額：73,683,092円
事業の概要	◆放課後などに全ての児童を対象として学習や体験・交流活動などの機会を提供する放課後子ども教室の整備を進める必要があります。 ◆地域の実情に応じ、小学校の余裕教室や特別教室、体育館、運動場などの活用を図りながら、放課後児童会の児童も共通活動に参加することができるよう、一体型な事業実施を目指して、施設整備や職員間の連携を行います。		
令和4年度 事業目標	◆既設校においては児童や保護者の意見を反映した運営ができるよう、運営に関する満足度調査を実施します。（社会教育課） ◆令和5年4月に、屋敷・向山・実花・香澄小学校で放課後子供教室を開設するための準備を進めます。（社会教育課） ◆屋敷・屋敷第二・屋敷第三児童会、向山・向山第二児童会を放課後子供教室と併せて民間委託を実施するための事業者選定を行います。（児童育成課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆令和4年4月に、袖ヶ浦西小学校、袖ヶ浦東小学校、藤崎小学校に放課後子供教室を開設しました。（社会教育課） ◆令和5年度に屋敷小学校、実花小学校、向山小学校、香澄小学校で開設する放課後子供教室の事業者選定を実施しました。（社会教育課） ◆既設校の保護者に、放課後子供教室の運営に関する満足度調査を実施しました。（社会教育課） ◆放課後子供教室との一体型事業を推進するため、屋敷小学校地区及び向山小学校地区放課後児童会を放課後子供教室と併せて民間委託を実施するため事業者選定を行いました。（児童育成課）		
評価指標	◆開設校数 ◆利用者の満足度	令和4年度数値	◆6校 ◆88.0%（6校の平均値） ※既設校における放課後子供教室に参加したことがある児童（保護者）の満足度

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆自宅ではやらない遊びを取り組んでくれるので、遊びの幅が広がり、子どもも楽しんでます。また、入退室の通知が来るので、安心して子供教室を利用させていただいております。子どもとの話も今まで以上に増えたように思います。 ◆毎月のイベントカレンダーを見て、行く日に自分で印をつけて予定を決めて楽しんで行っています。私も仕事に長く行くことができたり、ゆっくり買い物ができたりと、とてもありがたく思っています。 ◆夏休みなどの学校休業日は、午前中にも工作などのプログラムをやってほしいです。宿題はしてもしなくても良いとの事です。うちの子はやらなくても良いならとやらずに遊んで帰ってきます。できれば、宿題をみんながやるようにしてくれると、とても助かります。
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。	
◆放課後子供教室に参加したことで、「友達が増えた」、「興味・関心のあるものが増えた」等の意見をいただき、本事業の目的である青少年の健全育成に寄与しています。 ◆子どもが放課後子供教室に参加することで、「就労時間を増やすことができた」や「自分の時間がとれるようになった」との意見もいただいております、子どもだけではなく保護者にとっても有意義な事業となっています。	◆放課後子供教室について活動のサポートや見守りに協力していただけるボランティアを募集していますが、人材の確保に苦慮しています。より多くの人に参画していただけるよう、周知方法等について検討します。 ◆全体的に高学年児童の参加率が低いため、高学年の児童が参加したくなる魅力的なイベントの実施や環境づくりを検討します。	
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）		A

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆既設校においては児童や保護者の意見を反映した運営ができるよう、運営に関する満足度調査を実施します。（社会教育課） ◆令和6年4月に、鷺沼小学校で放課後子供教室を開設するための準備を進めます。（社会教育課） ◆全市立小学校での実施に向け、未開設校については活動場所等の実施に係る課題を整理します。（社会教育課） ◆放課後子供教室との一体型事業を推進するため、鷺沼小学校地区放課後児童会、大久保東小学校地区児童会、藤崎小学校地区放課後児童会を放課後子供教室と併せて民間委託を実施するため事業者選定を行います。（児童育成課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	子育て支援課・こども保育課・こども政策課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり		
事業名	9 8 地域子育て支援拠点事業の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：地域子育て支援拠点事業 決算額：15,629,576円 事業名：（仮称）向山こども園整備事業 決算額：144,838,386円 事業名：（仮称）藤崎こども園整備事業 決算額：42,350,000円
事業の概要	◆就学前の子どもと親が自由に遊び交流する場として、子育てに関する情報提供や学習会などを実施します。また、土曜日と日曜日に開館することで、保護者の育児を支援します。 ◆地域で安心して子育てができるよう、「子育て支援コンシェルジュ」による相談の充実に努めます。 ◆こども園にこどもセンターを併設し、地域の子ども達が育ち合える子育て拠点を整備します。		
令和4年度 事業目標	◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。（子育て支援課） ◆習志野市こどもセンター（鷺沼）において開設する乳幼児専用プレーパークについて周知を行い、子どもがのびのびと外遊びができる環境づくりに努めます。（子育て支援課） ◆特に、地域から孤立化する等の課題のある親子をこどもセンターに誘導する措置を講じていきます。（子育て支援課） ◆（仮称）藤崎こども園内に整備されるこどもセンターについて、基本設計・実施設計の策定に取り組みます。併せて、 ◆こども園こどもセンターに配置した専門職（保育士・栄養士・看護師）が丁寧に対応し、子育て中の保護者の悩みに幅広く対応します。（こども保育課） 近隣住民や保護者への説明等について検討してまいります。（こども政策課） ◆（仮称）向山こども園に整備されるこどもセンターについて、工事の竣工にあたり、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討します。（こども政策課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆こどもセンター等連絡会議を開催し、習志野市こどもセンター（鷺沼）、こども園こどもセンター（東習志野、杉の子、袖ヶ浦、新習志野、大久保）やきらっ子ルームやつとの情報共有、連携により事業を実施しました。（子育て支援課） ◆子育て支援コンシェルジュ（利用者支援事業）を市立各こどもセンターときらっ子ルームやつに配置し、子育て家庭のニーズに応えた相談受付や情報提供を行いました。（子育て支援課） ◆習志野市こどもセンター（鷺沼）では、乳幼児専用プレーパークを実施しました。（子育て支援課） ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、人数制限・時間制限を設けて予約制で開設しました。（子育て支援課） ◆こども園こどもセンターでは予約制での受け入れではありませんでしたが、来園した親子に対し子育ての情報発信や相談業務を実施しました。（こども保育課） ◆（仮称）向山こども園内に設置されるこどもセンターの整備に向けて、保護者や近隣への説明会を実施し着工いたしました。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園内に設置されるこどもセンターの整備に向けて、近隣住民や保護者への説明を行い、実施設計が完了しました。（こども政策課）		
評価指標	◆施設数 ◆利用者数 ◆3期計画の実施状況	令和4年度数値	◆2か所（子育て支援課） ◆21,476人（子育て支援課） ◆100%（こども政策課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆いつもとても楽しく利用させていただいています。子育ての悩みなども聞いていただき、とても助かってます。（子育て支援課） ◆この施設のおかげで、お友達がたくさんできました。（子育て支援課）
-----------------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆こどもセンター職員（保育士、保健師）による育児相談を実施し、子育て中の保護者の育児不安の解消につながりました。（子育て支援課） ◆土曜日の開所により、父親や共働き家庭の利用が図られました。（子育て支援課） ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター、きらっ子ルームの施設間での情報共有を図ることができました。（子育て支援課） ◆予約制で少人数の受け入れではありましたが、それぞれの親子とじっくり関わり、子育て中の保護者の悩みに対応することができました。（こども保育課） ◆（仮称）向山こども園内に整備するこどもセンターについて、整備工事の説明会を開催し、意見を工事に反映することができました。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園内に整備するこどもセンターについて、近隣説明会を複数回実施したことから、意見をもとに実施設計が完了しました。（こども政策課）	◆コロナ禍で変更していた運用を、徐々に通常運営に戻すため、これまで中止にしていた講座やイベントについても、状況をみながら実施していきます。（子育て支援課） ◆飲食の可否について検討していく必要があります。（子育て支援課） ◆こども園こどもセンターでの学習会や研修会等を再開し、様々な情報を発信していけるようにする必要があります。（こども保育課） ◆（仮称）向山こども園開園後の通園動線の周知を行う必要があります。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園については、着工にあたり、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討します。（こども政策課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。（子育て支援課） ◆習志野市こどもセンター（鷺沼）において開設する乳幼児専用プレーパークについて周知を行い、子どもがのびのびと外遊びができる環境づくりに努めます。（子育て支援課） ◆特に、地域から孤立化する等の課題のある親子をこどもセンターに誘導する措置を講じていきます。（子育て支援課） ◆こども園こどもセンターに配置した専門職（保育士・栄養士・看護師）が丁寧に対応し、子育て中の保護者の悩みに幅広く対応します。（こども保育課） ◆（仮称）向山こども園に整備されるこどもセンターの開園に向け、近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した通園動線を周知します。（こども政策課） ◆（仮称）藤崎こども園に整備されるこどもセンターについて、着工にあたり近隣住民や保護者、児童への安全に配慮した工事動線等について検討します。（こども政策課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	小学校・中学校・指導課
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	9 9 地域交流事業の充実	令和4年度 事業費決算額	事業名：特色ある学校づくり推進事業 決算額：219,980円
事業の概要	◆学校支援ボランティア等の地域の人材や教材などの授業への活用と地域との交流を推進します。 令和5年度より、市立小・中学校に地域学校協働本部を設置し、学校支援ボランティア制度から移行します。学校を核とする地域づくりの視点から、地域学校協働活動推進委員会を中心に学校と地域との交流を推進します。		
令和4年度 事業目標	◆コロナ禍にあっても実施可能なボランティア活動について検討し、学校と地域が連携して学習活動、環境整備、見守り活動等を行っていきます。（指導課・小学校・中学校）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆お話会や書初め指導等の学習活動、落ち葉はきや花壇の草取り等の環境整備、登下校時における見守り活動等の学校安全に関わる活動を行った。（小学校・中学校・指導課）		
評価指標	◆学校支援ボランティア参加人数	令和4年度数値	◆6,591人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆学校・家庭・地域が協力して活動する姿を子ども達に見せることは、大きな意義がある。（小学校・中学校・指導課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆学校職員、保護者、地域住民による登下校時の見守り活動が実施される中で挨拶が行きかう等、児童生徒の道徳性の涵養につながった。（小学校・中学校・指導課） ◆ボランティア活動について検討し、感染症対策をとりながら実施可能な活動が行われた。（小学校・中学校・指導課）	◆令和5年度より始まる地域学校協働本部（社会教育課所管）が学校と連携して、必要とするボランティアについて人材をコーディネートし、協力する体制を推進すること。（社会教育課） ※令和5年度から社会教育課へ移管となります。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	令和5年度より、市立小・中学校に地域学校協働本部を設置し、学校支援ボランティア制度から移行した。学校を核とする地域づくりの視点から、地域学校協働活動推進委員会を中心に学校と地域との交流を推進する。（社会教育課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	100 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆中学校家庭科、総合的な学習の時間などの授業の一環として中学生と幼稚園児や保育所児、こども園児との交流を実践します。		
令和4年度 事業目標	◆各学校等の計画において、連携方法の工夫と継続を図ります。（指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆子どもと中学生の直接交流を実施した。中学生が来園（所）し一緒に遊んだり、子どもが生活の場面で世話をしてもらったりした。（絵本を読んでもらう 鬼ごっこ 砂場遊びなど）（中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課） ◆施設の職員が中学生に保育者の仕事内容について、具体的な講話及び中学生からの質疑応答を行った。（中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課） ◆地域の行事のリハーサルで子どもの演目を中学生に聞いてもらう機会があった。拍手や応援をしてもらったり感想をもらったりしたことが当日への意欲につながった。（中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課）		
評価指標	◆実施校数	令和4年度数値	◆11校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	各施設で実施できる内容の計画、実施や地域性などを活かした内容の実施ができるとよい。（中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆久しぶりに中学生と子どもが直接的な関わりをもつことができた。保育者の仕事内容を話で聞いてもらうだけでなく、実際に見たり遊んだりすることでより興味関心につながったのではないかと。子どもたちは、大きなお兄（姉）さんと一緒に遊ぶことができ日頃体験できない楽しさを感じることができた。（中学校・幼稚園・保育所・こども園）	◆どのような形でも子どもと中学生との交流がもてるように、実施内容の工夫をしていく。（指導課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆今後も連携の継続を図り、交流を計画的に図ります。（指導課）
---------------	--------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	101 地域参加型学校行事の推進	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆学校行事に保護者・地域の高齢者などを招待し、地域との連帯意識を育み、人間性豊かな児童・生徒を育成します。		
令和4年度 事業目標	◆学校だよりや市・総合教育センター・学校のホームページ等を活用し、児童生徒の活躍や行事等について、広く情報を周知するとともに、新型コロナウイルス感染症に留意した参加について引き続き促していきます。（指導課・小学校・中学校） ◆学校行事の計画を進めるにあたり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも保護者や地域との交流を進めていきます。（指導課・小学校・中学校） ◆地域の方々との交流等を、学校教育だより・ホームページで取材・紹介します。（指導課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆学校だよりや市・市総セ・学校のホームページを活用し、児童生徒の活躍や行事等について、広く情報を周知した。感染症対策を講じた行事等への参加の仕方についても情報を提供を行った。（指導課・小学校・中学校） ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、ICT機器の活用等感染症対策を講じた方法での家庭・地域との交流を進めた。（小学校・中学校） ◆地域の方々との交流等を、学校教育だよりやホームページで取材・紹介した。（指導課）		
評価指標	◆実施校数	令和4年度数値	◆23校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆学校教育だより、学校だより等で子供たちのスポーツ大会や各種コンクール等での活躍を知ることができた。（指導課）
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対策が緩和され地域行事が通常どおりに行われた。（小学校・中学校） ◆地域において様々な工夫を行い、子供たちが参加する行事を数多く実施することができた。（小学校・中学校）	◆地域行事がコロナ禍前の形態に戻り、従前の形だけでなく新しい工夫を入れながらアップデートを行っていく必要がある。（指導課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆学校だよりや市・総合教育センター・学校のホームページ等を活用し、児童生徒の活躍や行事等について、広く情報を周知するとともに、新型コロナウイルス感染症に留意した参加について引き続き促していきます。（指導課・小学校・中学校） ◆学校行事の計画を進めるにあたり、地域の方々の意見を取り入れながら、保護者や地域との交流を進めていきます。（指導課・小学校・中学校） ◆地域の方々との交流等、学校運営協議会、地域学校協働推進員等の様子を、学校教育だより・ホームページで取材・紹介します。（指導課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	社会教育課
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	102 青少年健全育成の推進	令和4年度 事業費決算額	事業名：青少年健全育成事業 決算額：2,077,690円
事業の概要	◆子ども会育成会・青少年相談員などの事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。 ◆ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団など、青少年育成団体の事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。		
令和4年度 事業目標	◆青少年の健全育成に寄与すべく事業を積極的に支援するとともに各団体間の更なる連携を推進していきます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆青少年育成団体連絡協議会を定期的に開催し、団体間での情報交換や情報共有を行い、共通課題（コロナ禍における事業実施方法等）について意見交換するなど一組織として連携を図りました。 ◆市民まつり「習志野きらっと2022」にて、子ども広場を実施しました。		
評価指標	◆青少年育成団体連絡協議会開催回数	令和4年度数値	◆6回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆コロナウイルス感染症に気をつけながら、事業を徐々に開始できている。 ◆宿泊をともなう事業には、保護者の抵抗感があるよう参加者が少なかったため実施出来ず中止とした。 ◆3年ぶりの子ども広場の実施となり、たくさん子どもたちに来てもらえた。コロナ禍でイベント等が中止になっていた影響で待ちに待ったイベントになったのではないかなと思う。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆協議会を通じ、各団体の状況把握・事業支援を行うことが出来ました。 ◆市民まつり、子ども広場には10,418人の来場がありました。	◆各団体における会員数の減少、指導者不足がある。また、コロナ禍において、事業が実施できていないため指導者の継承も課題となっている。 ◆青少年育成団体間において、事業交流や支援等の新たな方策を検討する必要がある。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆青少年の健全育成に寄与すべく事業の支援をするとともに各団体間の連携を推進していきます。
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・こども園・公民館
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	103 地域の人材の活用	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆こどもセンターやきらっ子ルームで開催する行事などにおいて、地域の方々と交流するとともに、人材を有効に活用します。 ◆公民館主催講座や市民文化祭などでは、子どもたちが参加できるように工夫するほか、サークル活動の発表などを通じて交流を図ります。		
令和4年度 事業目標	◆子育てに関する知識を豊富に有している地域ボランティアの協力により、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて講座やイベントを開催することで、事業の充実につなげ、地域力の活性化を図ります。（子育て支援課） ◆地域の多様な人材で子育てに関する豊かな経験や知識を持つ方々を活用し、地域の子育て支援につなげていきます。感染状況を見極め感染予防の対応を講じながら、内容を精査して徐々に実施できるよう計画します。（こども保育課） ◆市民文化祭等の事業を通して、サークル団体、子どもたちとの交流を図ります。（公民館）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。（子育て支援課） ◆こども園こどもセンターにおいて、各種講座やイベント等の予定をしていたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から令和4年度も中止としました。（こども保育課） ◆「地区学習会協議」「市民文化祭」「ロビーコンサート」「バラの街♪音楽会」「ちびっこクリスマス会」（公民館）		
評価指標	◆ボランティア活用人数	令和4年度数値	◆0か所 0人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆生涯学習の推進と地域の連携を深める活動がコロナ感染予防を留意しながら実施できてよかった。（公民館）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。（子育て支援課） ◆新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に話し合い、展示や実演発表を工夫して開催することができたので、次年度の開催につながる成果があった。（公民館）	◆これまで中止にしていた講座やイベントを再開していくため、改めて手順を確認しながら実施していく必要があります。（子育て支援課） ◆令和5年度は地域の多様な人材や地域ボランティアの協力を得ながら、実施できる内容の計画立案をして地域の子育て支援につなげるようにしていきます。（こども保育課） ◆感染症を予防するための措置がなくなり、コロナ禍以前の生活に戻ると思われるが、一度身体で覚えた教訓は、払拭されない。コロナ禍以前に戻るのではなく新しい考えや取り組みでイベントを盛り上げていく必要がある。（公民館）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
C	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆講座やイベントについて、状況をみながら実施していきます。（子育て支援課） ◆子育てに関する知識を豊富に有している地域ボランティアの協力により、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて講座やイベントを開催することで、事業の充実につなげ、地域力の活性化を図ります。（子育て支援課） ◆地域の多様な人材や地域ボランティアの協力を得ながら、地域の子育て支援につなげていきます。実施できる内容や方法を精査して計画します。（こども保育課） ◆引き続き、市民文化祭等の事業を通して、サークル団体、子どもたちとの交流を図る。（公民館）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課・こども政策課
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	104 子育て支援団体との連携	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆地域での子育て支援を推進するため、子育て支援に様々な形で関わっている団体などと連携し、支援を行います。 ◆子ども食堂運営事業者とのネットワークを構築し、情報交換や支援策について検討し、活動内容の周知などに努めます。		
令和4年度 事業目標	◆「ならしのきらっ子こどもまつり」を実施し、子育て支援に係る団体等との連携に努め、地域の子育て支援の機運を高めることに寄与します。（子育て支援課） ◆次年度も引き続き情報提供や活動支援を行ってきます。（こども政策課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆「ならしのきらっ子こどもまつり」について、子育て支援団体を含む「きらっ子こどもまつり実行委員会」を組織し、実施しました。（子育て支援課） ・日時：令和4年10月22日・実行委員会開催回数：3回 ・実行委員会参加団体：ラッコの会他 ◆市内で活動する子育てに係る団体と意見交換を行いました。（子育て支援課） ◆子ども食堂運営事業者に対し、寄付などの情報提供や活動支援を行いました。（こども政策課）		
評価指標	◆会議等実施回数 ◆団体事業参加回数	令和4年度数値	◆3回 ◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆今後も行政との連携、情報共有を行って、それぞれの事業を充実させていきたいです。（子育て支援課） ◆食材を支援してくださる団体への紹介など、可能であればお願いしたい。（こども政策課） ◆こども政策課を中心に各部署と緊密に連絡をとっていきたい。（こども政策課） ◆習志野市の子ども全員に子ども食堂と繋がれるようご協力をお願いしたい（こども政策課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆市内の子育て支援に関わる団体との意見交換をし、情報共有を図ることができました。（子育て支援課） ◆市内の子ども食堂運営事業者で構成するネットワークが構築されました。（こども政策課）	◆市内子ども食堂を広く市民に周知するための支援を行う必要があります。（こども政策課） ◆習志野子ども食堂ネットワークに対する市の支援方法及び連携方法等について、引き続き検討する必要があります。（こども政策課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有することで、事業の充実に努めます。（子育て支援課） ◆「ならしのきらっ子こどもまつり」を実施し、子育て支援に係る団体等との連携に努め、地域の子育て支援の機運を高めることに寄与します。（子育て支援課） ◆習志野市子ども食堂ネットワーク及び未加入の子ども食堂運営事業に対し、引き続き情報提供や活動支援を行います。（こども政策課） ◆市ホームページに市内子ども食堂の活動内容や連絡先などを掲載し、利用したいまたは支援したい市民へ広く周知できるよう支援します。（こども政策課）
---------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	教育総務課・小学校・中学校
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	105 余裕教室の有効活用	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆余裕教室の活用は、学校運営面から一義的には各学校が活用を検討します。その活用状況を踏まえ、支障がない範囲で他の用途の利用を学校と協議の上実施します。		
令和4年度 事業目標	◆学校運営に支障を生じない範囲の中で、引き続き、余裕教室の有効活用を図ります。（教育総務課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆余裕教室に対する教育財産の一部使用許可を行い、地域への開放を行いました。（教育総務課）		
評価指標	◆教育財産使用許可件数	令和4年度数値	◆45件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆現在、学校で使用しない教室の一時的な許可を行うことで、地域との交流・連携に貢献しました。（教育総務課）	◆学校運営が基本となるため、校舎の大規模改修工事や児童生徒の増加により、一時使用の許可ができないケースが生じます。また、児童生徒の安全確保施設のセキュリティ等の課題を整理する必要があります。（教育総務課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆学校運営に支障を生じない範囲の中で、引き続き、余裕教室の有効活用を図ります。（教育総務課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	保育所・こども園・こども保育課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	106 保育所・こども園における地域開放活動の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆子ども同士のふれあい、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。		
令和4年度 事業目標	◆新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、地域の安全で衛生的な遊びの場として提供できるように努めます。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆保育所における所庭開放、こども園こどもセンターに遊びに来た親子を対象にした園庭開放を計画しました。新型コロナウイルス感染防止に努めながら、予約制で少人数での利用ではありましたが、実施することができました。（こども保育課）		
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	令和4年度数値	◆こども園 5カ所 保育所 7カ所 ◆20,411人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆少人数だったのでゆっくりと遊ぶことができました。（こども保育課）
-----------------------	-----------------------------------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆人数制限がありましたが、安心して遊ぶ姿が見られました。	◆より地域の方が利用できるよう、働きかけていきたいと考えます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆地域の安全で衛生的な遊びの場として提供できるように努めます。
---------------	---------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	幼稚園・こども園・こども保育課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	107 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談などの場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。		
令和4年度 事業目標	◆感染対策を講じながら、地域の方の保育ニーズに応じた子育て支援の充実を図ります。		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆子育てふれあい広場を予約制で実施しました。		
評価指標	◆実施施設数	令和4年度数値	◆11施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆予約制ではあったが実施したことで、子どもが楽しく遊べる場になったり保護者が相談などできる場になりよかったとの感想が聞かれました。
-----------------------	---

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆予約制ではありましたが、未就園児同士が関わったり安心して遊んだりできる場になり、子育て支援につながりました。	◆地域の未就園の親子が安心して遊べる環境を整えることが大切と感じます。
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
B	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆地域の方の保育ニーズに応じた子育て支援の充実が図れるように努めます。
---------------	-------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課・公民館・協働政策課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	108 NP0法人や育児サークル等への支援	令和4年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供やNP0法人や育児サークル等の育成・交流等の支援を行います。		
令和4年度 事業目標	◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。（子育て支援課） ◆引き続き育児サークルに活動の場所を提供し、その活動が継続しやすい環境づくりに努めます。（公民館） ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントのチラシを市民協働インフォメーションルーム、協働政策課窓口等に設置・掲示することでPR支援を継続していきます。（協働政策課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつの掲示板において、子育て情報として、育児サークル発信によるチラシ等の掲示を行い、情報提供に努めました。（子育て支援課） ◆親子サークル会員募集のポスター掲示、問合せに対する情報提供（公民館） ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントのチラシを窓口等に設置・掲示し、周知を行いました。（協働政策課）		
評価指標	—	令和4年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆子どもとの遊び方や子育てに関する情報を得て、子育て期の充実につながっています。（子育て支援課）
-----------------------	--

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて、子育て情報の掲示板を通して、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行い、親同士、子ども同士の仲間づくりの支援ができました。（子育て支援課） ◆サークルに加入することで、親同士の情報交換や育児の仲間づくりになった。（公民館） ◆来庁者に対する周知、市民協働インフォメーションルーム登録団体に対しメールで情報提供を行うことで、講座やイベントPR活動の支援ができました。（協働政策課）	◆サークルの立ち上げ、及び継続が課題である。（公民館） ◆市民協働インフォメーションルームは利用者数が減少傾向にあること、利用は市民活動を行っている方（高齢）のため、周知数は限定されます。（協働政策課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
A	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、習志野市こどもセンター（鷺沼）・きらっ子ルームやつにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。（子育て支援課） ◆引き続き、育児サークルに活動の場所を提供し、その活動を継続しやすい環境づくりに努めます。（公民館） ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントのチラシを市民協働インフォメーションルーム、協働政策課窓口等に設置・掲示することでPR支援を継続していきます。 市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントについては、効果的な周知を目指して、地域情報ポータルサイトを活用した情報提供を行っていきます。（協働政策課）
---------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【令和4年度】

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	男女共同参画センター・こども政策課
施策内容	4 企業における子育て支援対策の促進		
事業名	109 企業における男女共同参画の啓発	令和4年度 事業費決算額	事業名：男女共同参画啓発事業 決算額：161,920円
事業の概要	◆企業が男女共同参画についての理解を深めるため、国・県・関係機関などが発行するパンフレット等の配布や、習志野商工会議所と連携した周知・啓発を行います。 ◆市内企業における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを啓発し、子育て支援先端企業認証制度を推進します。		
令和4年度 事業目標	◆働く場における男女共同参画が推進されるよう、商工会議所と連携して啓発に取り組みます。（男女共同参画センター） ◆今後も習志野市子育て先端企業認証制度の周知啓発を推進していくとともに、制度の見直しを検討していきます。（こども政策課）		

1. 令和4年度に実施した事業内容並びに事業計画の評価指標として掲げた指標の令和4年度数値をご記入ください。

令和4年度に 実施した事業内容	◆男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第54号では、自分らしい暮らし方・働き方を実践している事業所を取り上げ、商工会議所の会員事業所に配布しました。（男女共同参画センター） ◆令和3年度に実施したワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の結果について、市庁舎1階にてパネル展示を行い、広く周知を行った。（男女共同参画センター） ◆習志野市子育て支援先端企業認証制度について、市ホームページに掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口を設置し、新規事業者登録の周知を図りました。（こども政策課）		
評価指標	◆商工会議所会員への情報紙「きらきら」配布回数 ◆「子育て支援先端企業」認証企業数	令和4年度数値	◆1回（男女共同参画センター） ◆2社（こども政策課）

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 令和4年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに事業達成度をご記入ください。

※事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください。

【成果】 どのような成果があったかご記入ください。	【課題】 どのような課題が残ったかご記入ください。
◆商工会議所に啓発及び調査の趣旨を理解いただき、会員への周知について協力いただいた。（男女共同参画センター）	◆令和3年度に実施したワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の結果では、「行政が行っているワーク・ライフ・バランスを推進するための制度について知っているか」という問いに対し、知っていると回答した事業所が前回調査から減少している。引き続き、事業所に対する制度の周知を行う必要がある。（男女共同参画センター） ◆制度の周知を図ったものの、新規登録申請はありませんでした。（こども政策課）
令和4年度の事業達成度（A：達成 B：達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C：達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D：未実施 E：休止・廃止）	
C	

4. 令和4年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、令和5年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

令和5年度 事業目標	◆働く場における男女共同参画が推進されるよう、商工会議所と連携して啓発に取り組む。（男女共同参画センター） ◆引き続き、習志野市子育て先端企業認証制度の周知啓発を推進するとともに、制度の見直しを検討していきます。（こども政策課）
---------------	--